

令和3年度
千葉市生涯学習基礎調査報告書

令和4年3月
千葉市教育委員会

第1章 市民意識調査の部

目 次

I. 調査概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査設計	2
3. 配布・回収結果	2
4. 報告書の見方	3
II. 調査回答者の属性	5
1. 性別	5
2. 年齢	5
3. 性別×年齢	6
4. 居住地区	7
5. 職業	7
6. 末子の学齢	8
III. 調査結果の分析	10
1. 生涯学習活動の意義	10
2. 生涯学習活動を行う上で最も重視していること	12
3. この1年間に行った生涯学習活動	16
4. 生涯学習活動を行っている方法・機会	22
5. 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯	26
6. 生涯学習活動をしない理由	30
7. 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方	34
8. 今後の生涯学習活動意向	39
9. この1年間に利用した施設	46
10. 施設を利用する理由	52
11. 施設を利用しなかった理由	55
12. 今後利用してみたい施設	58
13. 施設を利用してみたい理由	65
14. 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点	68
15. 生涯学習に関する情報の入手経路	72
16. 生涯学習活動に関する情報の充実度合い	77
17. インターネットを利用する際、最も使用している機器	79
18. インターネットを利用しない理由	82
19. 今後のインターネット利用意向	84
20. 生涯学習事業について、市が力を入れる点	86
21. 地域課題の解決などへの取組状況	90

22. 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点	92
23. 身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか	96
24. 千葉市の歴史や文化財への愛着	100
IV. 調査票	104

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、次年度策定予定の第6次生涯学習推進計画の基礎的資料として活用するため、前回実施した調査以降の市民意識の変化を調査することにより、第5次生涯学習推進計画における課題の洗い出しを行うとともに、千葉市民の生涯学習の現状と将来の動向、生涯学習推進施策の課題を明らかにすることを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：千葉市全域
- (2) 調査対象：千葉市在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数：2,500人
- (4) 標本抽出：住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送配布－郵送及びインターネット回収
※ 調査期間中に督促を兼ねた「礼状はがき」を1回送付
- (6) 調査項目：後掲の調査票を参照
- (7) 調査期間：令和3年10月27日（水）～11月12日（金）
- (8) 調査機関：株式会社総合企画 千葉事務所

3. 配布・回収結果

配布数	回収数		回収率
	郵送回収	インターネット回収	
2,500人	1,006人	758人	40.2%

4. 報告書の見方

(1) 結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超える。
- ④誤差を考慮し、nが小さい場合（10未満）は、基本的に検討の対象としない。

(2) 標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる95%とする。

(注)「信頼度95%」とは、100回同じ調査を実施したときに、おおむね95回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b＝標本誤差

N＝母集団数（千葉市全体・人）

n＝サンプル数（人）…本報告書ではこれをn（比率算出の基数）で示す。

P＝回答比率

また、Nはnより十分大きいと、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆今回の調査結果の標本誤差（信頼度95%）

回答比率(P) n（人）	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,006	±1.85%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
558	±2.49%	±3.32%	±3.80%	±4.06%	±4.15%
423	±2.86%	±3.81%	±4.37%	±4.67%	±4.76%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
50	±8.32%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%

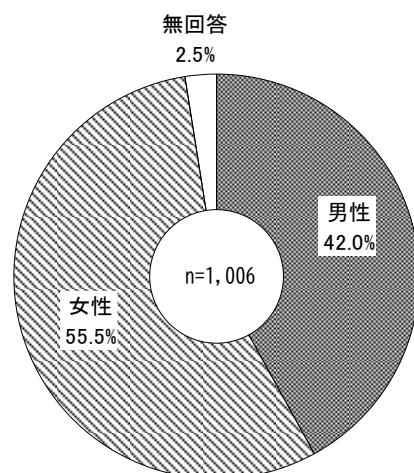
（表の見方）例えば、ある設問の回答者数が1,006人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±3.09%以内（46.91%～53.09%）である。ただし信頼度が95%であるので、誤差の範囲が±3.09%以内となる確率は95%である。」と見ることができる。

Ⅱ．調査回答者の属性

Ⅱ. 調査回答者の属性

1. 性別

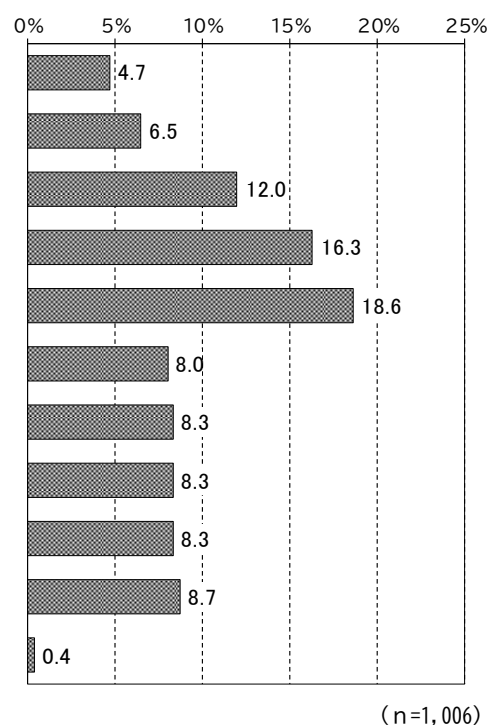
	件数	構成比 (%)
1. 男性	423	42.0
2. 女性	558	55.5
(不明・無回答)	25	2.5
合 計	1,006	100.0



図Ⅱ－1 性別

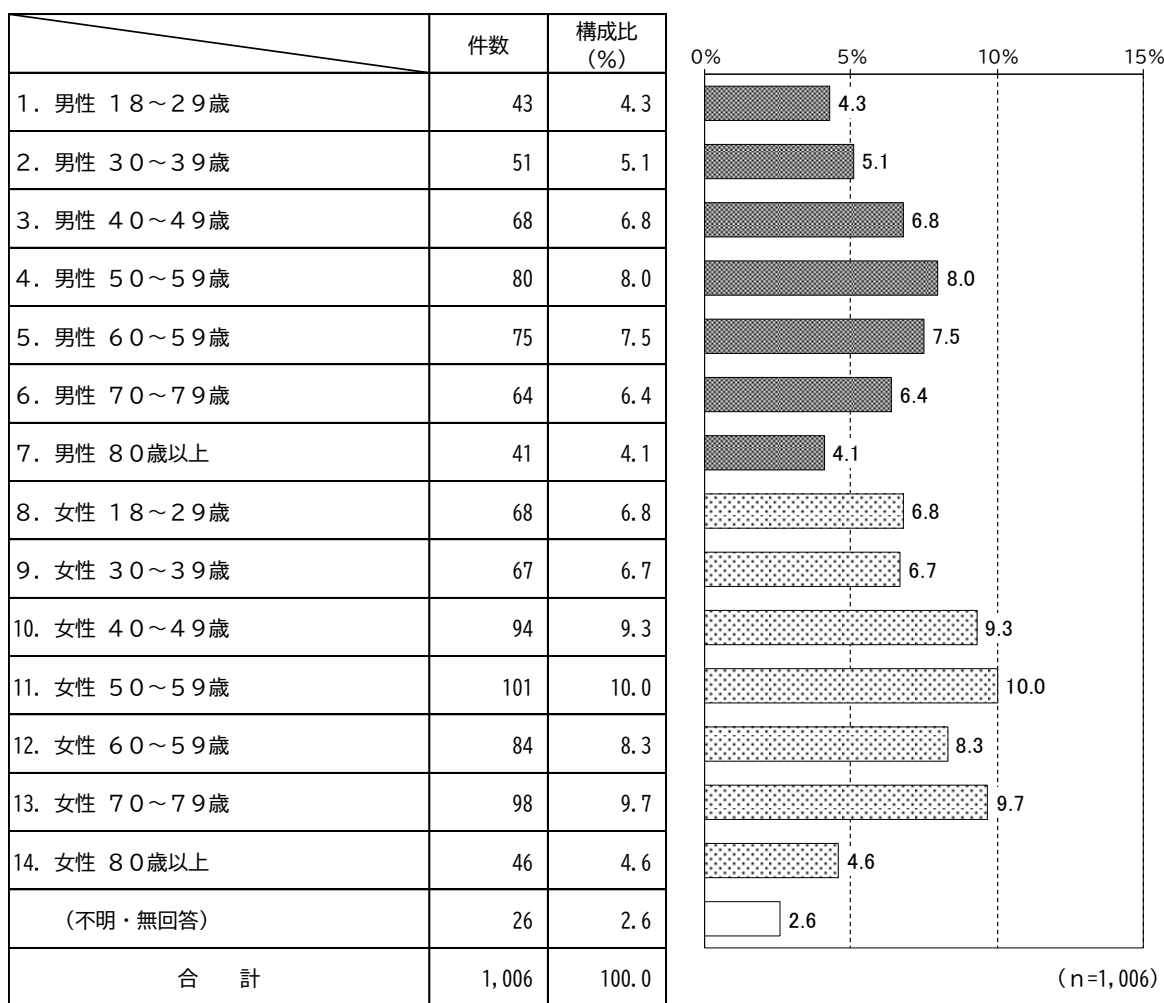
2. 年齢

	件数	構成比 (%)
1. 18～22歳	47	4.7
2. 23～29歳	65	6.5
3. 30～39歳	121	12.0
4. 40～49歳	164	16.3
5. 50～59歳	187	18.6
6. 60～64歳	80	8.0
7. 65～69歳	83	8.3
8. 70～74歳	84	8.3
9. 75～79歳	83	8.3
10. 80歳以上	88	8.7
(不明・無回答)	4	0.4
合 計	1,006	100.0



図Ⅱ－2 年齢

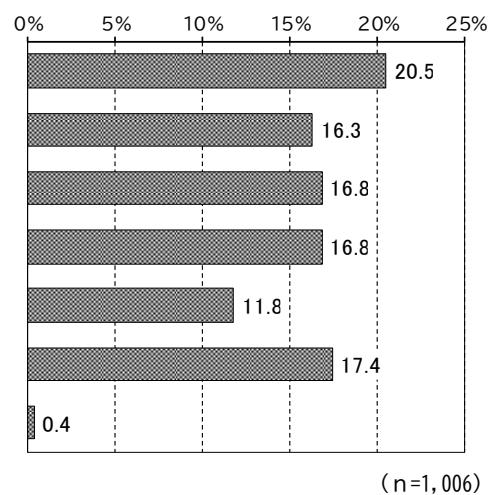
3. 性別×年齢



図Ⅱ－3 性別×年齢

4. 居住地区

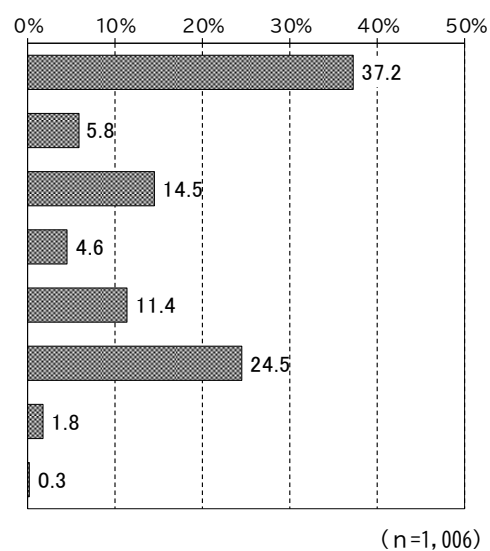
	件数	構成比 (%)
1. 中央区	206	20.5
2. 花見川区	164	16.3
3. 稲毛区	169	16.8
4. 若葉区	169	16.8
5. 緑区	119	11.8
6. 美浜区	175	17.4
(不明・無回答)	4	0.4
合 計	1,006	100.0



図Ⅱ－4 居住地区

5. 職業

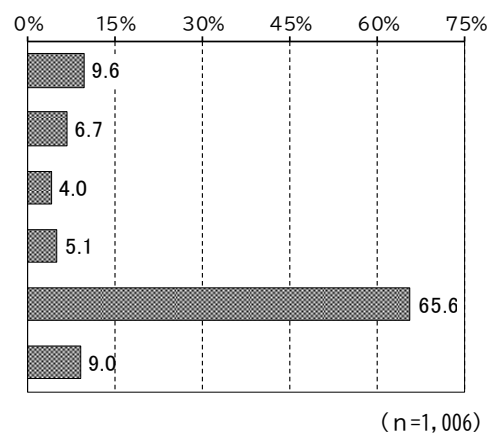
	件数	構成比 (%)
1. 会社員・公務員	374	37.2
2. 自営・自由業	58	5.8
3. パート・アルバイト	146	14.5
4. 学生	46	4.6
5. 専業主婦・主夫	115	11.4
6. 無職（年金生活を含む）	246	24.5
7. その他	18	1.8
(不明・無回答)	3	0.3
合 計	1,006	100.0



図Ⅱ－5 職業

6. 末子の学齢

	件数	構成比 (%)
1. 未就学児	97	9.6
2. 小学生	67	6.7
3. 中学生	40	4.0
4. 高校生※	51	5.1
5. 未就学児から高校生※の同居している 子どもはいない	660	65.6
(不明・無回答)	91	9.0
合 計	1,006	100.0



※高校生には、高校生に相当する年齢の方を含む

図Ⅱ－6 末子の学齢

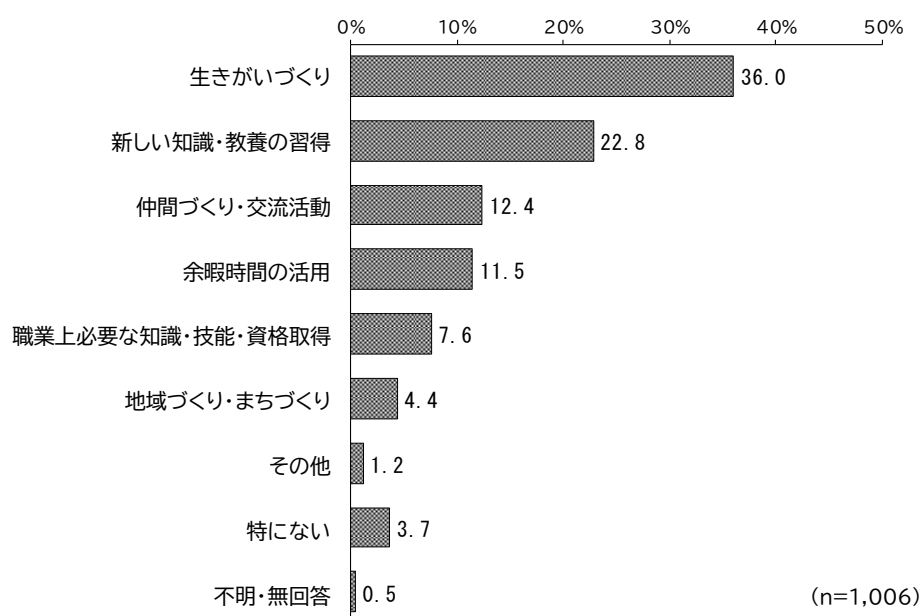
Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 生涯学習活動の意義

【問1】生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があるかについてたずねたところ、「生きがいがづくり」(36.0%)が最も高く、次いで「新しい知識・教養の習得」(22.8%)、「仲間づくり・交流活動」(12.4%)、「余暇時間の活用」(11.5%)などと続いている。

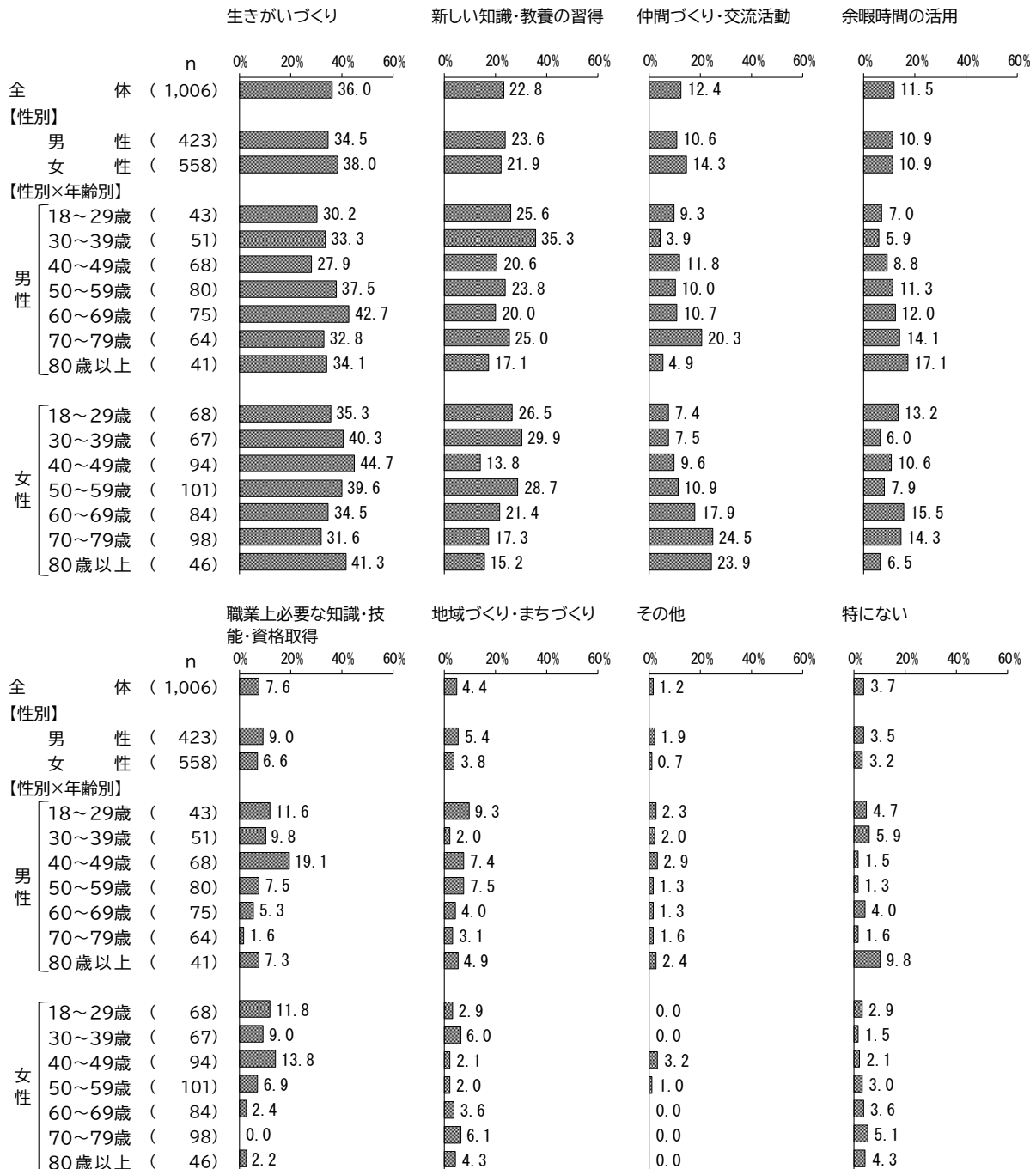


図Ⅲ－１－１ 生涯学習活動の意義

【性別／年齢×年齢別】

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「新しい知識・教養の習得」は、男性 30～39 歳で 35.3%と高くなっている。また、「仲間づくり・交流活動」は、女性 70～79 歳と女性 80 歳以上でそれぞれ 24.5%、23.9%と高く、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男性 40～49 歳で 19.1%と高くなっている。

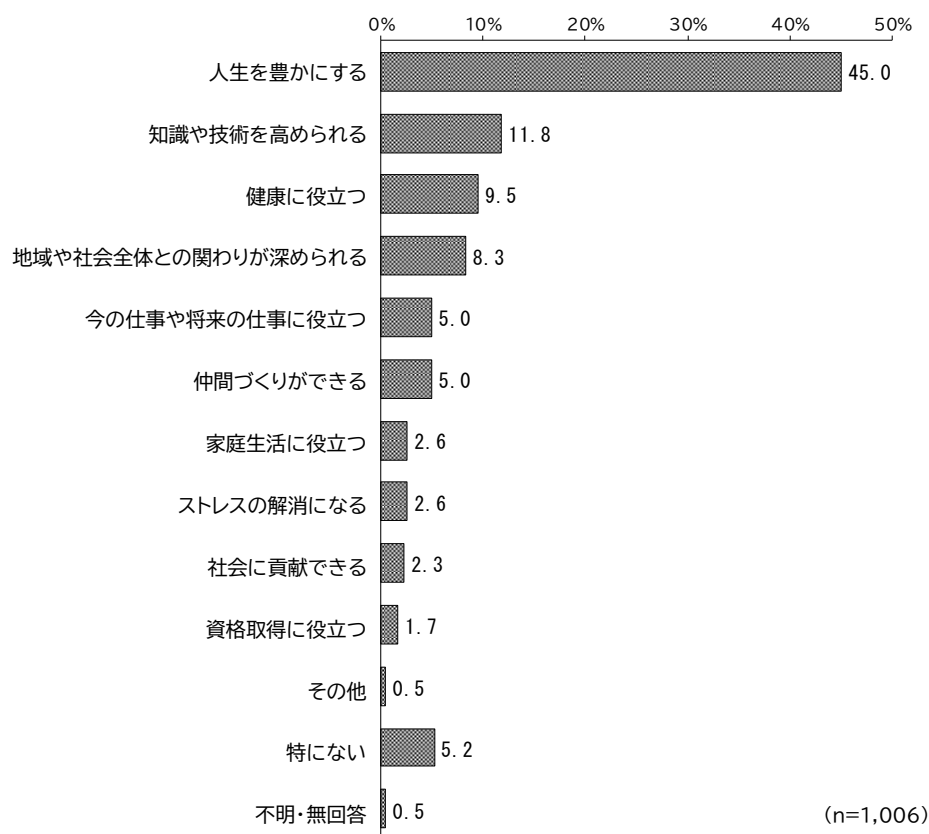


図Ⅲ－１－２ 生涯学習活動の意義（性別／性別×年齢別）

2. 生涯学習活動を行う上で最も重視していること

【問2】あなたが生涯学習活動を行う上で最も重視していることは何ですか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

生涯学習活動を行う上で最も重視していることをたずねたところ、「人生を豊かにする」(45.0%) が最も高く、次いで「知識や技術を高められる」(11.8%)、「健康に役立つ」(9.5%)、「地域や社会全体との関わりが深められる」(8.3%) などと続いている。

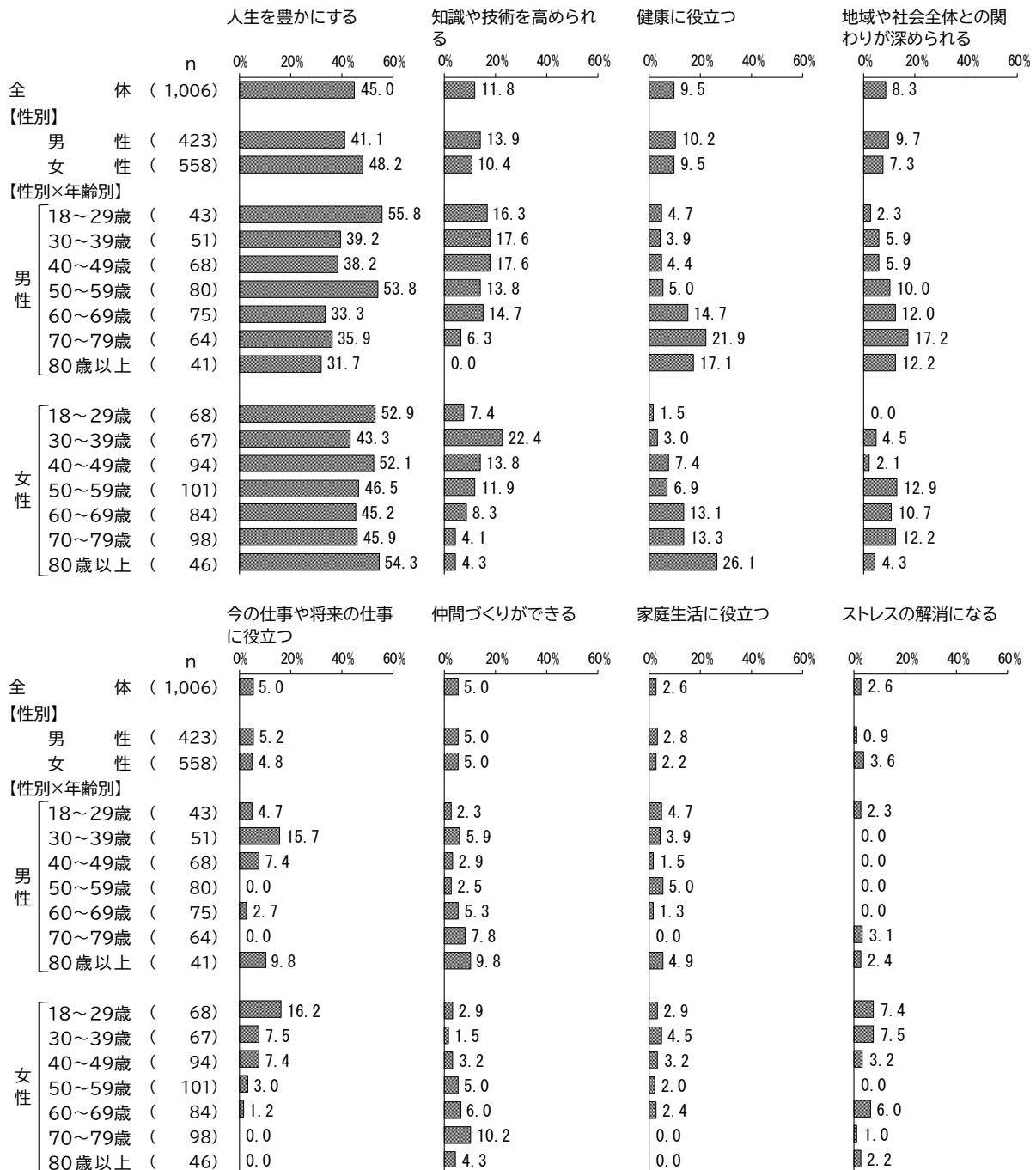


図Ⅲ－２－１ 生涯学習活動を行う上で最も重視していること

【性別／性別×年齢別】

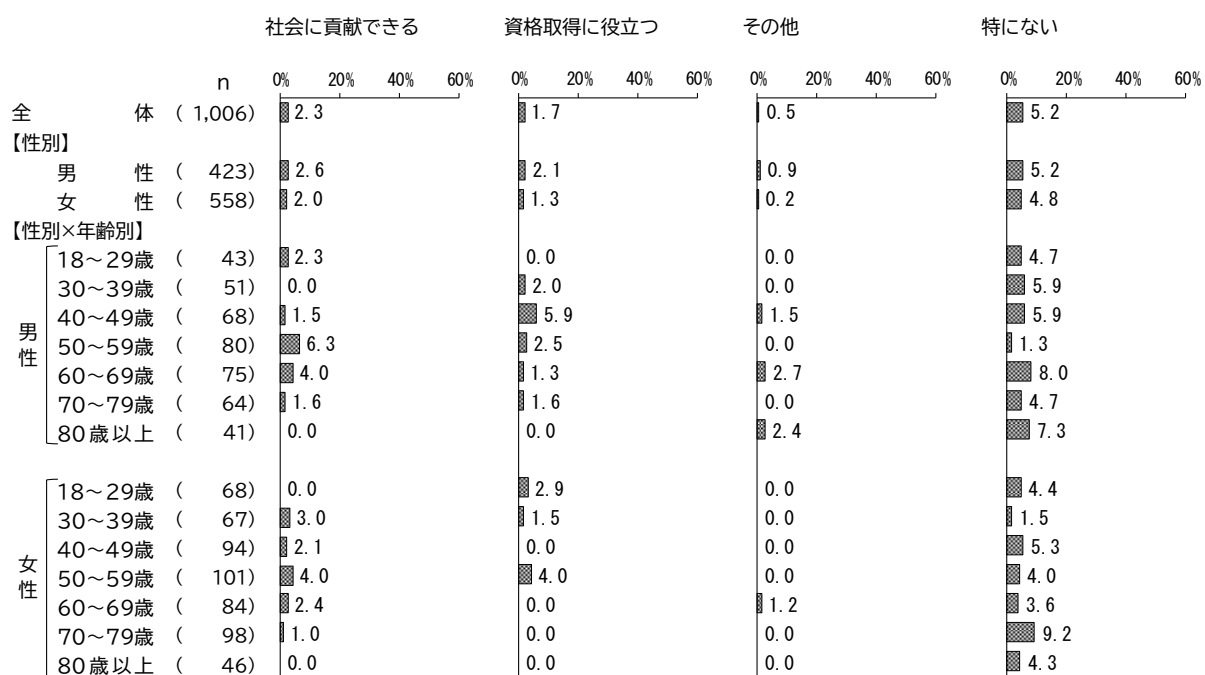
性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「知識や技術を高められる」は、女性 30～39 歳で 22.4%と高くなっている。また、「健康に役立つ」は、女性 80 歳以上と男性 70～79 歳でそれぞれ 26.1%、21.9%と高く、「地域や社会全体との関わりが深められる」は、男性 70～79 歳で 17.2%、「今の仕事や将来の仕事に役立つ」は、女性 18～29 歳と男性 30～39 歳でそれぞれ 16.2%、15.7%と高くなっている。



図Ⅲ－２－２ 生涯学習活動を行う上で最も重視していること（性別／性別×年齢別）

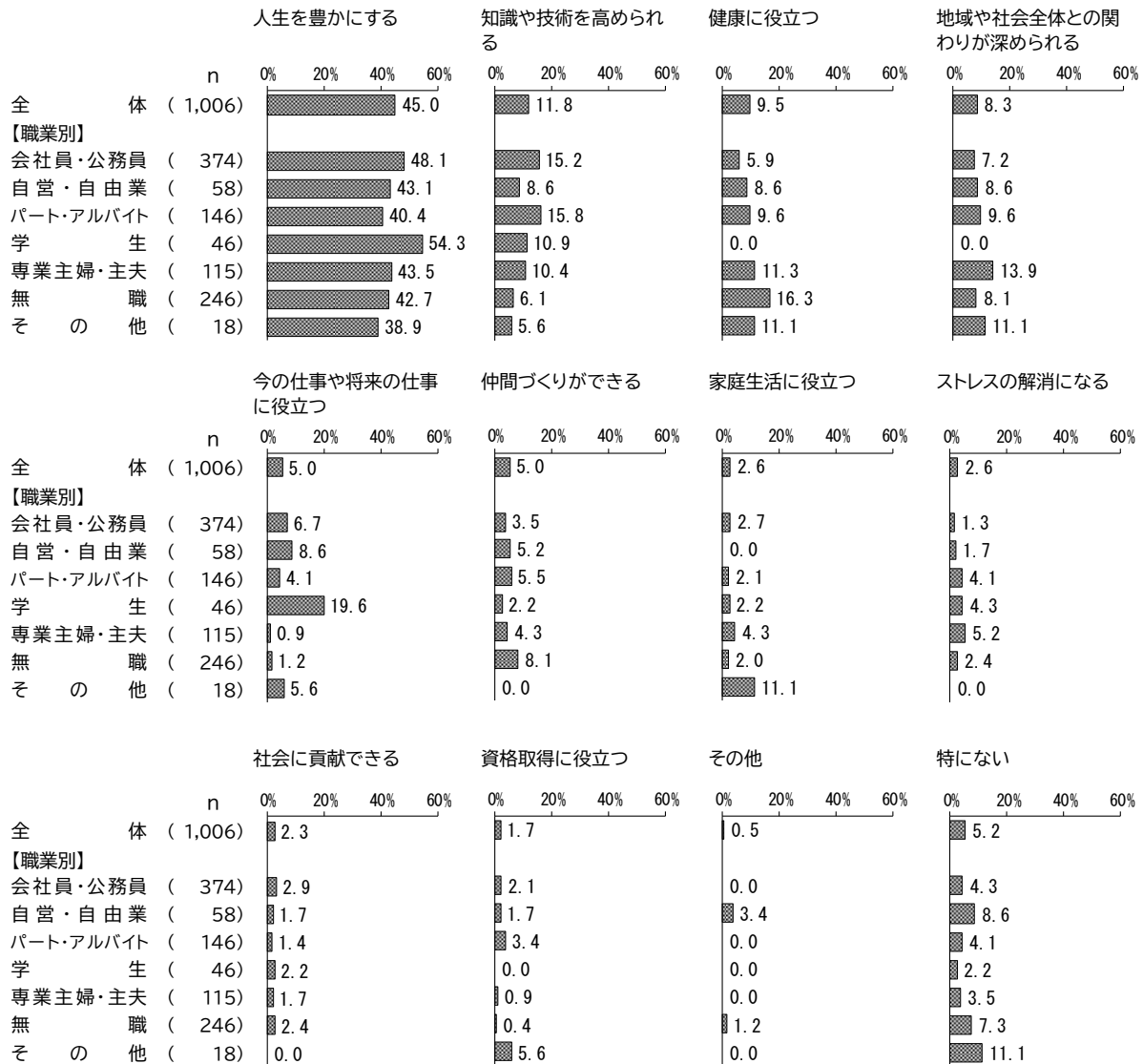
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－２－３ 生涯学習活動を行う上で最も重視していること（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「人生を豊かにする」と「今の仕事や将来の仕事に役立つ」は、学生でそれぞれ 54.3%、19.6%と高く、「健康に役立つ」は、無職で 16.3%と他の職業に比べて高くなっている。



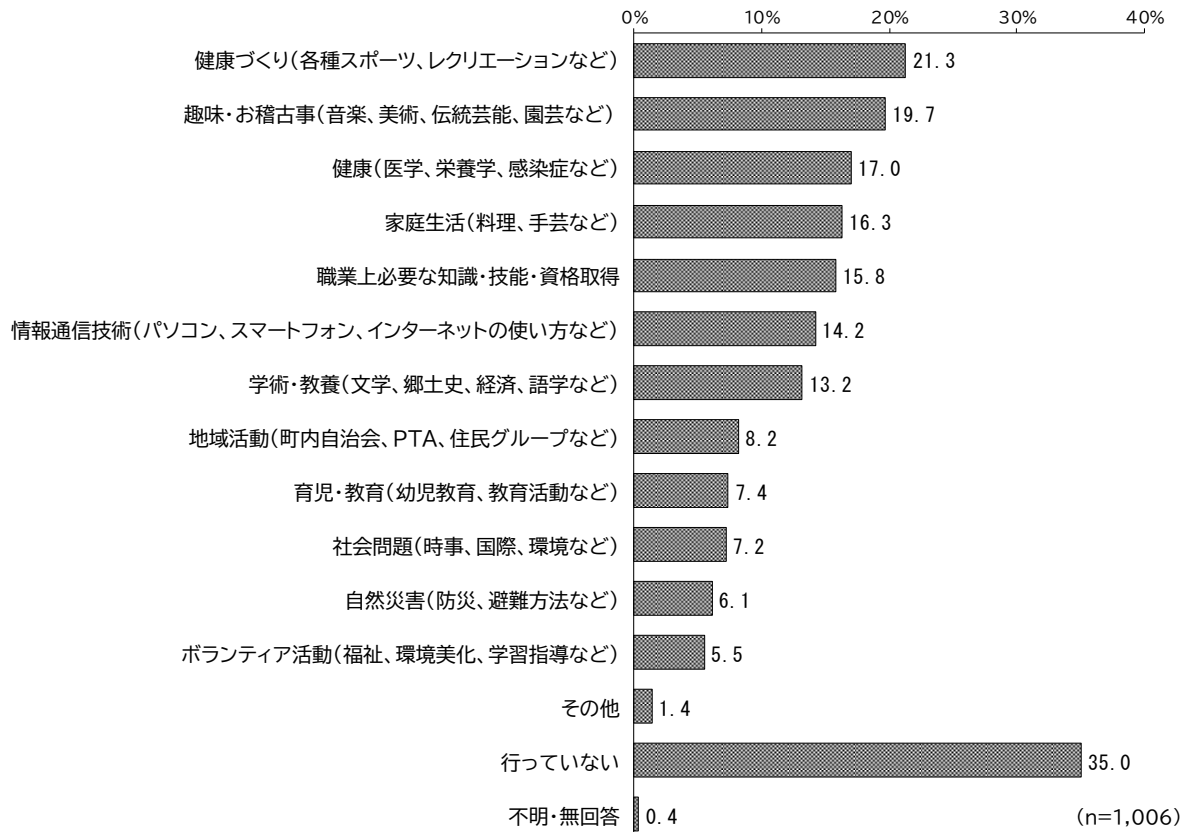
図Ⅲ－２－４ 生涯学習活動を行う上で最も重視していること（職業別）

3. この1年間に行った生涯学習活動

【問3】あなたは、この1年間に、どのような生涯学習活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に行った生涯学習活動についてたずねたところ、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」が21.3%で最も高く、次いで「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」（19.7%）、「健康（医学、栄養学、感染症など）」（17.0%）、「家庭生活（料理、手芸など）」（16.3%）、「職業上必要な知識・技能・資格取得」（15.8%）、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」（14.2%）などと続いている。

一方、「行っていない」は、35.0%となっている。

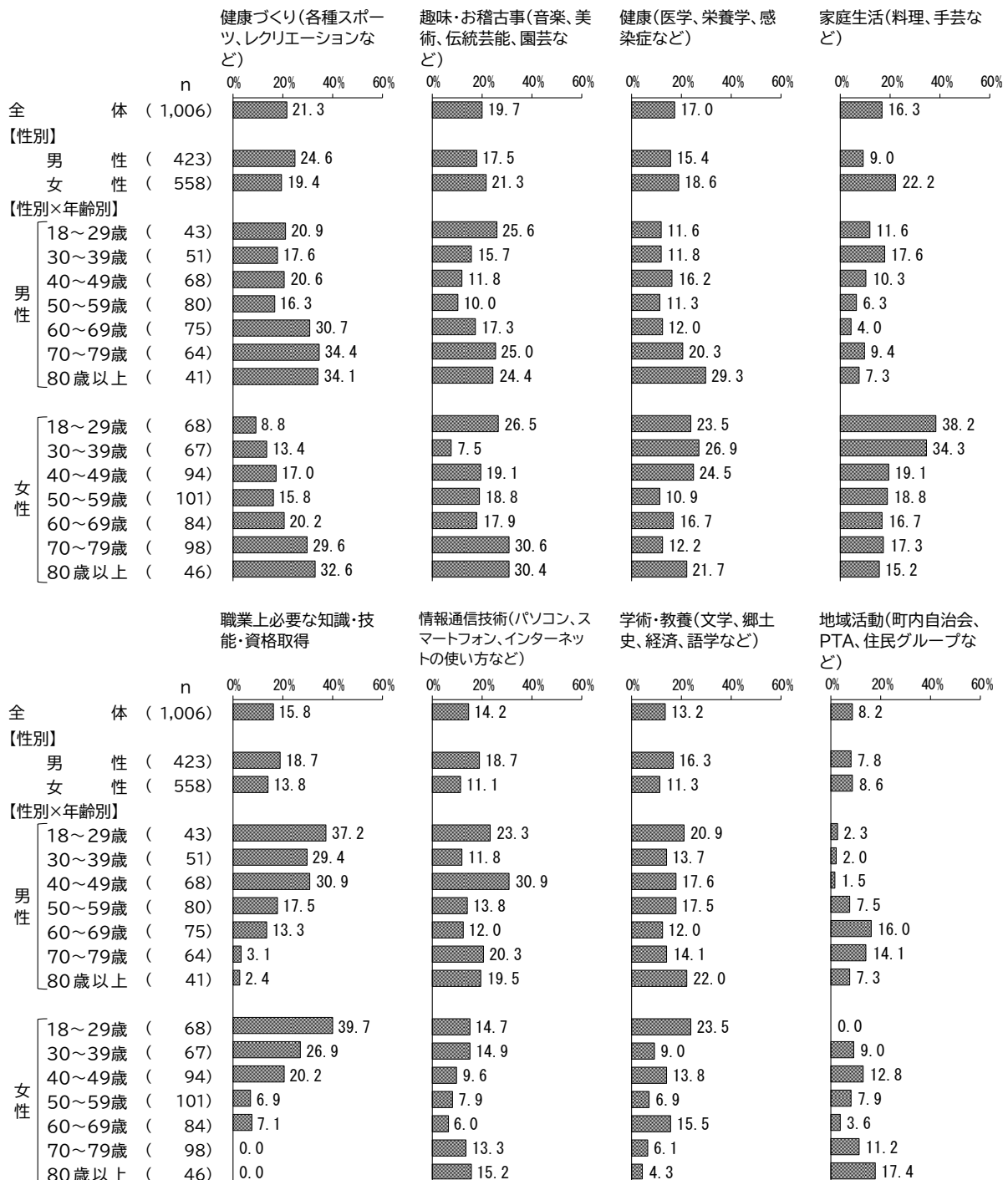


図Ⅲ－3－1 この1年間に行った生涯学習活動

【性別／性別×年齢別】

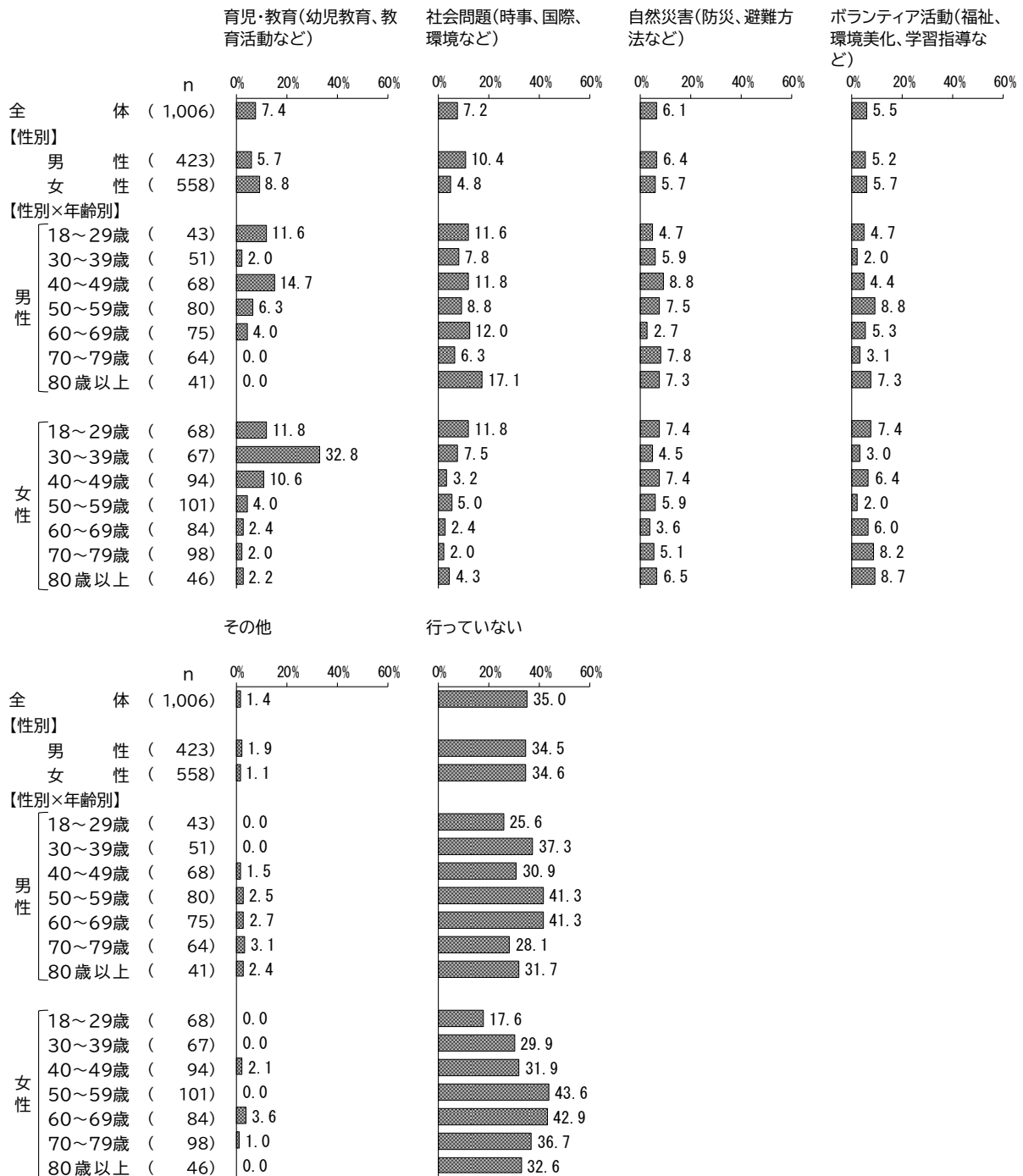
性別にみると、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性で22.2%と高く、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」と「社会問題（時事、国際、環境など）」は、男性でそれぞれ18.7%、10.4%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、男性60～69歳以上の年齢と女性80歳以上で、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、女性70～79歳以上の年齢で、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性18～29歳と女性30～39歳で、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男女ともに18～29歳と男性40～49歳で、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」は、男性40～49歳で、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」は女性30～39歳で3割を超えて高い。



図Ⅲ－3－2 この1年間に行った生涯学習活動（性別／性別×年齢別）

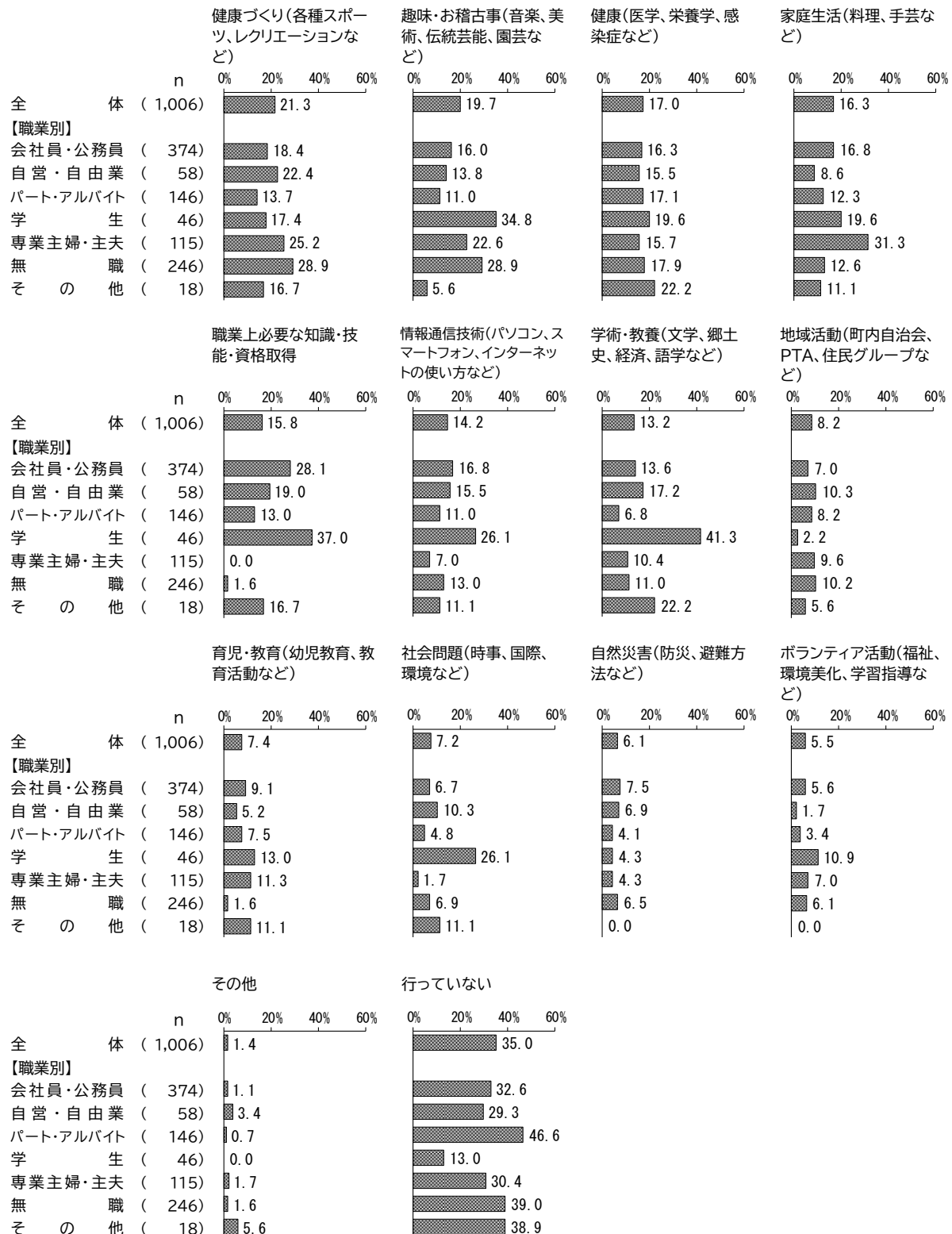
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－3－3 この1年間に行った生涯学習活動（性別／性別×年齢別）

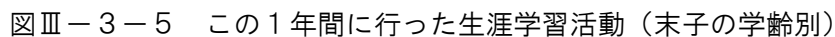
【職業別】

職業別にみると、「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」、「職業上必要な知識・技能・資格取得」、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、学生でそれぞれ41.3%、37.0%、34.8%と他の職業に比べて高くなっている。また、「家庭生活（料理、手芸など）」は、専業主婦・主夫で31.3%、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は無職で28.9%と高くなっている。なお、「行っていない」は、パート・アルバイトで46.6%と最も高くなっている。



図Ⅲ－３－４ この1年間に行った生涯学習活動（職業別）

末子の学齢別にみると、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、末子に高校生がいる層で 37.3%と高く、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」は、未就学児がいる層で 32.0%、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、小学生がいる層で 26.9%と高くなっている。



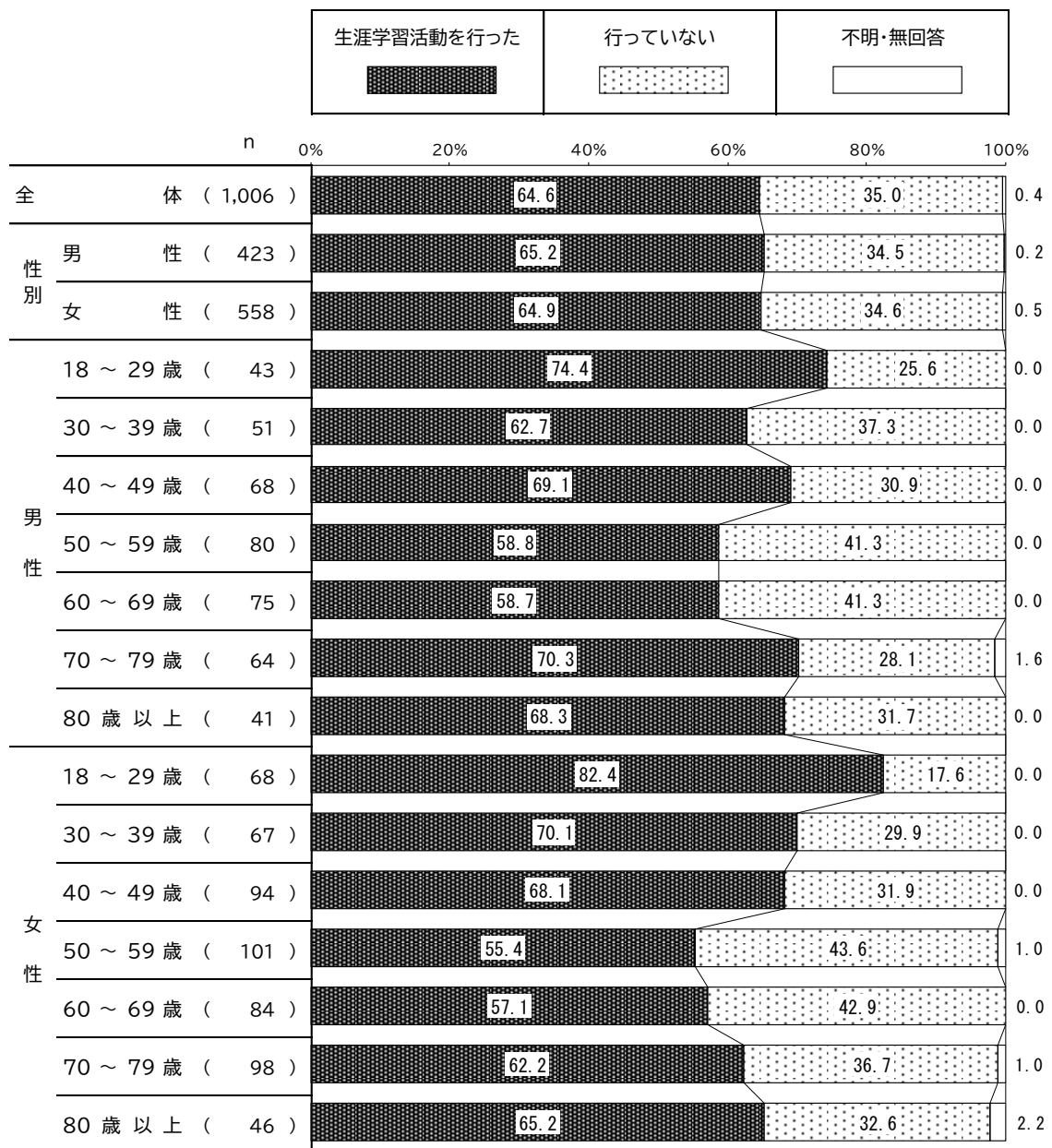
■この1年間の生涯学習活動の活動有無

この1年間に生涯学習活動を行ったか否かの割合をみるため、回答選択肢1～13（P111、調査票参照）の中から1つ以上選んだ方を「生涯学習活動を行った」として、集計を行った。

全体で、この1年間に生涯学習活動を行った方の割合をみると、64.6%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生涯学習活動を行った」は、女性18～29歳で82.4%と8割を超えて最も高く、男性18～29歳と女性30～39歳ではそれぞれ74.4%、70.1%と7割を超えている。一方、男女ともに50～59歳と60～69歳で「生涯学習活動を行った」は、55.4～58.8%と5割台に留まり、他の年齢層と比べて低くなっている。



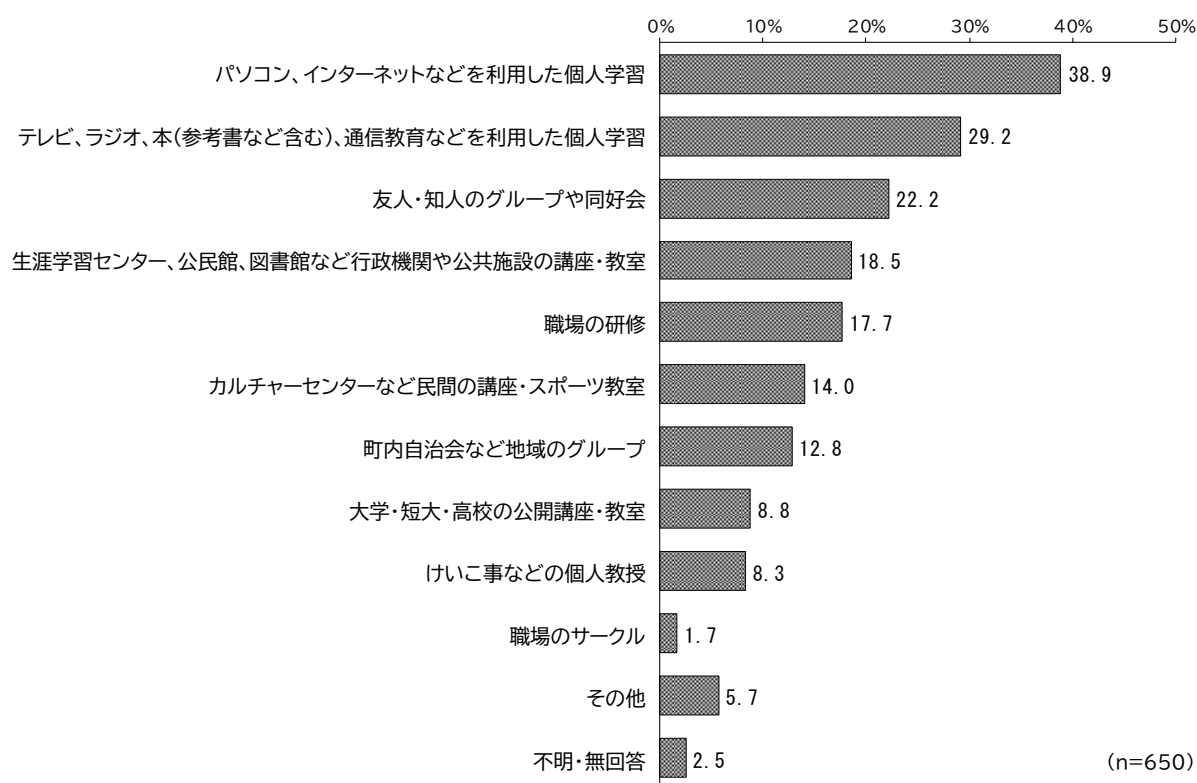
図Ⅲ－3－6 この1年間の生涯学習活動の活動有無（性別／性別×年齢別）

4. 生涯学習活動を行っている方法・機会

問3で1～13に○印をつけた方（この1年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。

【問4】あなたは、どのような方法・機会を利用して生涯学習活動を行っていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に生涯学習活動を行ったと回答した方に、どのような機会や方法で生涯学習活動を行ったかについてたずねたところ、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」が38.9%で最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、本（参考書など含む）、通信教育などを利用した個人学習」（29.2%）、「友人・知人のグループや同好会」（22.2%）、「生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室」（18.5%）、「職場の研修」（17.7%）、「カルチャーセンターなど民間の講座・スポーツ教室」（14.0%）などと続いている。

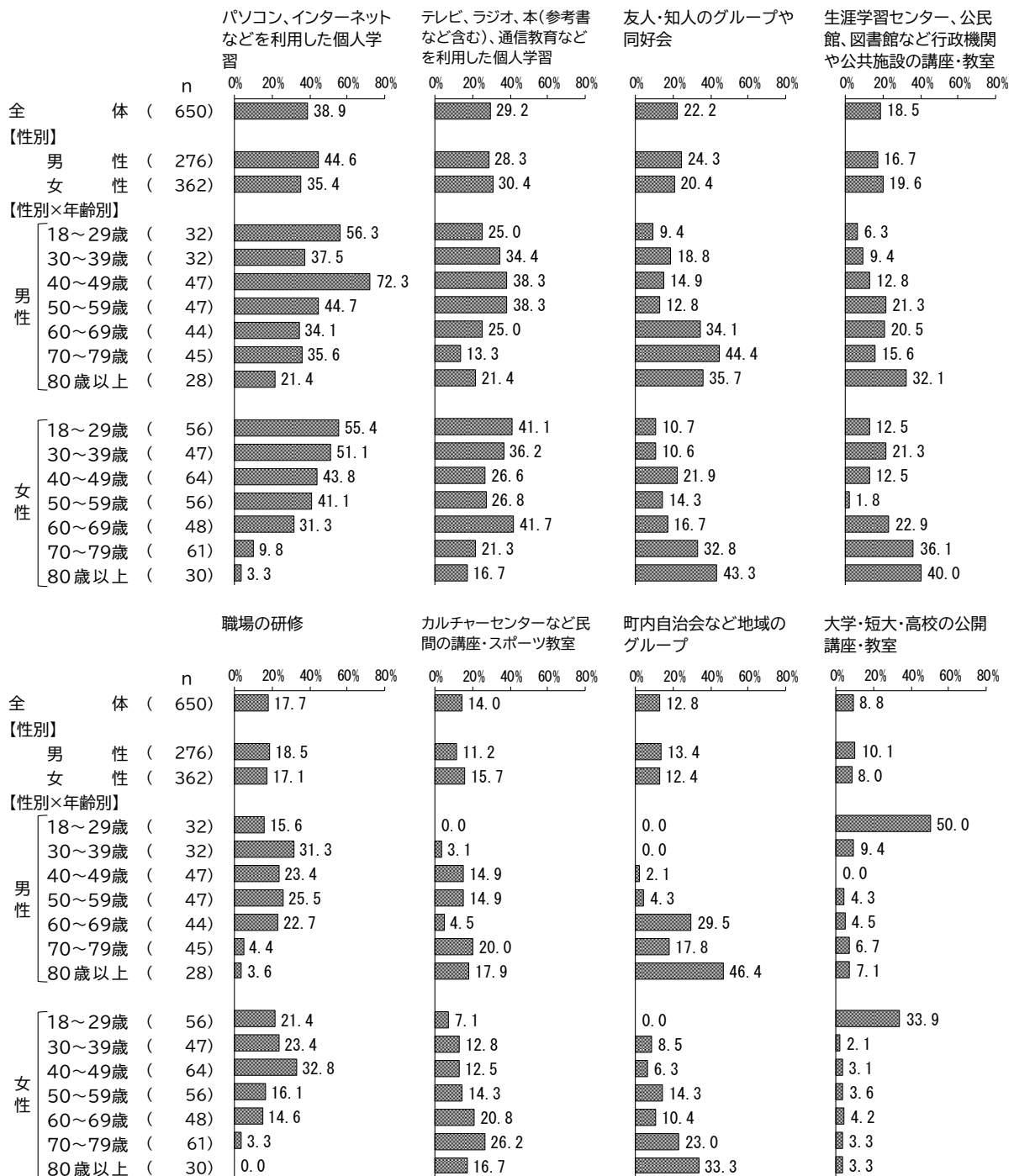


図Ⅲ－４－１ 生涯学習活動を行っている方法・機会

【性別／性別×年齢別】

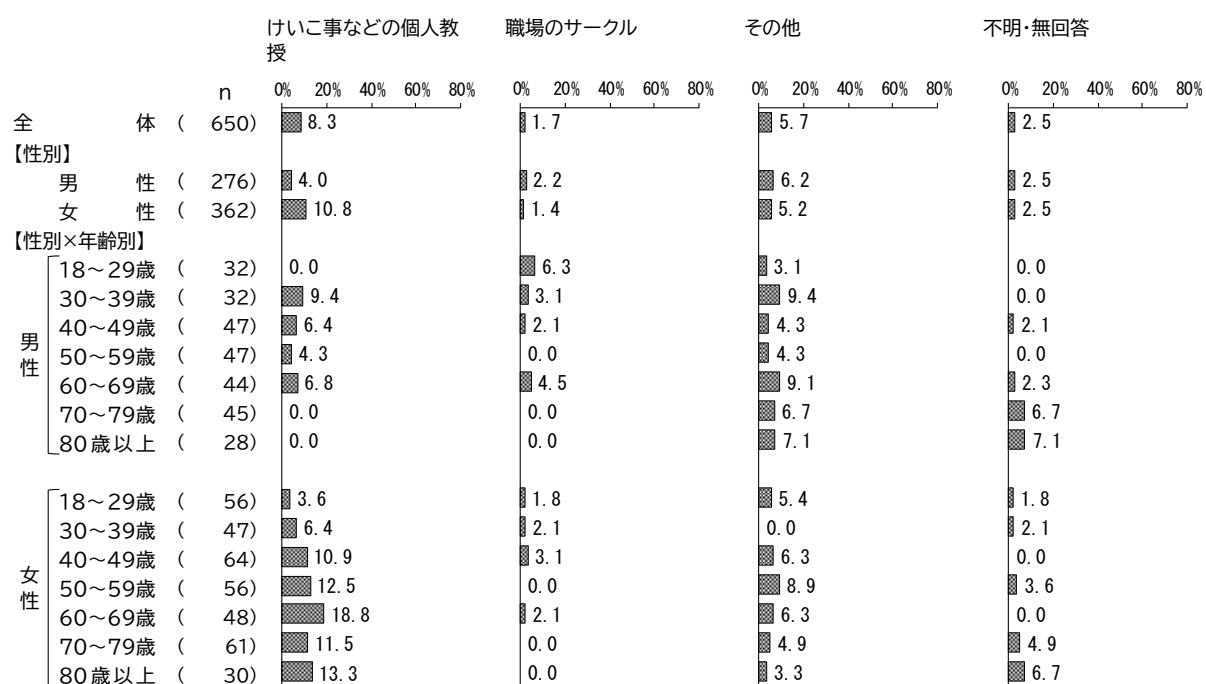
性別にみると、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」は、男性で 44.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」は、男性 40～49 歳で 72.3%と突出して高く、「大学・短大・高校の公開講座・教室」は、男性 18～29 歳で 50.0%、「町内自治会など地域のグループ」は、男性 80 歳以上で 46.4%、「友人・知人のグループや同好会」は、男性 70～79 歳と女性 80 歳上でそれぞれ 44.4%、43.3%、「テレビ、ラジオ、本（参考書など含む）、通信教育などを利用した個人学習」は、女性 60～69 歳で 41.7%、「生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室」は、女性 80 歳以上で 40.0%といずれも他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－４－２ 生涯学習活動を行っている方法・機会（性別／性別×年齢別）

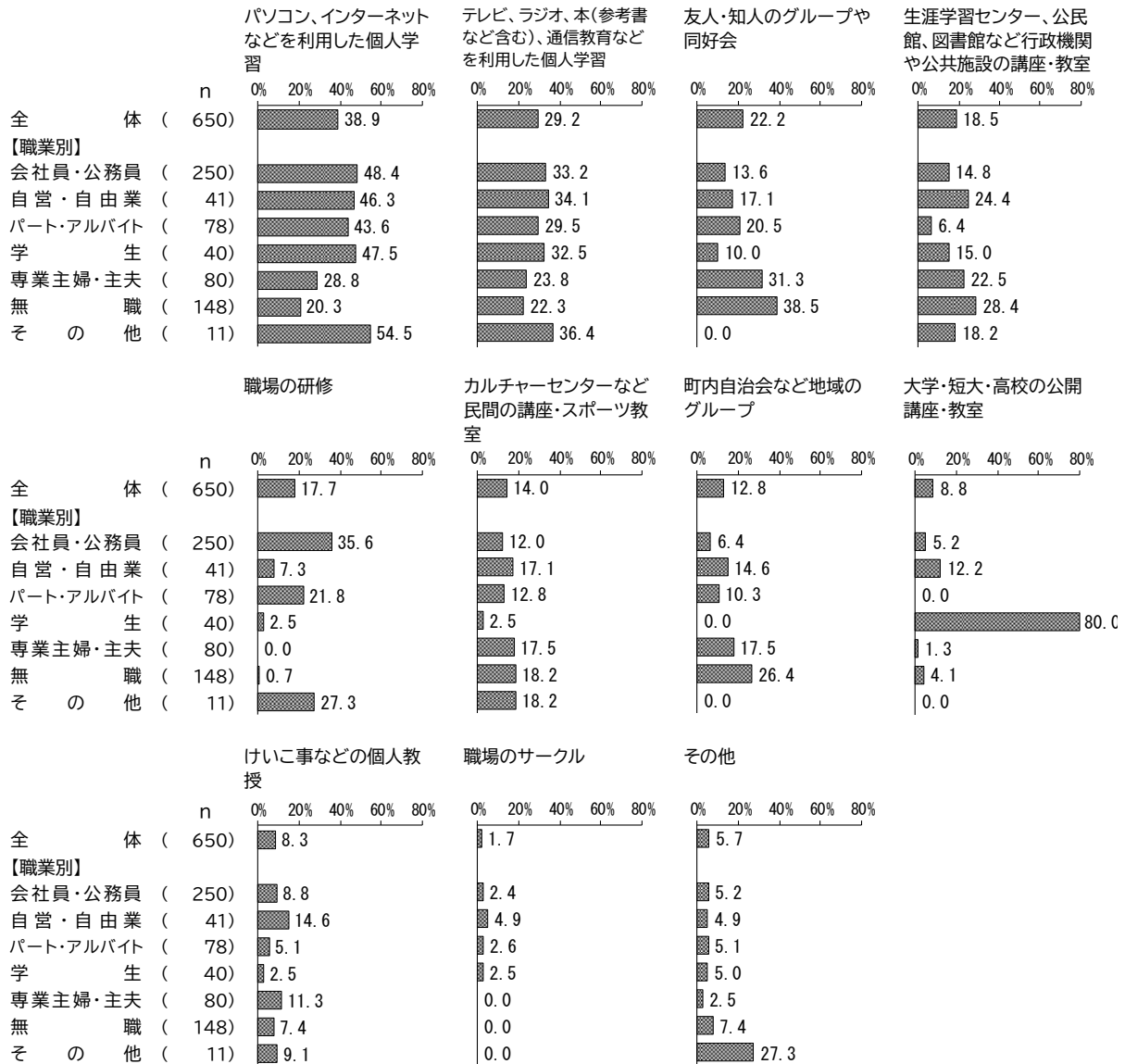
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－４－３ 生涯学習活動を行っている方法・機会（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「大学・短大・高校の公開講座・教室」は、学生で 80.0%と突出して高く、「友人・知人のグループや同好会」は、無職で 38.5%、「職場の研修」は、会社員・公務員で 35.6%と他の職業に比べて高くなっている。



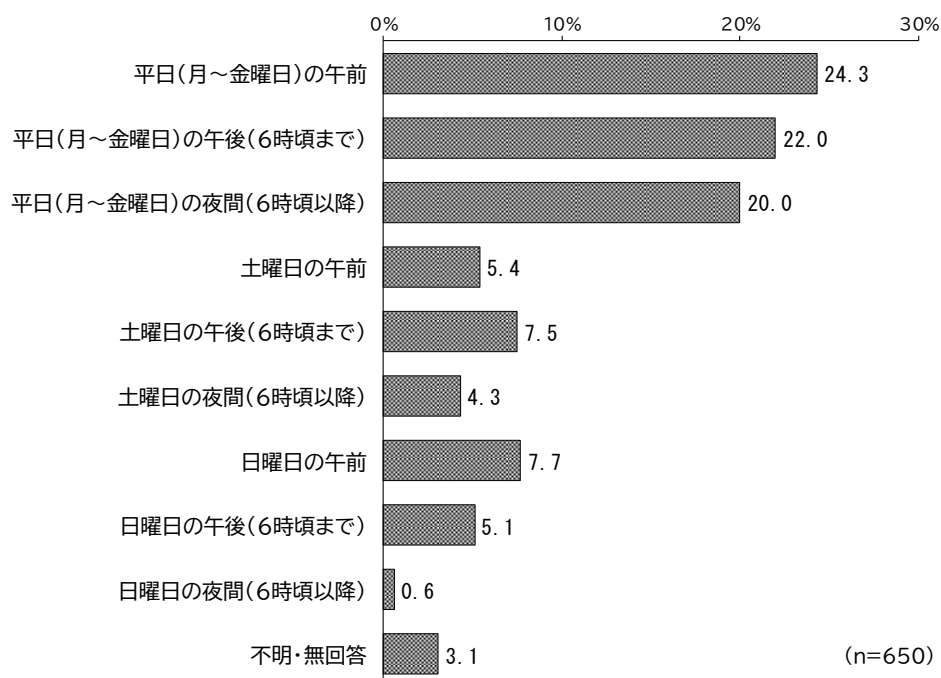
図Ⅲ－４－４ 生涯学習活動を行っている方法・機会（職業別）

5. 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯

引き続き、問3で1～13に○印をつけた方（この1年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。

【問5】あなたが、生涯学習活動を行うのは、主に何曜日のどの時間帯ですか。もっともあてはまる番号に 1つ○印 をつけてください。

この1年間に生涯学習活動を行ったと回答した方に、生涯学習活動を行うのは主に何曜日のどの時間帯かをたずねたところ、「平日（月～金曜日）の午前」が24.3%で最も高く、次いで「平日（月～金曜日）の午後（6時頃まで）」（22.0%）、「平日（月～金曜日）の夜間（6時頃以降）」（20.0%）などと続いており、平日の時間帯だけで66.3%を占めている。

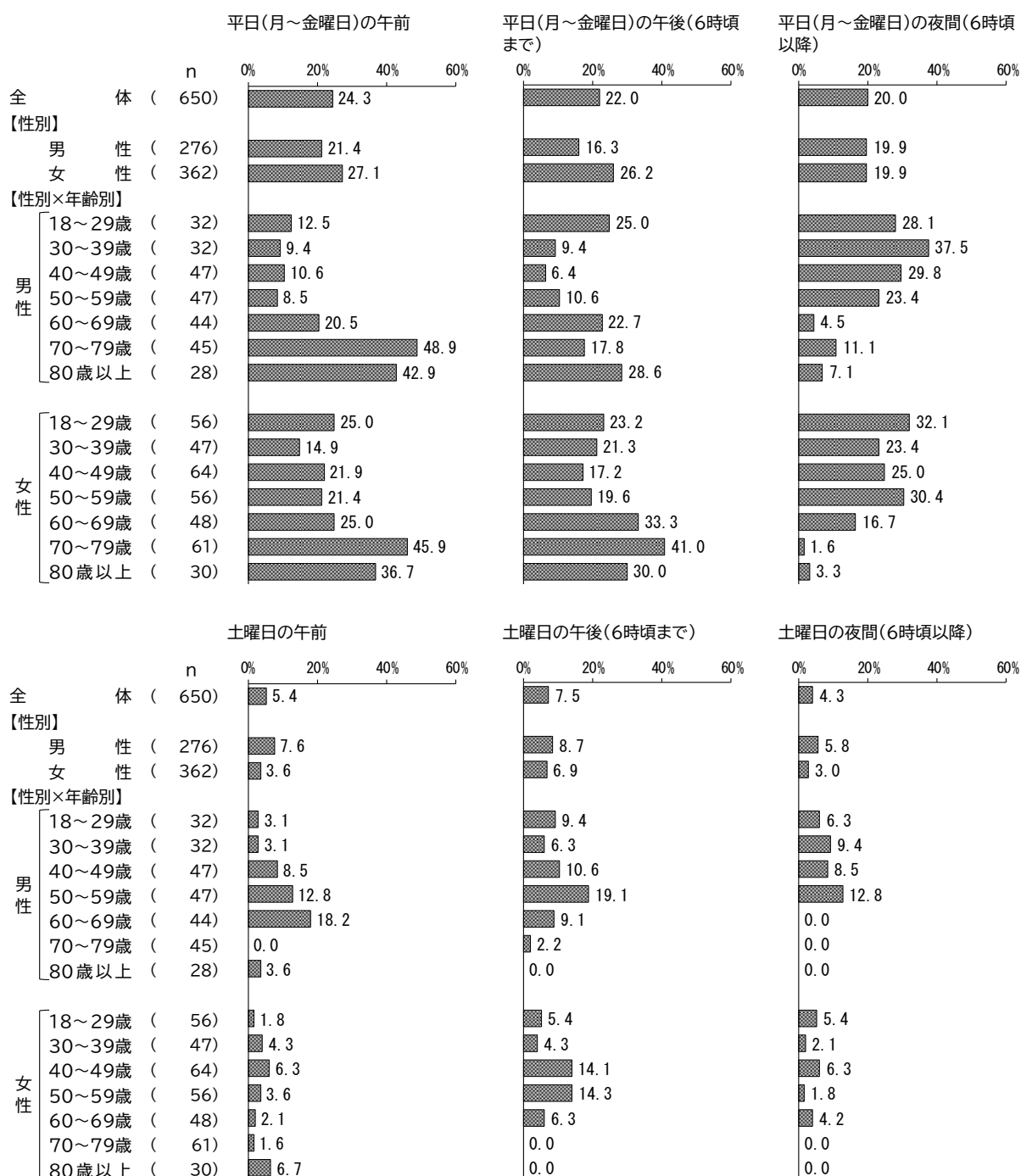


図Ⅲ－５－１ 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯

【性別／性別×年齢別】

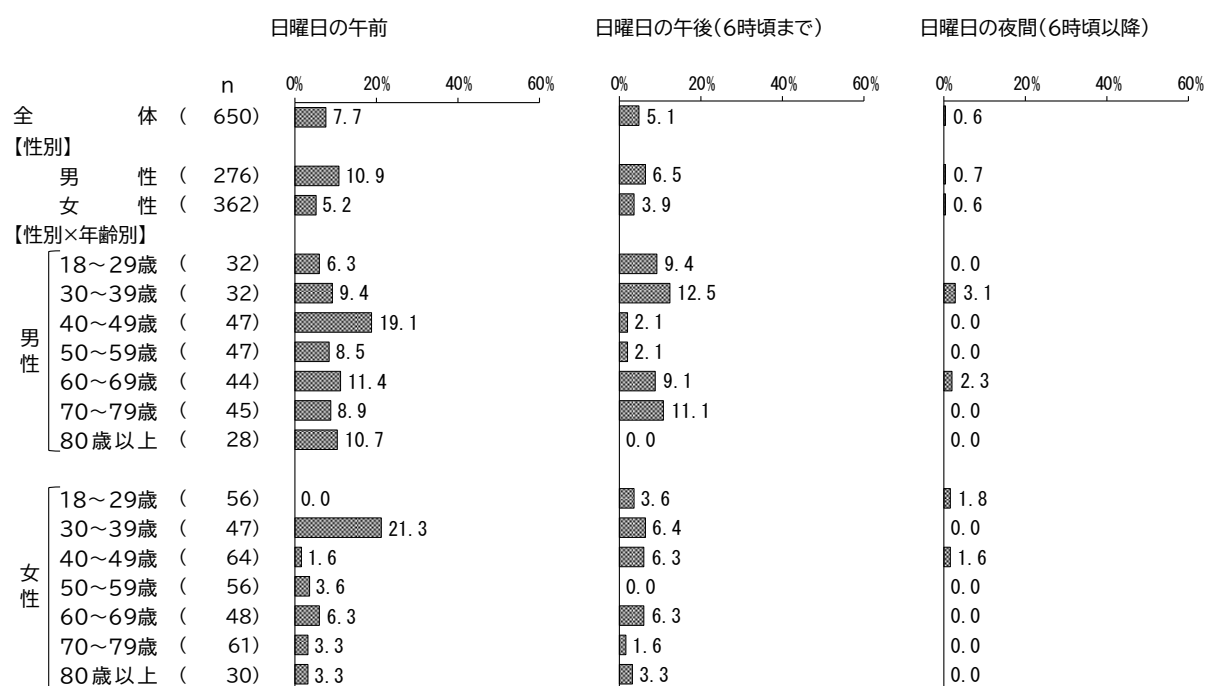
性別にみると、「平日（月～金曜日）の午後（6時頃まで）」は、女性で26.2%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「平日（月～金曜日）の午前」は、男女ともに70～79歳と男性80歳以上で4割を超えて高く、「平日（月～金曜日）の午後（6時頃まで）」は、女性70～79歳（41.0%）、「平日（月～金曜日）の夜間（6時頃以降）」は、男性30～39歳（37.5%）で高くなっている。また、「日曜日の午前」は、女性30～39歳（21.3%）で高くなっている。



図Ⅲ－５－２ 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（性別／性別×年齢別）

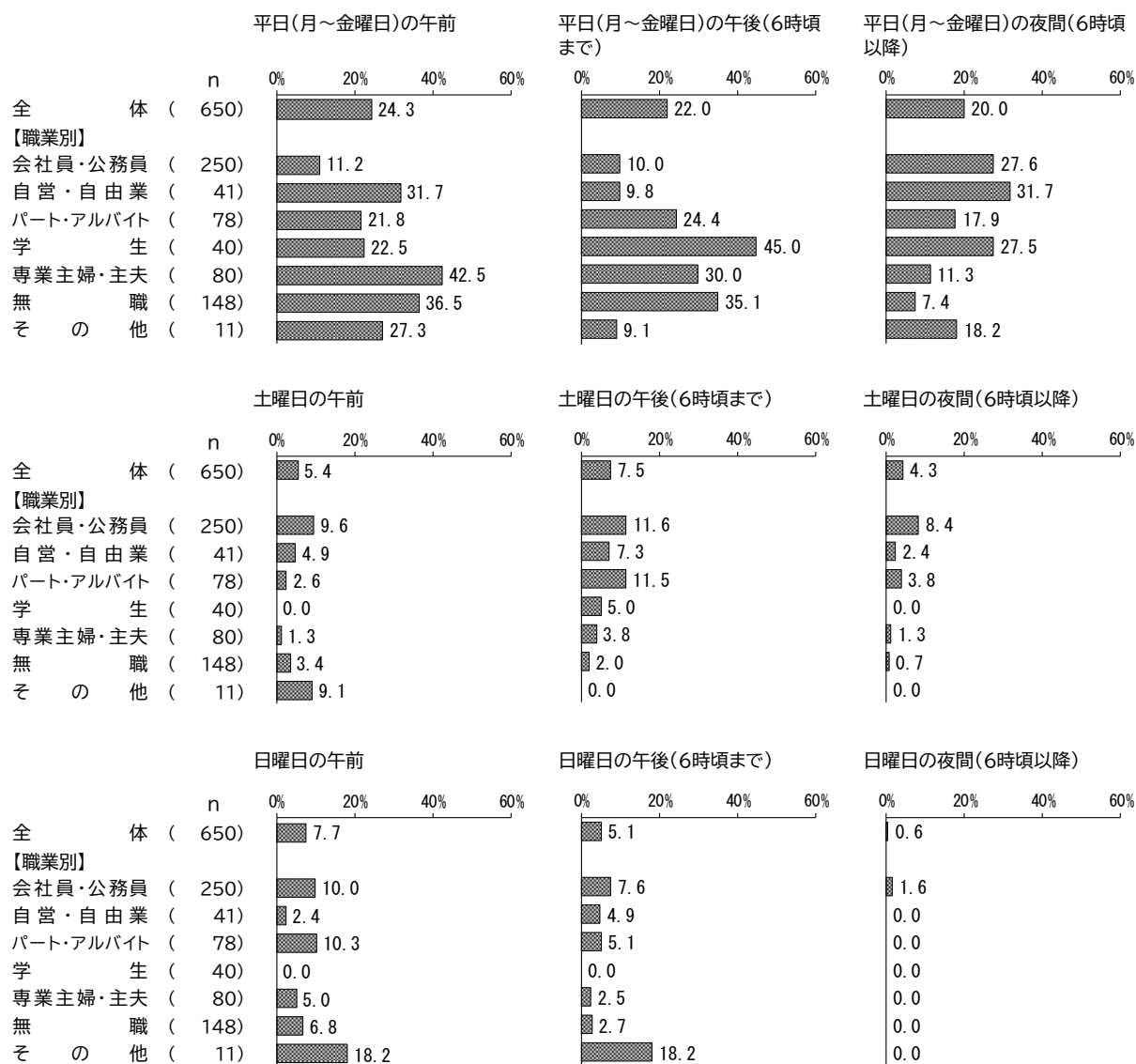
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－５－３ 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「平日（月～金曜日）の午後（6時頃まで）」は、学生で45.0%と高く、「平日（月～金曜日）の午前」は、専業主婦・主夫で42.5%と4割を超えて高くなっている。「平日（月～金曜日）の夜間（6時頃以降）」は、自営・自由業で31.7%と3割を超えて高くなっている。



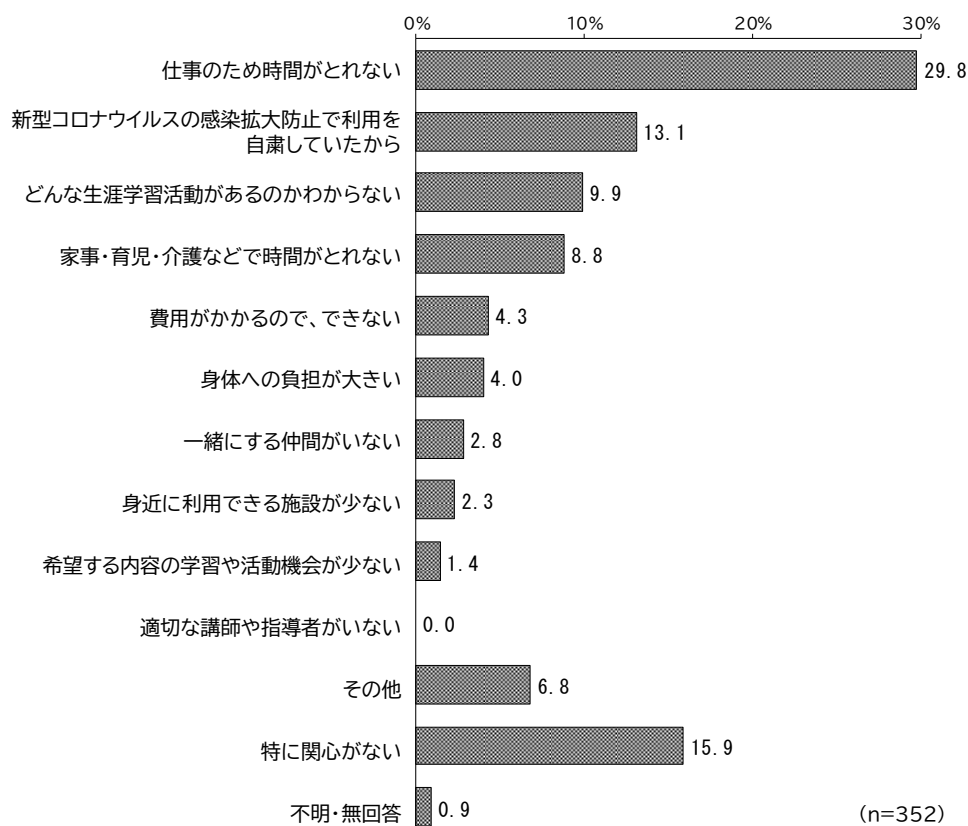
図Ⅲ－５－４ 生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（職業別）

6. 生涯学習活動をしない理由

問3で14に○印をつけた方(この1年間に生涯学習活動を行っていない方)におたずねします。

【問6】あなたが、生涯学習活動をしない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つ○印をつけてください。

この1年間に生涯学習活動を行っていないと回答した方に、生涯学習活動をしない理由についてたずねたところ、「仕事のため時間がとれない」が29.8%で最も高く、次いで「特に関心がない」(15.9%)、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」(13.1%)などと続いている。

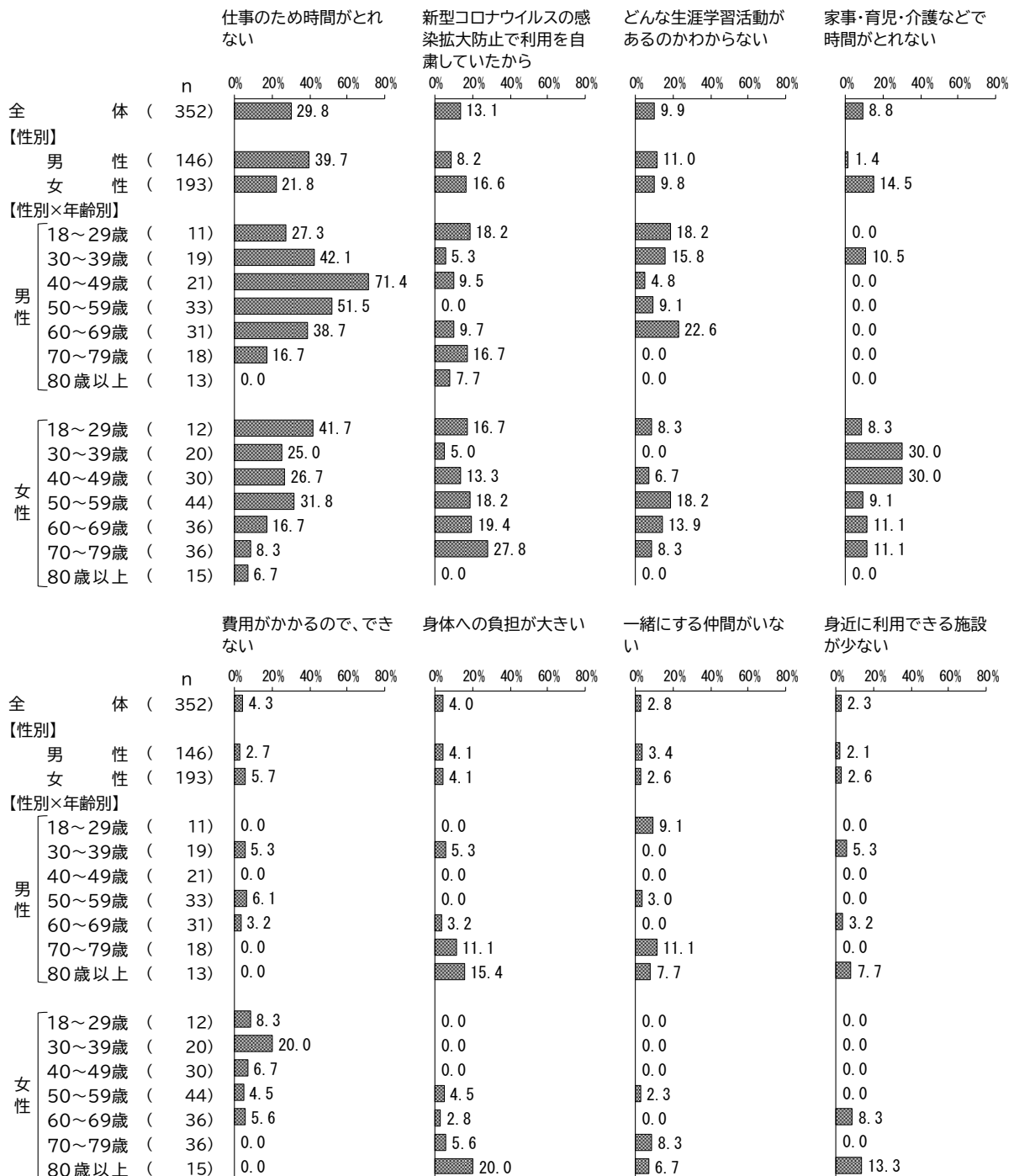


図Ⅲ－6－1 生涯学習活動をしない理由

【性別／性別×年齢別】

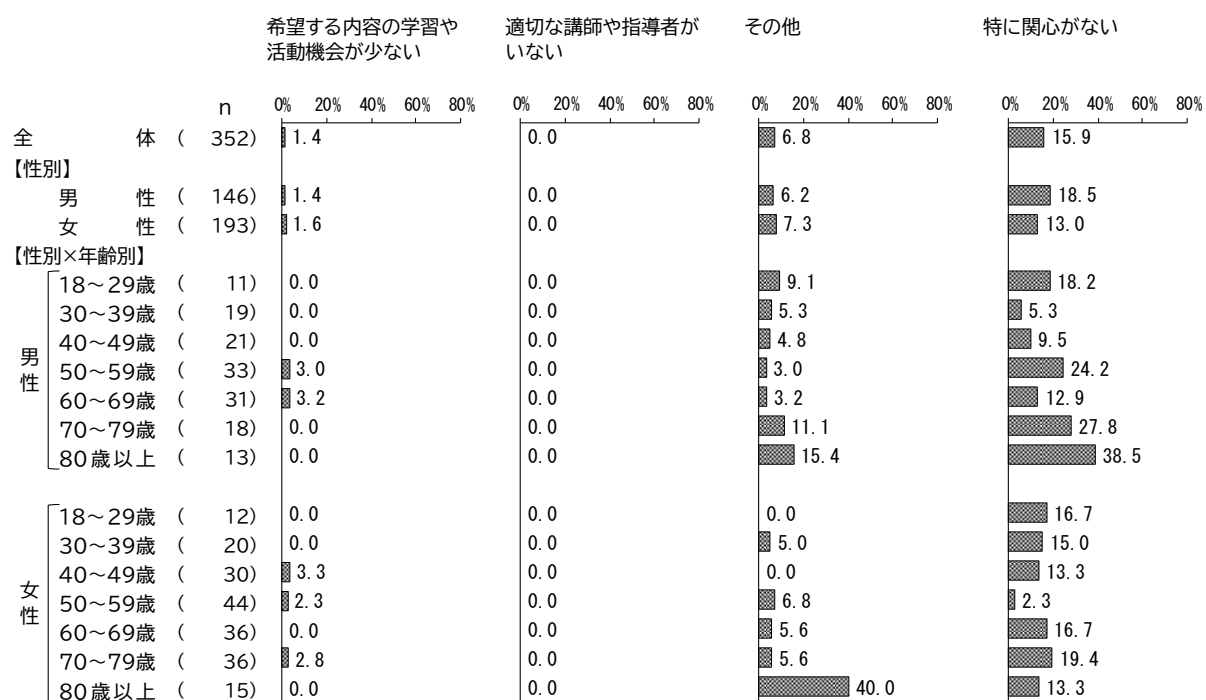
性別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、男性で 39.7% と高く、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」と「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、女性でそれぞれ 16.6%、14.5% と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、男性 30～39 歳から男性 50～59 歳までと女性 18～29 歳で 4 割を超えて高く、中でも男性 40～49 歳では 71.4% と 7 割を超えている。また、「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、女性 30～39 歳と女性 40～49 歳で 3 割と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－6－2 生涯学習活動をしていない理由（性別／性別×年齢別）

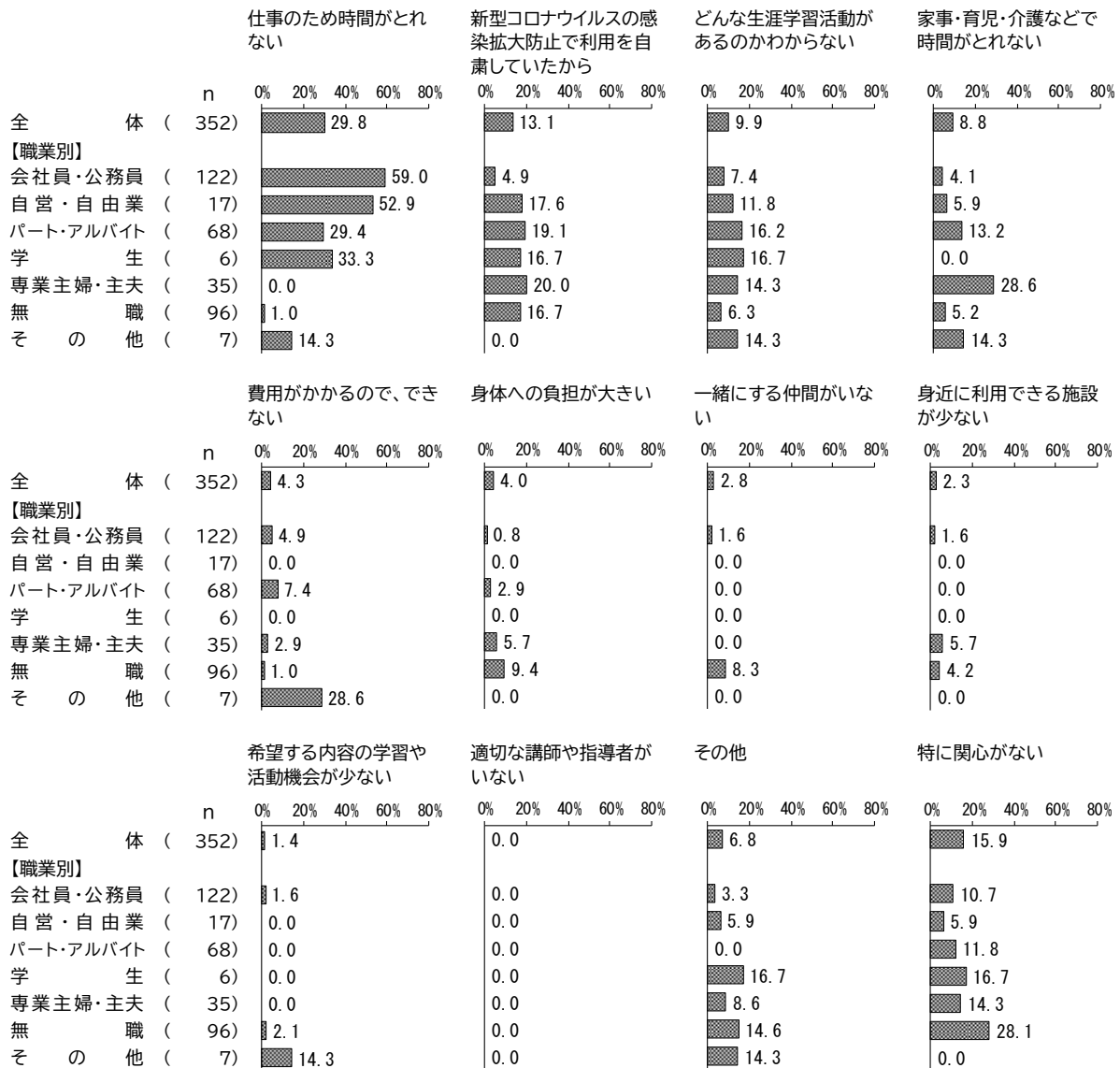
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－6－3 生涯学習活動をしていない理由（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、会社員・公務員で 59.0%、自営・自由業で 52.9%とどちらも 5 割を超えて高くなっている。また、「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、専業主婦・主夫で 28.6%、「特に関心がない」は、無職で 28.1%と他の年齢層と比べて高くなっている。



※n数が10未満の属性は参考に留める

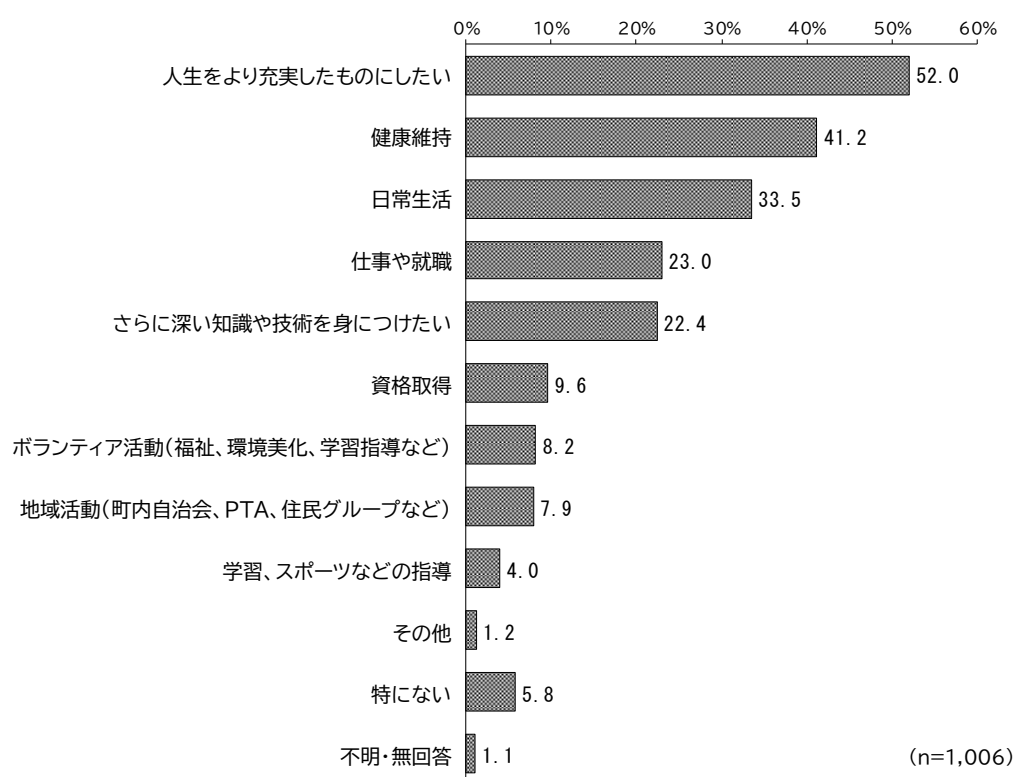
図Ⅲ－6－4 生涯学習活動をしない理由（職業別）

7. 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

全員の方におたずねします。

【問7】あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいかについてたずねたところ、「人生をより充実したものにしたい」が52.0%で最も高く、次いで「健康維持」(41.2%)、「日常生活」(33.5%)、「仕事や就職」(23.0%)、「さらに深い知識や技術を身につけたい」(22.4%)などと続いている。

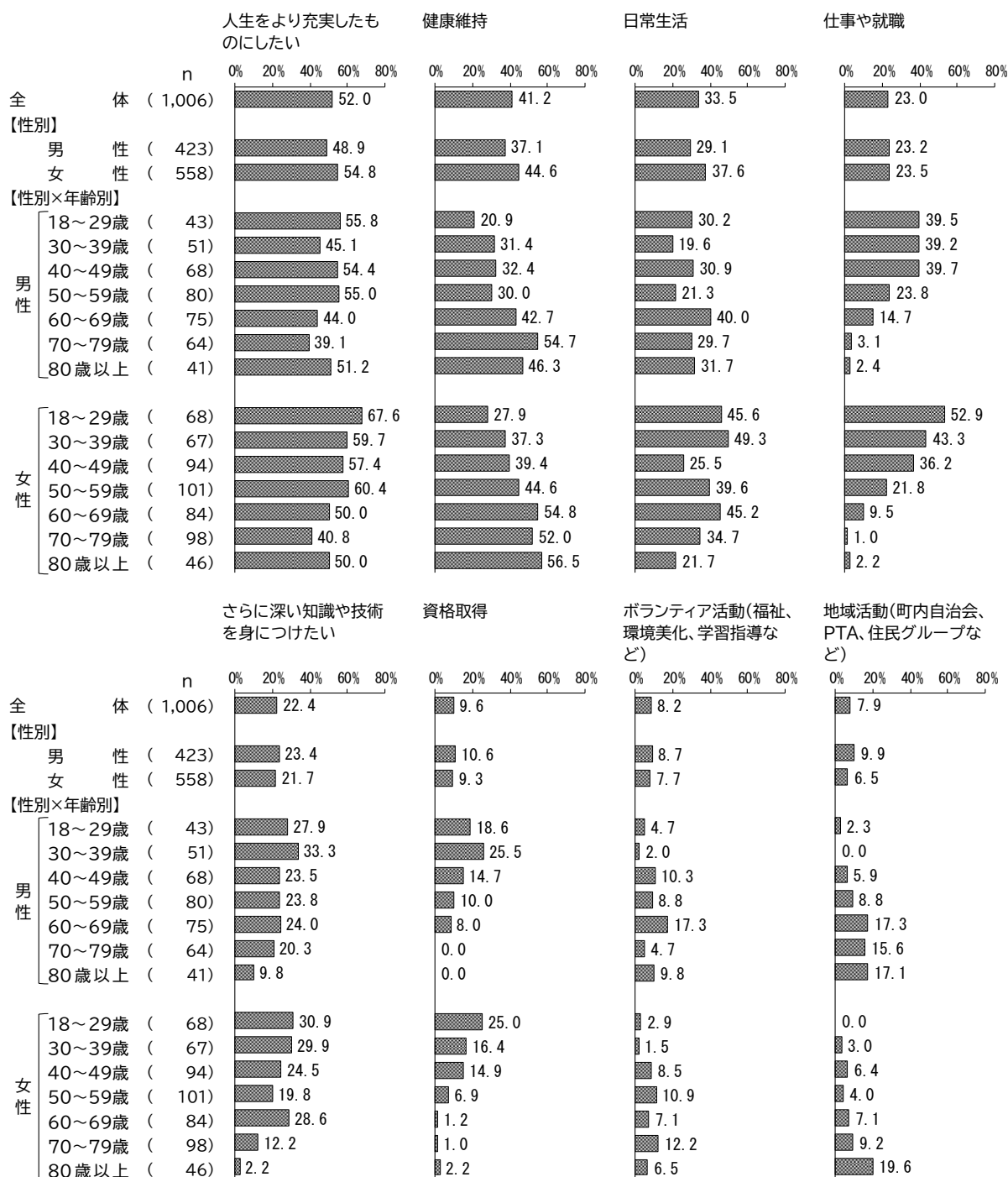


図Ⅲ－7－1 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

【性別／性別×年齢別】

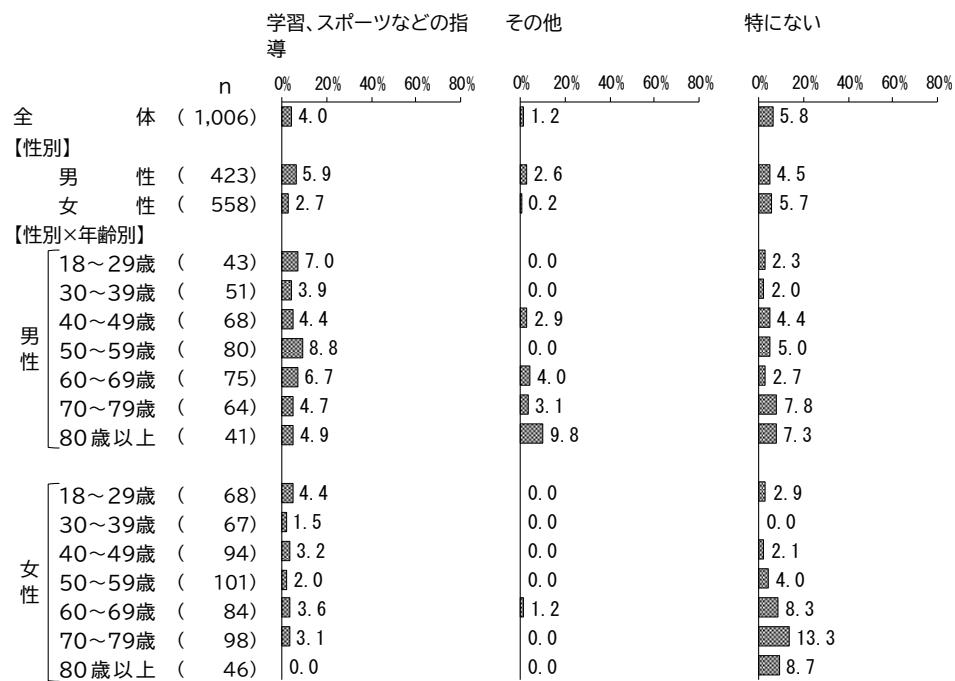
性別にみると、「健康維持」と「日常生活」は、女性でそれぞれ44.6%、37.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「人生をより充実したものにしたい」は、女性18～29歳と女性50～59歳で6割を超えて高く、「健康維持」は、男性70～79歳と女性60～69歳から女性80歳以上までの層で5割を超えて高くなっている。また、「仕事や就職」は、女性18～29歳で52.9%と高くなっている。



図Ⅲ－7－2 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方
(性別／性別×年齢別)

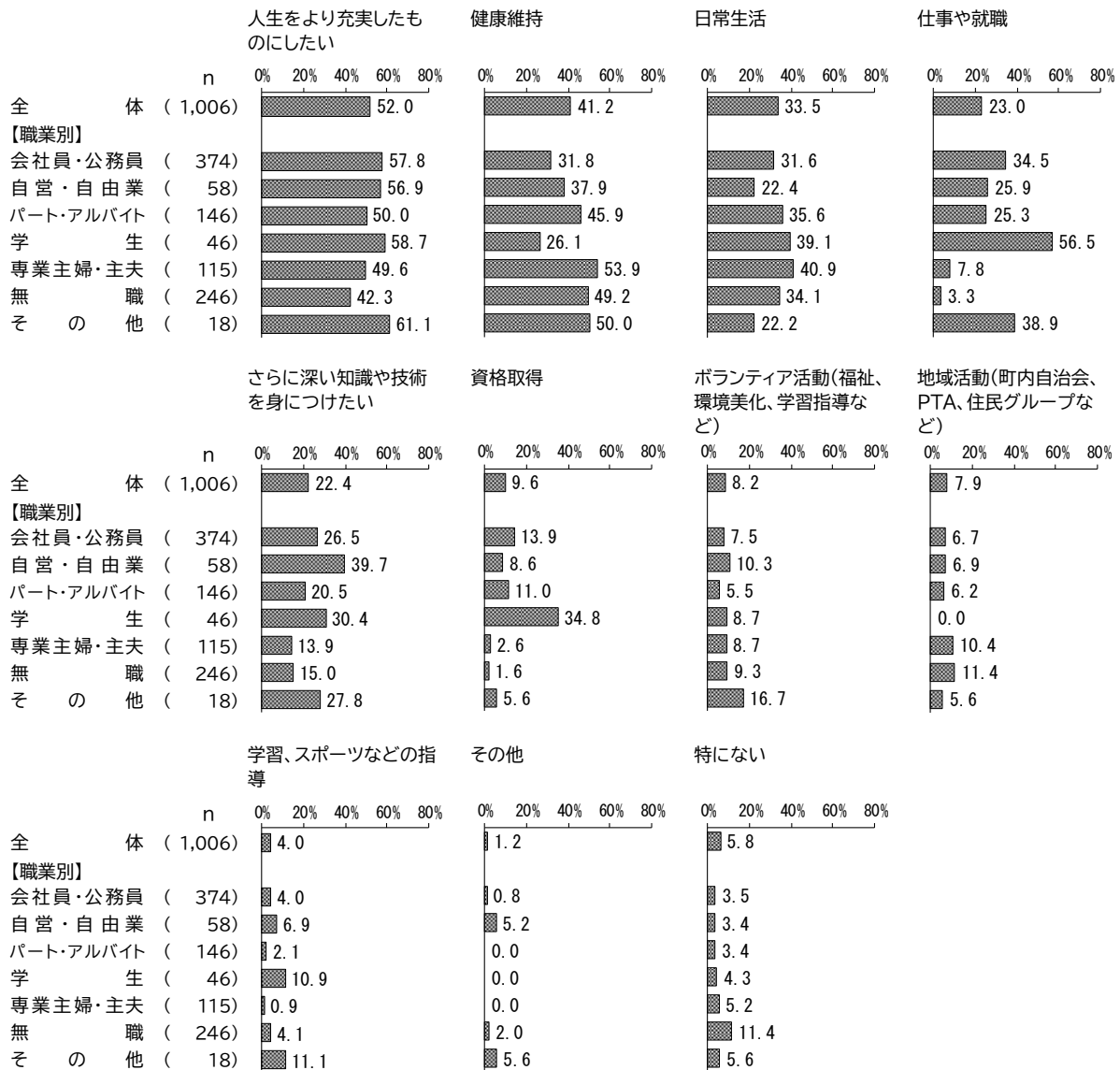
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－７－３ 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方
（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「健康維持」は、専業主婦・主夫と無職でそれぞれ 53.9%、49.2%と 5 割前後で高く、「仕事や就職」と「資格取得」は、学生でそれぞれ 56.5%、34.8%と他の職業に比べて高くなっている。また、「さらに深い知識や技術を身につけたい」は、自営・自由業で 39.7%と高くなっている。



図Ⅲ－７－４ 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方（職業別）

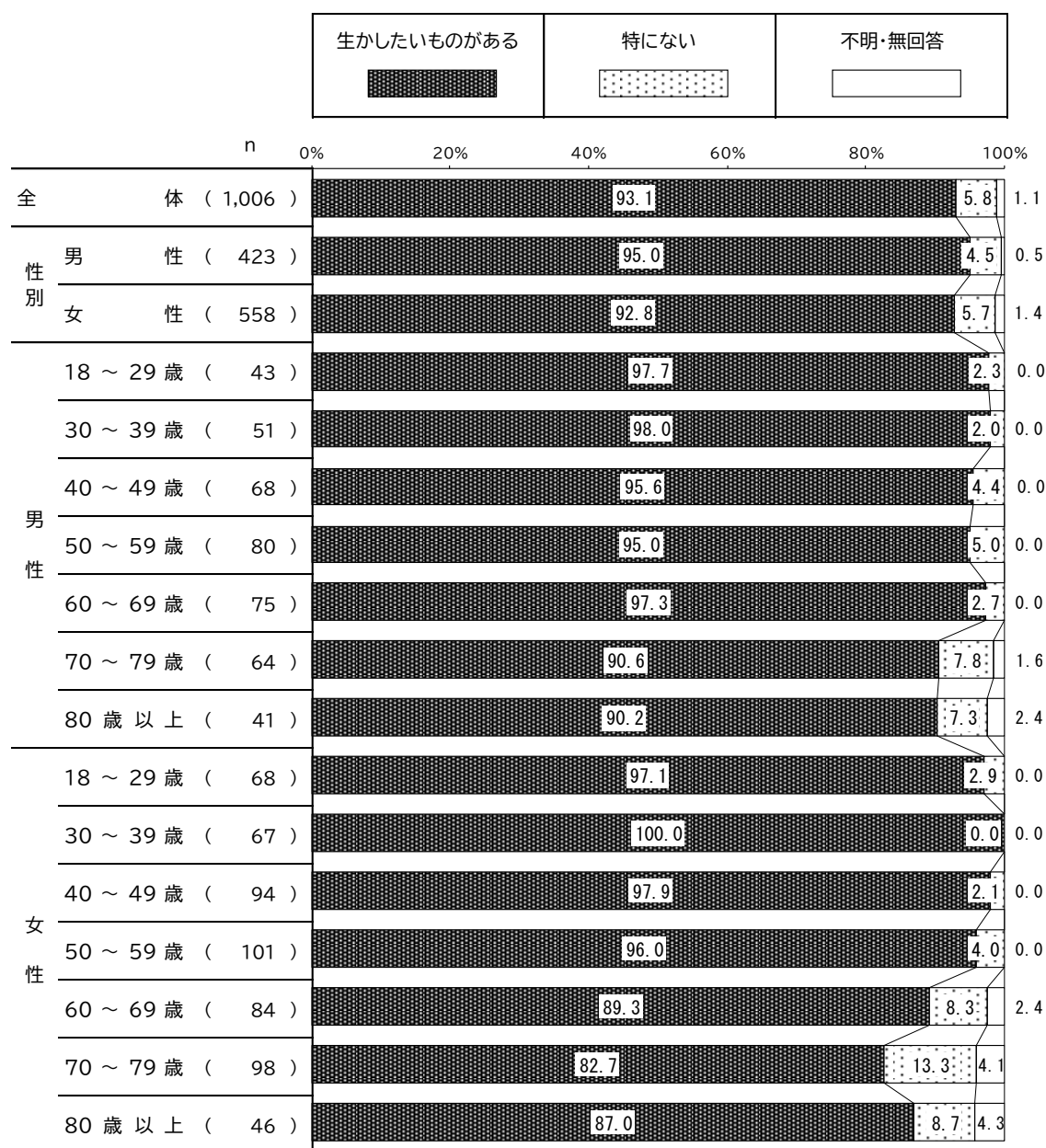
■生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向

生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を生かしたいか否かの割合をみるため、回答選択肢1～10(P108、調査票参照)の中から1つ以上選んだ方を「生かしたいものがある」として、集計を行った。

全体で、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向がある方の割合をみると、「生かしたいものがある」は93.1%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生かしたいものがある」は、女性60～69歳から女性80歳以上の層で9割を下回っており、他の年齢層と比べて低くなっている。

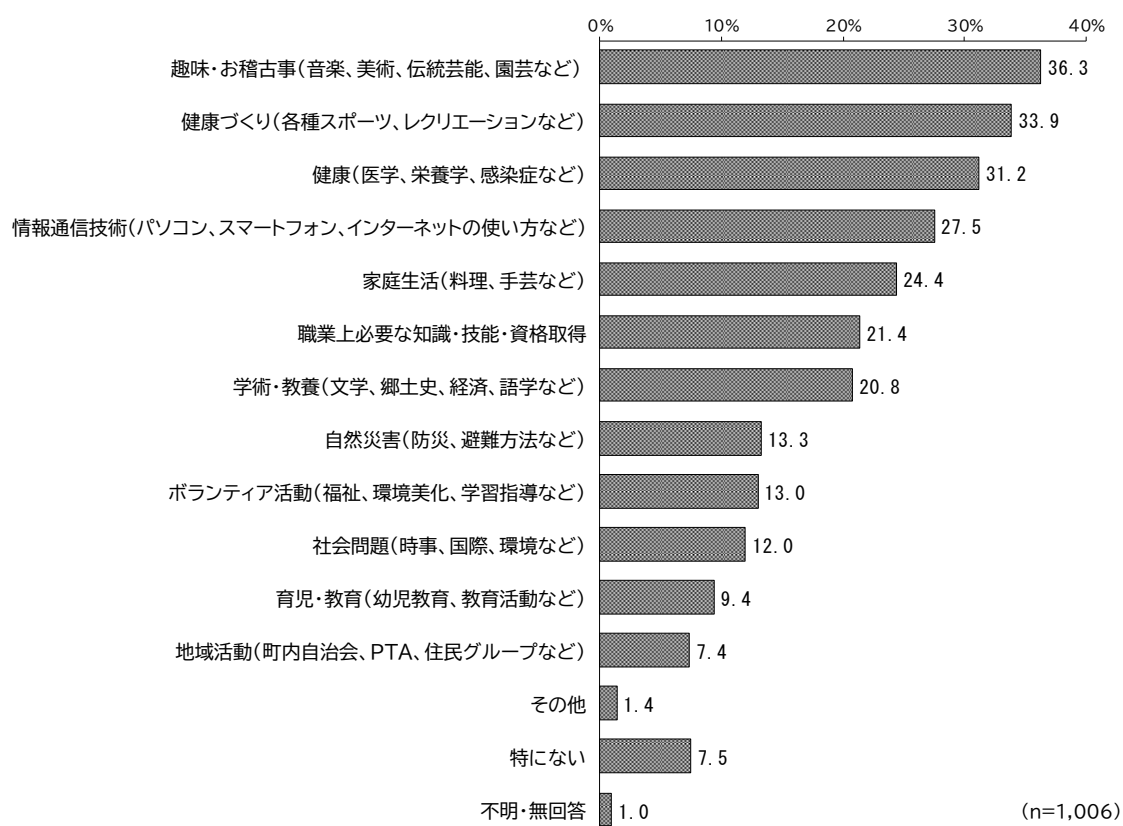


図Ⅲ－7－5 生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向
(性別／性別×年齢別)

8. 今後の生涯学習活動意向

【問8】あなたは、今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思うかについてたずねたところ、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が36.3%で最も高く、次いで「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」（33.9%）、「健康（医学、栄養学、感染症など）」（31.2%）、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」（27.5%）、「家庭生活（料理、手芸など）」（24.4%）などと続いている。

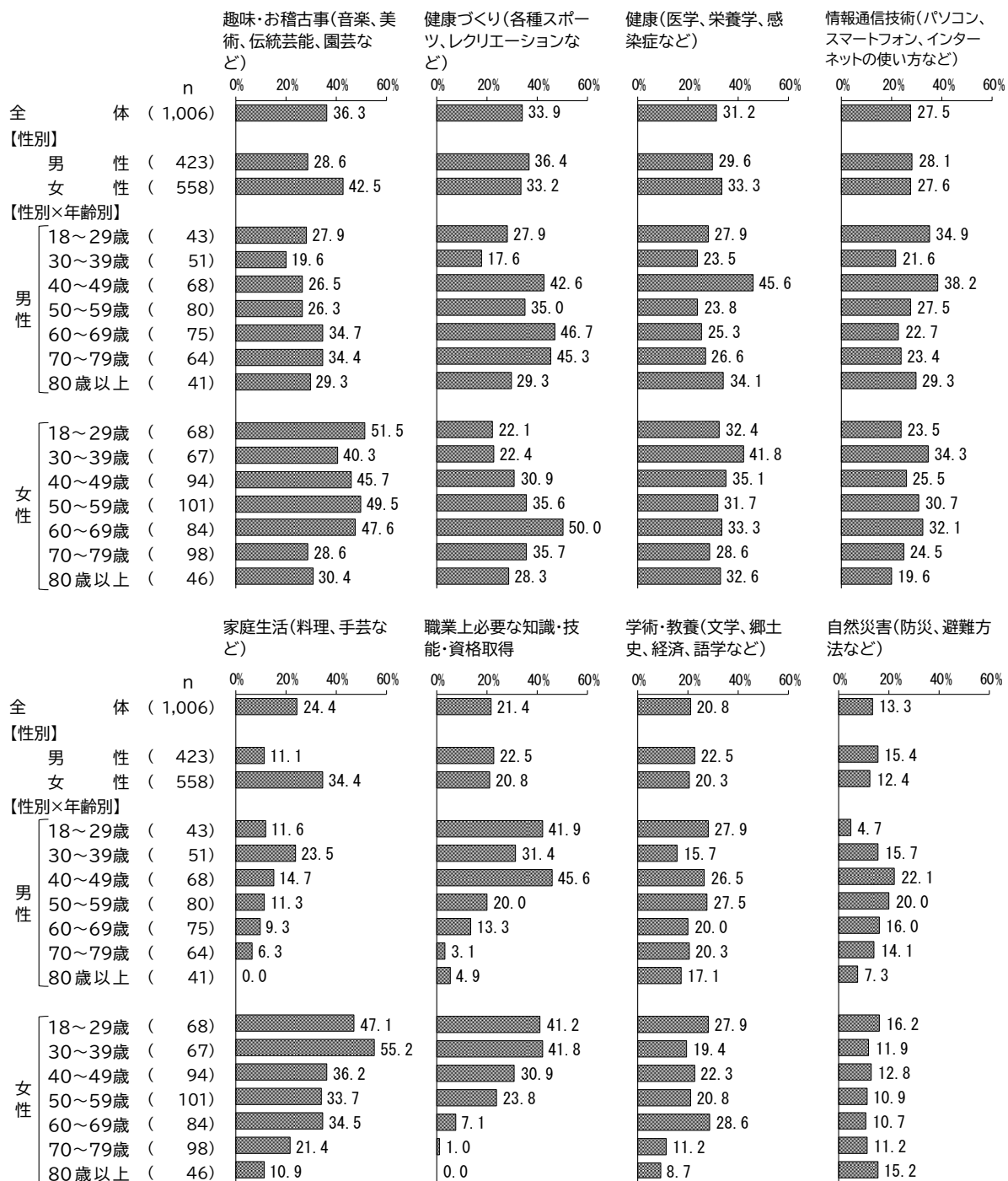


図Ⅲ－８－１ 今後の生涯学習活動意向

【性別／性別×年齢別】

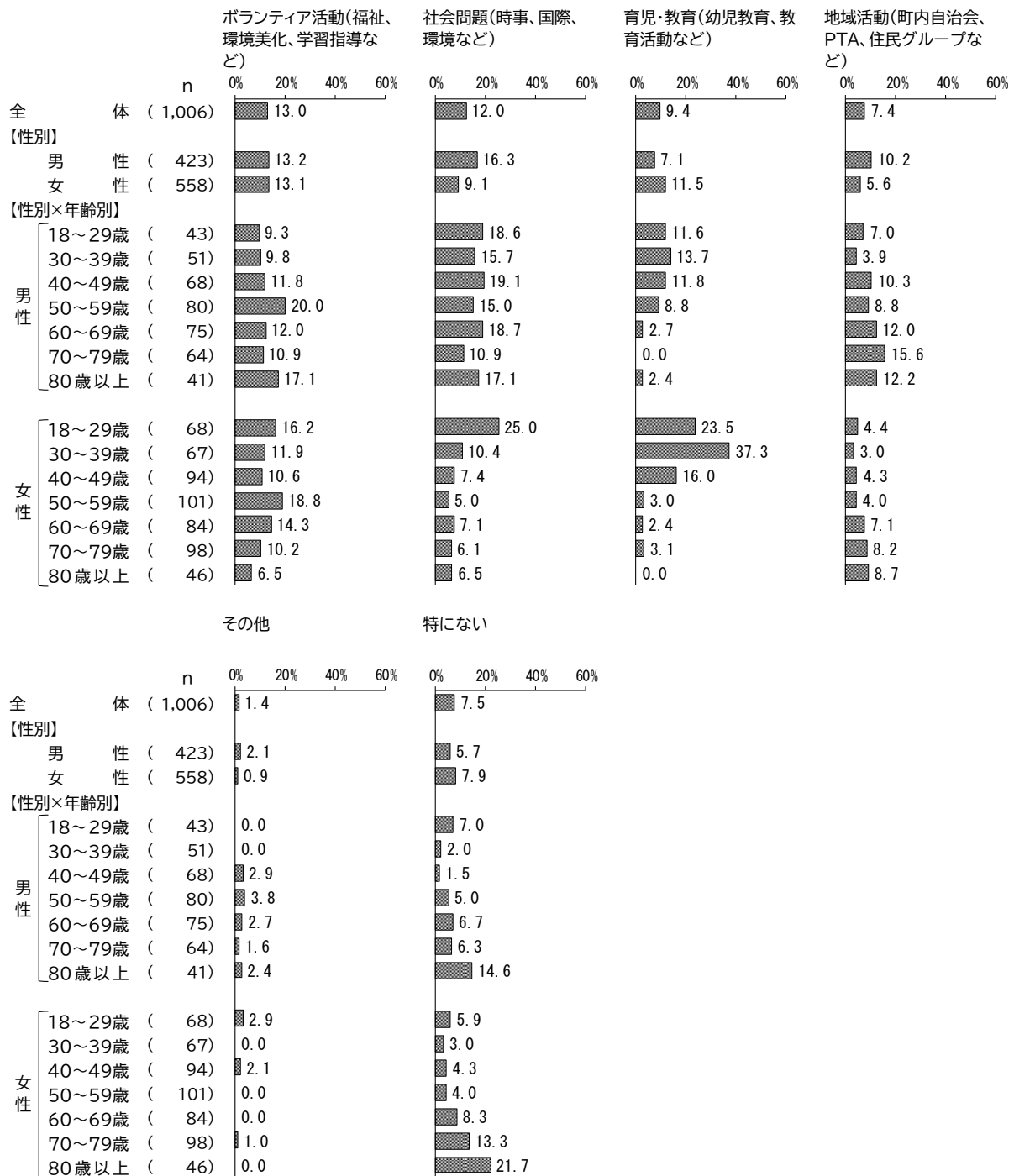
性別にみると、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」と「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性でそれぞれ42.5%、34.4%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、女性18～29歳で51.5%、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、女性60～69歳で50.0%、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性30～39歳で55.2%と高くなっている。また、「健康（医学、栄養学、感染症など）」は、男性40～49歳と女性30～39歳で、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男性18～29歳と男性40～49歳、女性18～29歳と女性30～39歳で4割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－８－２ 今後の生涯学習活動意向（性別／性別×年齢別）

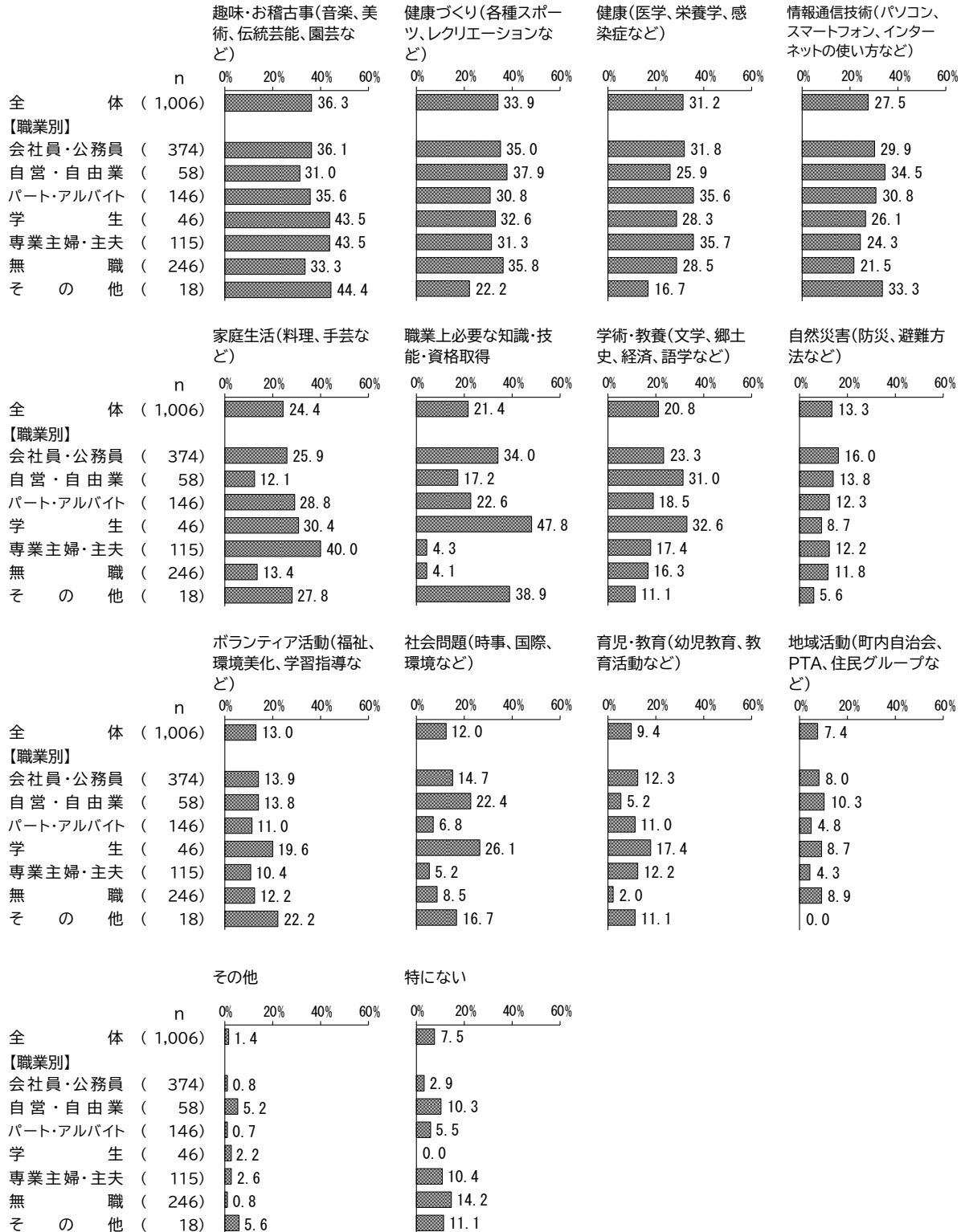
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－８－３ 今後の生涯学習活動意向（性別／性別×年齢別）

【職業別】

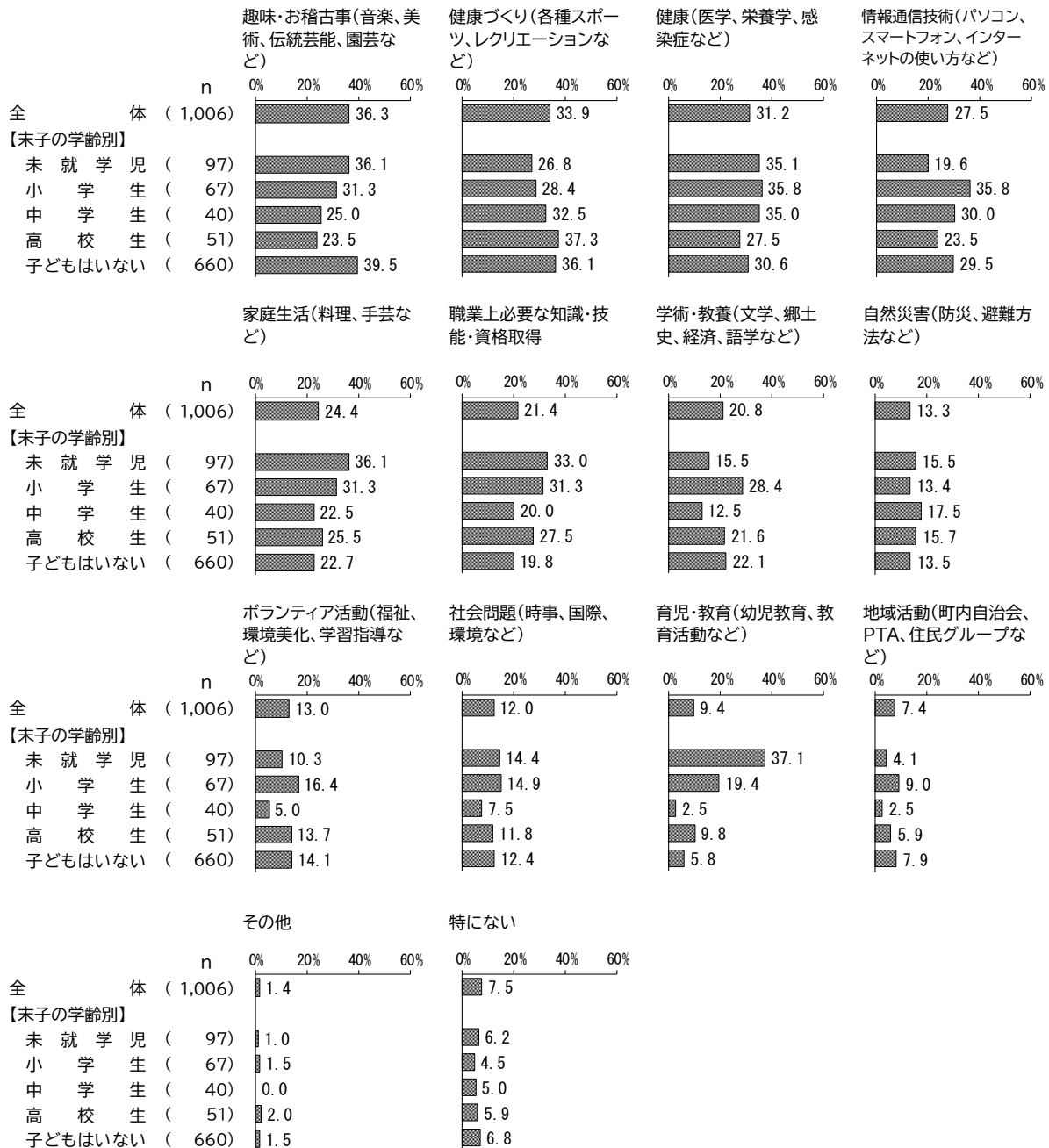
職業別にみると、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、学生で47.8%、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、学生と専業主婦・主夫とともに43.5%、「家庭生活（料理、手芸など）」は、専業主婦・主夫で40.0%といずれも4割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－8－4 今後の生涯学習活動意向（職業別）

【末子の学齢別】

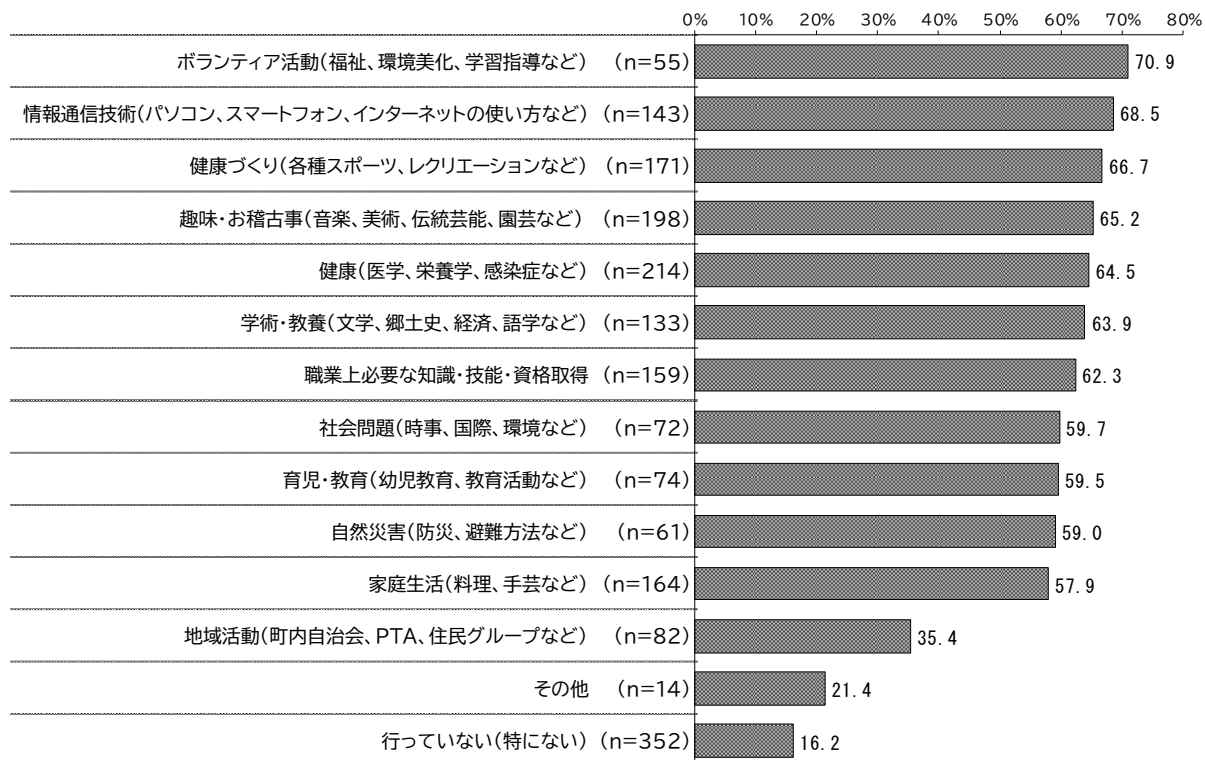
末子の学齢別にみると、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」、「家庭生活（料理、手芸など）」、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、末子に未就学児がいる層でそれぞれ37.1%、36.1%、33.0%と他の職業に比べて最も高くなっている。「健康（医学、栄養学、感染症など）」と「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」は、小学生がいる層とともに35.8%と高くなっている。



図Ⅲ－８－５ 今後の生涯学習活動意向（末子の学齢別）

【直近1年間に行った生涯学習活動別】

直近1年間で実際に活動した内容と同じ内容の生涯学習活動を今後行いたいと回答した割合（継続率）をみると、「ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）」は7割を超えており、生涯学習活動の継続意向が特に高くなっている。



※各n数は、問3での回答者数を表す

図Ⅲ－８－６ 今後の生涯学習活動意向（直近1年間に行った生涯学習活動別）

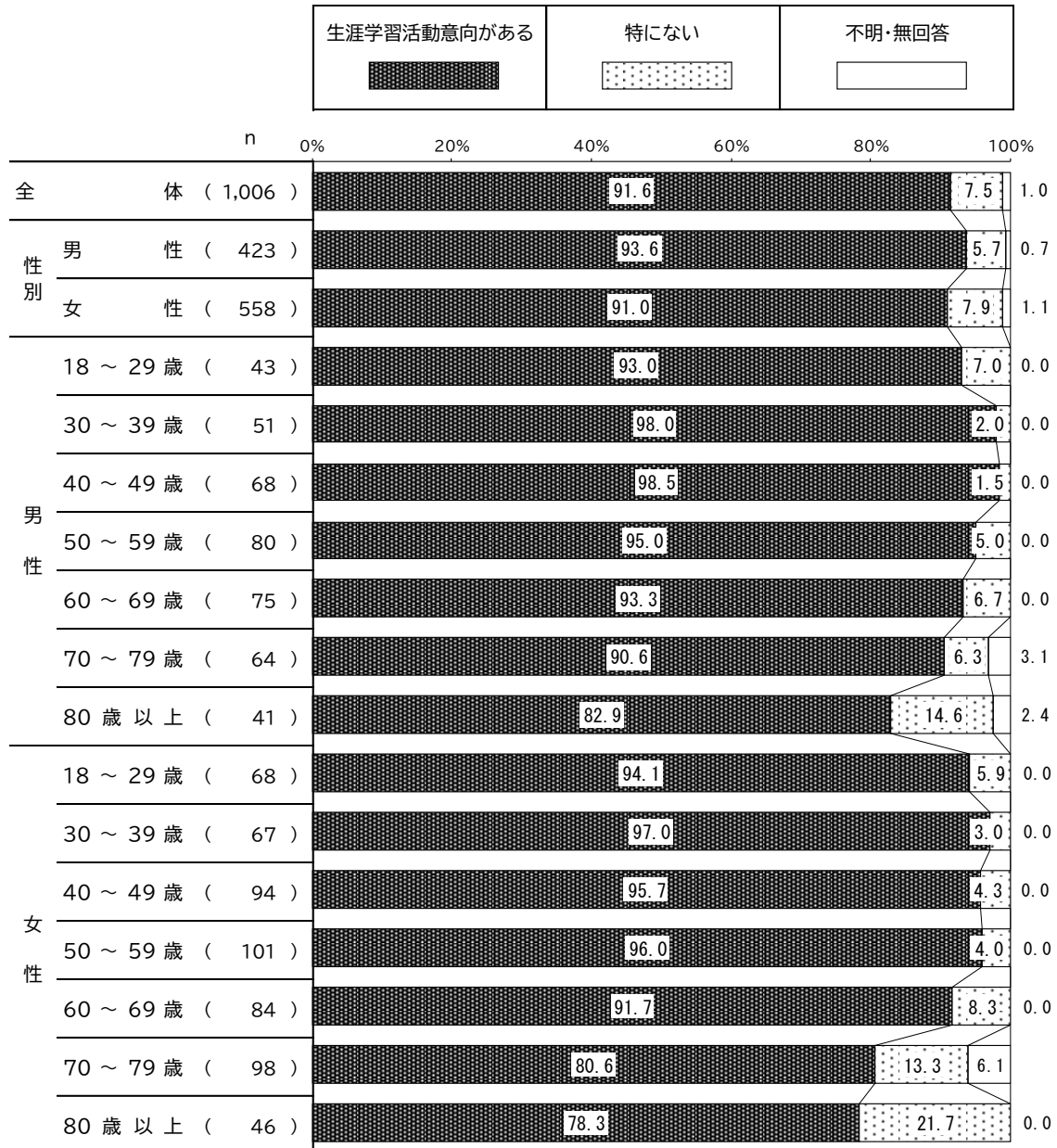
■今後の生涯学習活動の活動意向有無

今後の生涯学習活動の活動意向があるか否かの割合をみるため、回答選択肢1～13（P108、調査票参照）の中から1つ以上選んだ方を「生涯学習活動意向がある」として、集計を行った。

全体で、今後に生涯学習活動の活動意向がある方の割合をみると、91.6%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生涯学習活動意向がある」は、男性30～39歳と男性40～49歳で98.0%を超えて高くなっている。一方、男女ともに80歳以上と女性70～79歳で「生涯学習活動意向がある」は、8割前後と他の年齢層と比べて低くなっている。



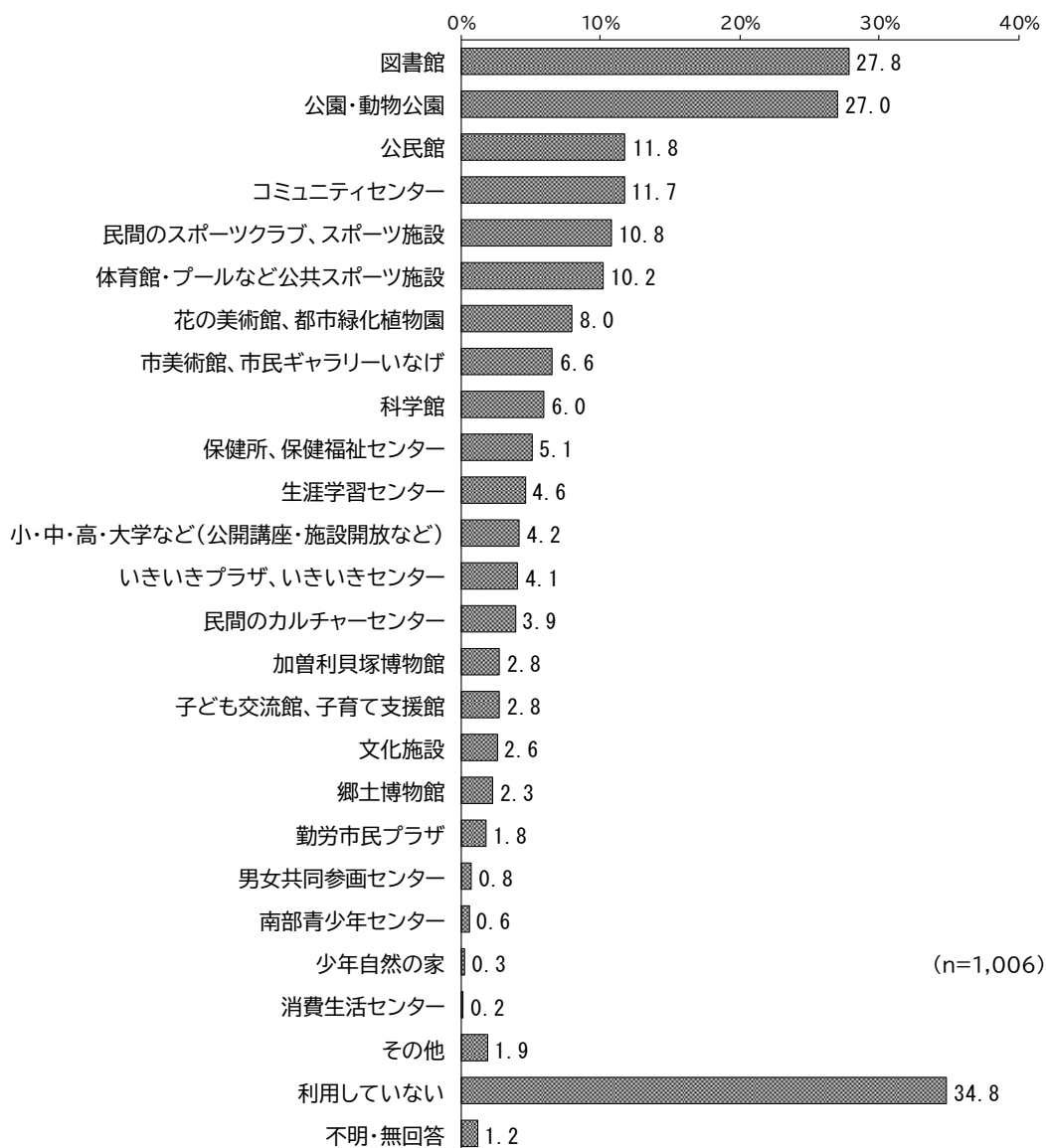
図Ⅲ－8－7 今後の生涯学習活動の活動意向有無（性別／性別×年齢別）

9. この1年間に利用した施設

【問9】あなたは、この1年間にどの施設を利用しましたか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

この1年間にどの施設を利用したかについてたずねたところ、「図書館」が27.8%で最も高く、僅差で「公園・動物公園」(27.0%)、次いで「公民館」(11.8%)、「コミュニティセンター」(11.7%)、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」(10.8%)、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」(10.2%)などと続いている。

一方、「利用していない」は、34.8%で3割台半ばとなっている。



図Ⅲ－9－1 この1年間に利用した施設

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」は、男性で 14.2%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「公園・動物公園」は、女性 30～39 歳で 55.2%と 5 割を超えており、「図書館」は、女性 40～49 歳で 40.4%と 4 割を超えて高くなっている。また、「公民館」は、男女ともに 80 歳以上と女性 70～79 歳で 20.4～26.1%、「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）」は、男性 18～29 歳で 25.6%、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、男性 18～29 歳で 20.9%、「科学館」は、女性 30～39 歳で 20.9%と、いずれも 2 割を超えて他の年齢層と比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリーいなげ	科学館	(%)
全 体	1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0	
男 性	423	26.0	26.0	10.2	11.6	14.2	12.8	6.9	4.5	4.7	
18～29歳	43	30.2	18.6	9.3	14.0	11.6	20.9	—	—	2.3	
30～39歳	51	25.5	33.3	5.9	2.0	13.7	7.8	3.9	2.0	5.9	
40～49歳	68	27.9	29.4	2.9	16.2	13.2	23.5	4.4	1.5	14.7	
50～59歳	80	25.0	22.5	8.8	12.5	13.8	13.8	6.3	2.5	1.3	
60～69歳	75	25.3	25.3	8.0	8.0	18.7	8.0	4.0	5.3	1.3	
70～79歳	64	21.9	28.1	18.8	10.9	17.2	9.4	17.2	9.4	3.1	
80歳以上	41	29.3	24.4	22.0	17.1	7.3	4.9	12.2	12.2	4.9	
女 性	558	29.9	28.3	13.3	12.2	8.6	8.6	9.1	8.2	7.0	
18～29歳	68	33.8	27.9	10.3	8.8	7.4	4.4	1.5	4.4	7.4	
30～39歳	67	32.8	55.2	9.0	11.9	10.4	11.9	10.4	3.0	20.9	
40～49歳	94	40.4	33.0	8.5	13.8	8.5	16.0	6.4	4.3	9.6	
50～59歳	101	31.7	24.8	10.9	7.9	5.9	7.9	9.9	4.0	3.0	
60～69歳	84	29.8	28.6	11.9	14.3	11.9	8.3	11.9	11.9	8.3	
70～79歳	98	21.4	14.3	20.4	14.3	8.2	6.1	11.2	18.4	—	
80歳以上	46	13.0	17.4	26.1	15.2	8.7	2.2	13.0	10.9	2.2	

	(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカラオケセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館	(%)
全 体	1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3	
男 性	423	2.6	5.4	4.7	4.0	2.8	2.1	1.9	2.8	2.1	
18～29歳	43	—	4.7	25.6	—	2.3	2.3	2.3	4.7	—	
30～39歳	51	3.9	—	3.9	2.0	—	2.0	3.9	2.0	—	
40～49歳	68	1.5	1.5	1.5	2.9	—	5.9	4.4	1.5	2.9	
50～59歳	80	3.8	3.8	3.8	1.3	3.8	2.5	—	3.8	5.0	
60～69歳	75	2.7	6.7	4.0	2.7	2.7	—	1.3	1.3	—	
70～79歳	64	—	6.3	—	9.4	4.7	1.6	—	3.1	3.1	
80歳以上	41	7.3	19.5	—	12.2	7.3	—	2.4	4.9	2.4	
女 性	558	7.0	4.1	3.9	4.3	4.5	3.4	3.6	2.5	2.5	
18～29歳	68	2.9	2.9	14.7	—	—	1.5	4.4	1.5	1.5	
30～39歳	67	17.9	4.5	3.0	—	3.0	3.0	19.4	1.5	3.0	
40～49歳	94	16.0	4.3	3.2	—	6.4	3.2	3.2	2.1	5.3	
50～59歳	101	3.0	2.0	5.0	—	4.0	1.0	—	4.0	—	
60～69歳	84	6.0	7.1	1.2	4.8	6.0	3.6	1.2	2.4	1.2	
70～79歳	98	1.0	2.0	1.0	14.3	6.1	6.1	—	4.1	3.1	
80歳以上	46	2.2	8.7	—	13.0	4.3	6.5	—	—	4.3	

図Ⅲ－9－2 この1年間に利用した施設（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

	(n)	勤労市民プ ラザ	男女共同参 画センター	南部青少年 センター	少年自然の 家	消費生活セ ンター	その他	利用してい ない	(%)
全 体	1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9		34.8
男 性	423	2.6	0.9	0.2	0.5	-	1.7		35.9
18～29歳	43	2.3	-	-	2.3	-	-		30.2
30～39歳	51	-	-	-	-	-	-		45.1
40～49歳	68	2.9	-	1.5	1.5	-	1.5		44.1
50～59歳	80	3.8	-	-	-	-	-		42.5
60～69歳	75	1.3	2.7	-	-	-	4.0		32.0
70～79歳	64	6.3	-	-	-	-	4.7		21.9
80歳以上	41	-	4.9	-	-	-	-		34.1
女 性	558	1.3	0.7	0.9	0.2	0.4	2.2		33.2
18～29歳	68	-	-	-	-	-	1.5		30.9
30～39歳	67	1.5	-	1.5	1.5	-	1.5		22.4
40～49歳	94	1.1	2.1	-	-	2.1	1.1		28.7
50～59歳	101	1.0	-	1.0	-	-	1.0		36.6
60～69歳	84	1.2	1.2	2.4	-	-	2.4		38.1
70～79歳	98	3.1	1.0	1.0	-	-	4.1		33.7
80歳以上	46	-	-	-	-	-	4.3		43.5

図Ⅲ－9－3 この1年間に利用した施設（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「図書館」と「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）」は、学生でそれぞれ50.0%、41.3%と突出して高くなっている。

なお、「利用していない」は、パート・アルバイトで40.4%と高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリー・いなぎ	科学館	(%)
全 体	1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0	
職業別											
会社員・公務員	374	28.9	28.1	8.3	11.5	12.0	12.0	7.2	3.7	9.1	
自営・自由業	58	25.9	22.4	13.8	8.6	17.2	6.9	8.6	8.6	3.4	
パート・アルバイト	146	23.3	30.1	7.5	8.2	6.2	9.6	4.8	4.8	4.1	
学 生	46	50.0	23.9	15.2	19.6	10.9	19.6	-	-	8.7	
専業主婦・主夫	115	36.5	31.3	13.9	15.7	12.2	11.3	13.0	12.2	4.3	
無 職	246	21.5	22.4	17.9	12.2	9.8	6.5	10.6	10.2	2.8	
そ の 他	18	27.8	38.9	11.1	5.6	11.1	11.1	-	5.6	11.1	

	(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカルチャーセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館	(%)
全 体	1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3	
職業別											
会社員・公務員	374	5.1	2.9	3.2	1.1	3.5	3.5	3.7	2.1	2.9	
自営・自由業	58	6.9	6.9	1.7	3.4	6.9	1.7	-	10.3	1.7	
パート・アルバイト	146	6.2	2.7	2.7	3.4	2.7	0.7	0.7	1.4	1.4	
学 生	46	2.2	6.5	41.3	-	-	-	4.3	4.3	2.2	
専業主婦・主夫	115	7.8	3.5	2.6	5.2	4.3	4.3	7.0	0.9	1.7	
無 職	246	3.3	8.1	0.8	9.8	5.3	3.3	0.8	2.4	2.4	
そ の 他	18	5.6	-	5.6	-	-	-	5.6	5.6	-	

	(n)	勤労市民プラザ	男女共同参画センター	南部青少年センター	少年自然の家	消費生活センター	その他	利用していない	(%)
全 体	1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9	34.8	
職業別									
会社員・公務員	374	1.9	0.3	0.5	0.5	0.3	0.8	39.0	
自営・自由業	58	3.4	-	-	-	-	5.2	27.6	
パート・アルバイト	146	0.7	-	0.7	-	0.7	1.4	40.4	
学 生	46	2.2	-	-	-	-	-	10.9	
専業主婦・主夫	115	2.6	-	1.7	0.9	-	2.6	26.1	
無 職	246	1.2	2.0	0.4	-	-	3.3	35.0	
そ の 他	18	5.6	11.1	-	-	-	-	38.9	

図Ⅲ－9－4 この1年間に利用した施設（職業別）

【末子の学齢別】

末子の学齢別にみると、「公園・動物公園」と「子ども交流館、子育て支援館」は、末子に未就学児がいる層でそれぞれ56.7%、22.7%と高く、「図書館」、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」、「科学館」は、小学生がいる層でそれぞれ46.3%、26.9%、26.9%と高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリー・いなげ	科学館	(%)
全 体	1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0	
末子の学齢別											
未就学児	97	33.0	56.7	6.2	14.4	9.3	18.6	6.2	1.0	17.5	
小学生	67	46.3	44.8	17.9	11.9	10.4	26.9	6.0	3.0	26.9	
中学生	40	40.0	17.5	15.0	25.0	7.5	17.5	7.5	5.0	5.0	
高校生	51	41.2	23.5	7.8	23.5	19.6	19.6	5.9	2.0	2.0	
子どもはいない	660	24.8	23.0	10.9	9.7	11.2	7.0	8.0	8.2	2.9	

	(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカルチャーセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館	(%)
全 体	1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3	
末子の学齢別											
未就学児	97	15.5	3.1	3.1	3.1	3.1	5.2	22.7	3.1	1.0	
小学生	67	11.9	4.5	9.0	-	-	3.0	4.5	4.5	4.5	
中学生	40	2.5	5.0	7.5	2.5	7.5	5.0	-	2.5	2.5	
高校生	51	2.0	3.9	5.9	-	2.0	-	-	2.0	-	
子どもはいない	660	3.6	4.7	3.9	4.8	4.4	2.6	0.5	2.1	2.4	

	(n)	勤労市民プラザ	男女共同参画センター	南部青少年センター	少年自然の家	消費生活センター	その他	利用していない	(%)
全 体	1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9	34.8	
末子の学齢別									
未就学児	97	-	1.0	1.0	-	-	-	25.8	
小学生	67	-	-	-	3.0	3.0	-	19.4	
中学生	40	2.5	-	2.5	-	-	2.5	30.0	
高校生	51	7.8	-	-	-	-	2.0	21.6	
子どもはいない	660	1.8	1.1	0.5	0.2	-	2.1	38.8	

図Ⅲ－9－5 この1年間に利用した施設（末子の学齢別）

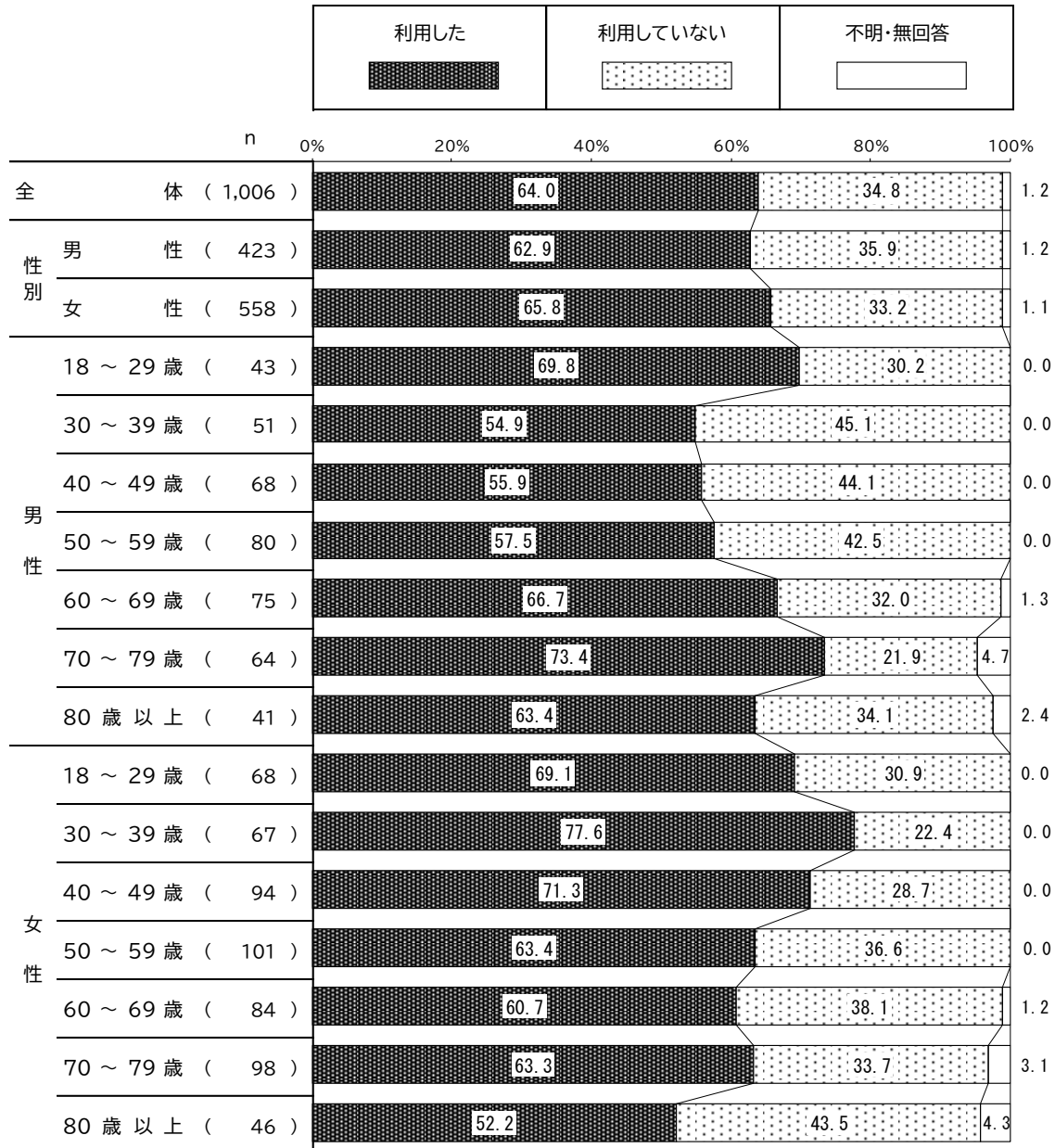
■この1年間の施設の利用有無

この1年間に生涯学習関連施設を利用したか否かの割合をみるため、回答選択肢1～24 (P108、調査票参照)の中から1つ以上選んだ方を「利用した」として、集計を行った。

全体で、この1年間に施設を利用した方の割合をみると、64.0%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「利用した」は、女性30～39歳と男性70～79歳でそれぞれ77.6%、73.4%と7割を超えて高くなっている。一方、「利用していない」は、男性30～39歳から男性50～59歳までと女性80歳以上で4割を超え、他の年齢層と比べて高くなっている。



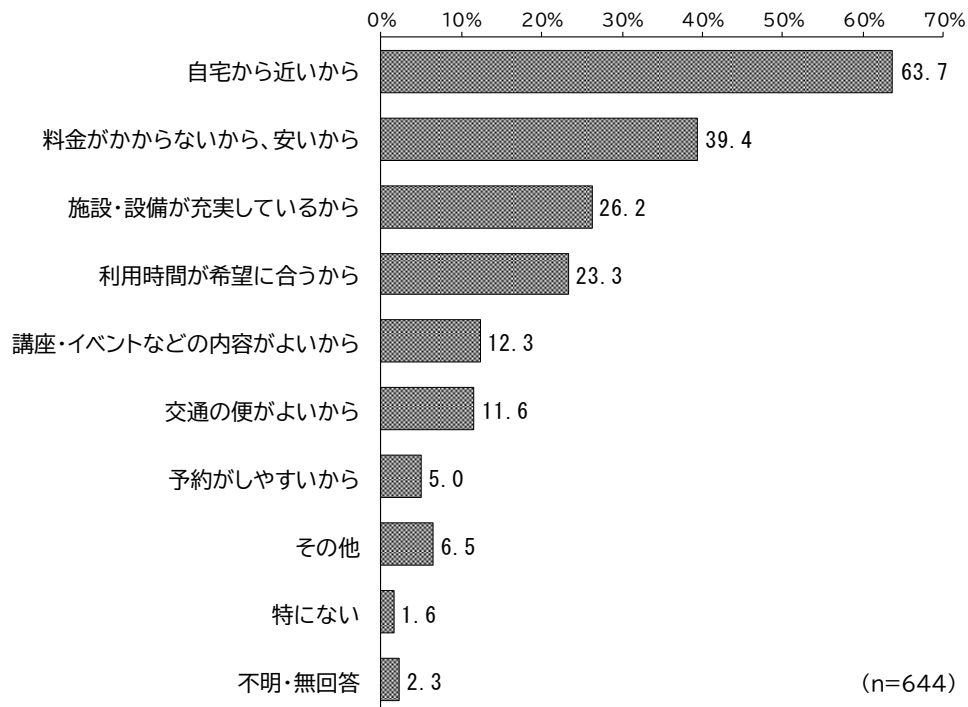
図Ⅲ－9－6 この1年間の施設の利用有無（性別／性別×年齢別）

10. 施設を利用する理由

問9で1～24に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの1年間に利用した方）におたずねします。

【問10】その施設を利用する理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に生涯学習関連施設を利用したと回答した方に、その施設を利用する理由についてたずねたところ、「自宅から近いから」が63.7%で最も高く、次いで「料金がかからないから、安いから」（39.4%）、「施設・設備が充実しているから」（26.2%）、「利用時間が希望に合うから」（23.3%）、「講座・イベントなどの内容がよいから」（12.3%）などと続いている。

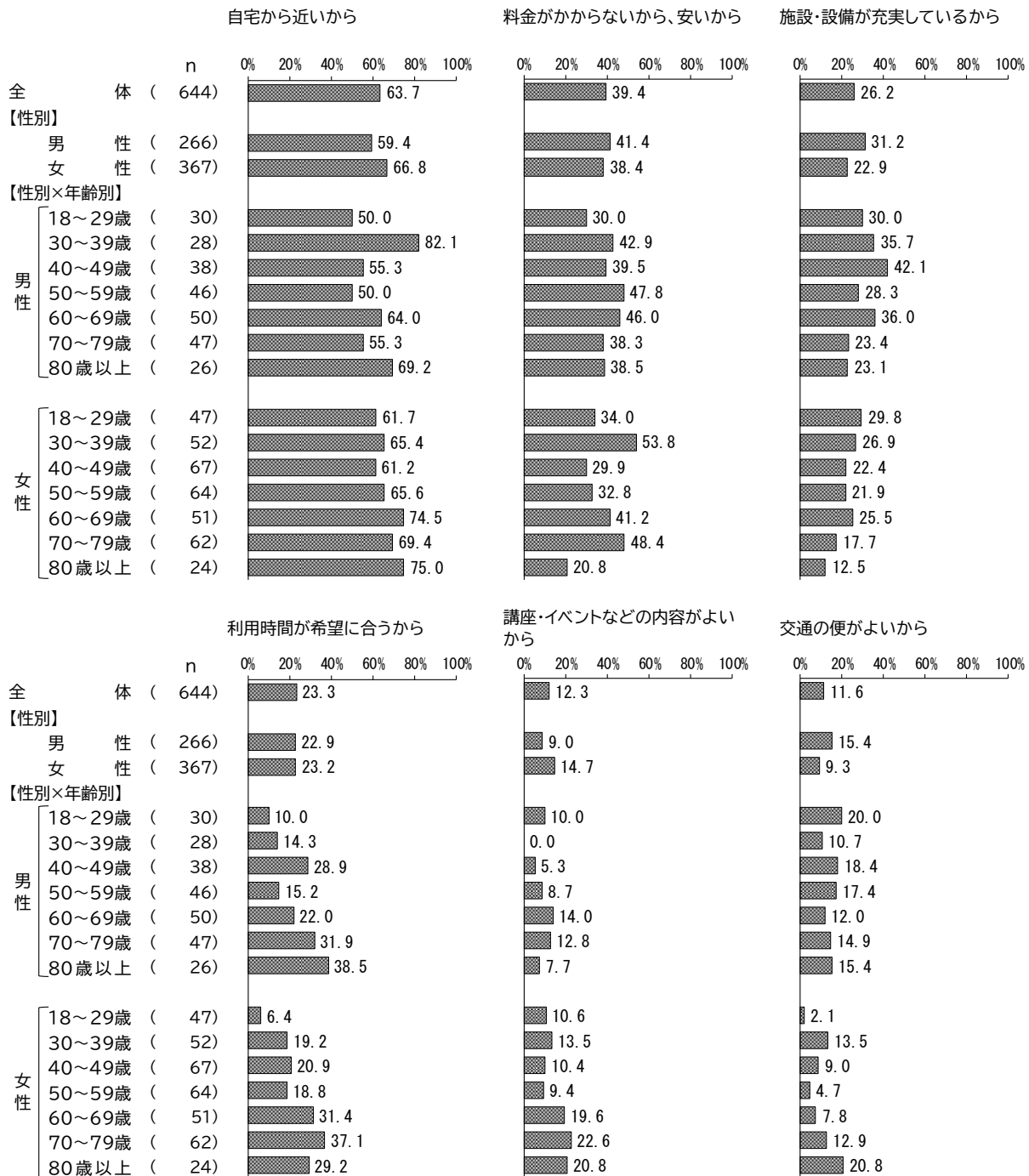


図Ⅲ－10－1 施設を利用する理由

【性別／性別×年齢別】

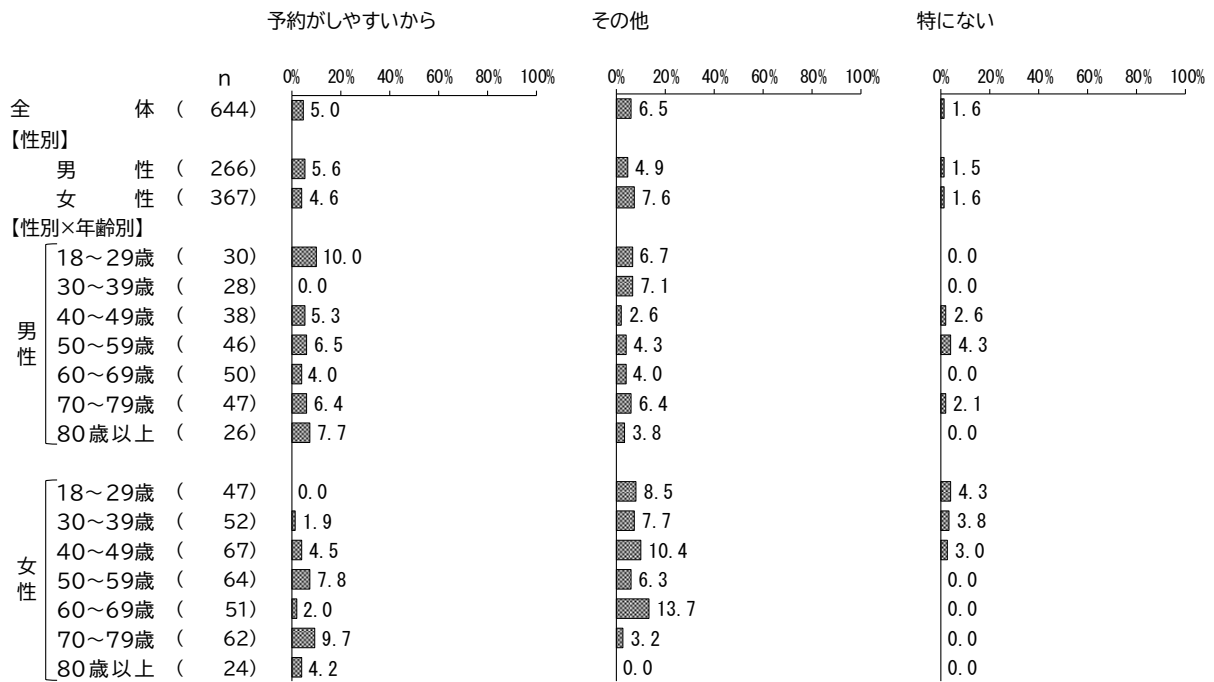
性別にみると、「施設・設備が充実しているから」は、男性が31.2%と高くなっている。

年齢別にみると、「自宅から近いから」は、男性30～39歳で82.1%と8割を超えて最も高くなっている。「料金がかからないから、安いから」は、女性30～39歳で53.8%、「施設・設備が充実しているから」は、男性40～49歳で42.1%、「利用時間が希望に合うから」は、男性80歳以上と女性70～79歳でそれぞれ38.5%、37.1%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－10－2 施設を利用する理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－10－3 施設を利用する理由（性別／性別×年齢別）

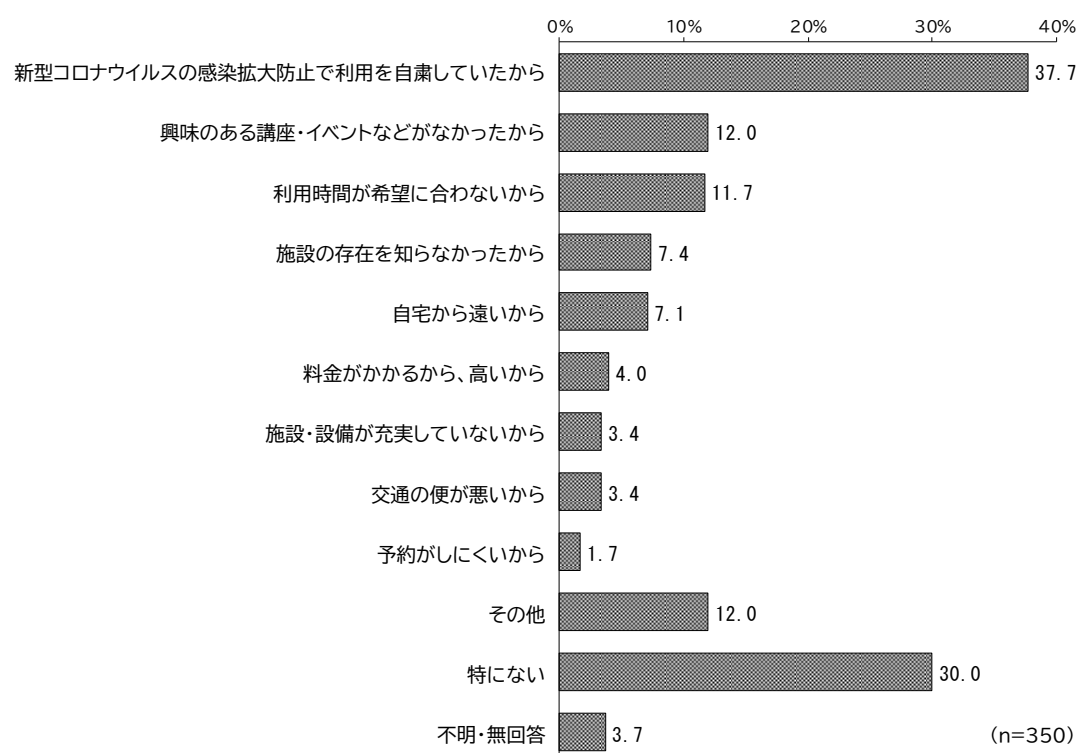
1 1. 施設を利用しなかった理由

問9で25に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの1年間に利用しなかった方）におたずねします。

【問11】施設を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に生涯学習関連施設を利用しなかったと回答した方に、施設を利用しなかった理由についてたずねたところ、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」が37.7%で突出して高く、次いで「興味のある講座・イベントなどがなかったから」（12.0%）、「利用時間が希望に合わないから」（11.7%）などと続いている。

一方、「特にない」は、30.0%でちょうど3割となっている。

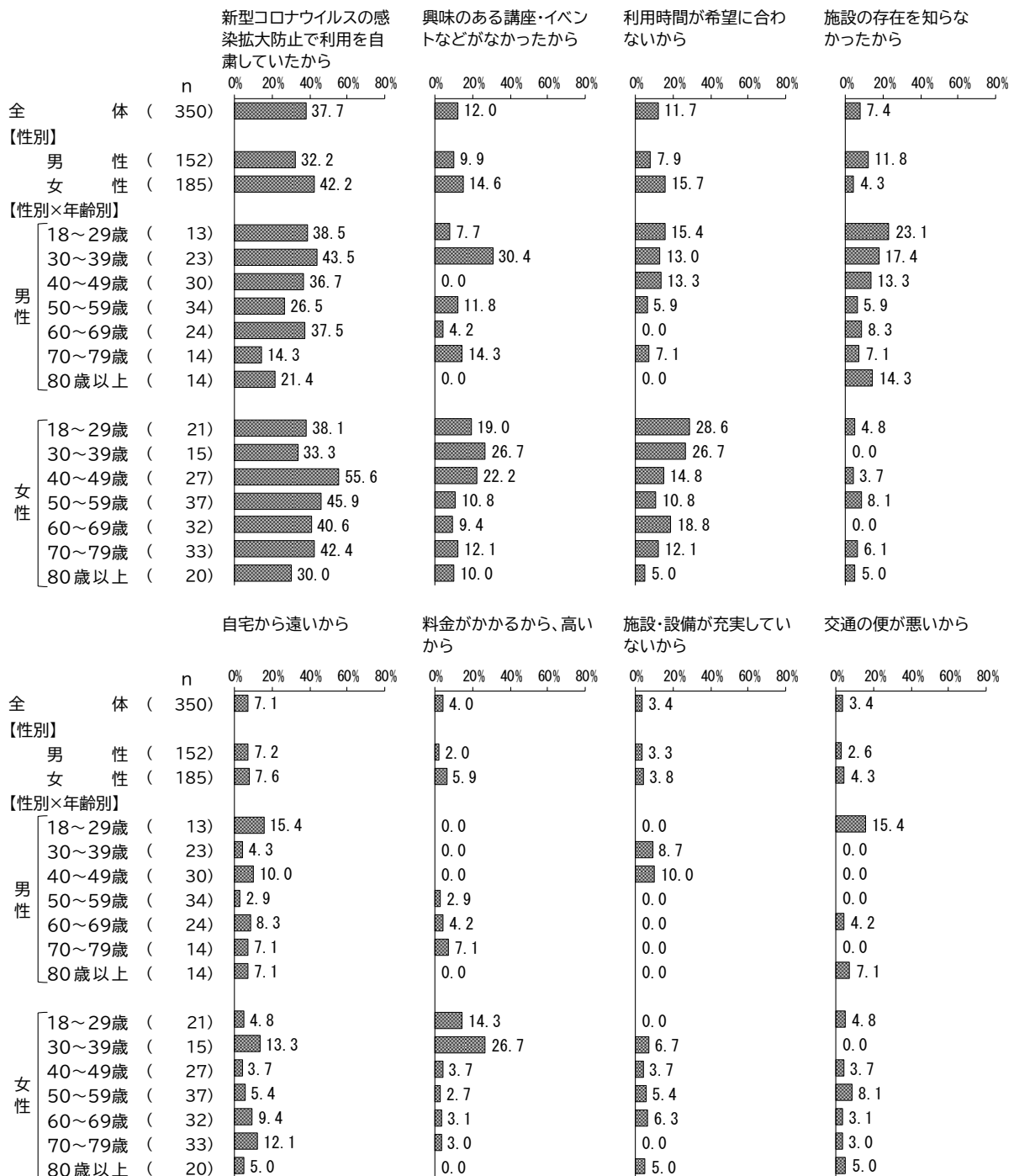


図Ⅲ－11－1 施設を利用しなかった理由

【性別／性別×年齢別】

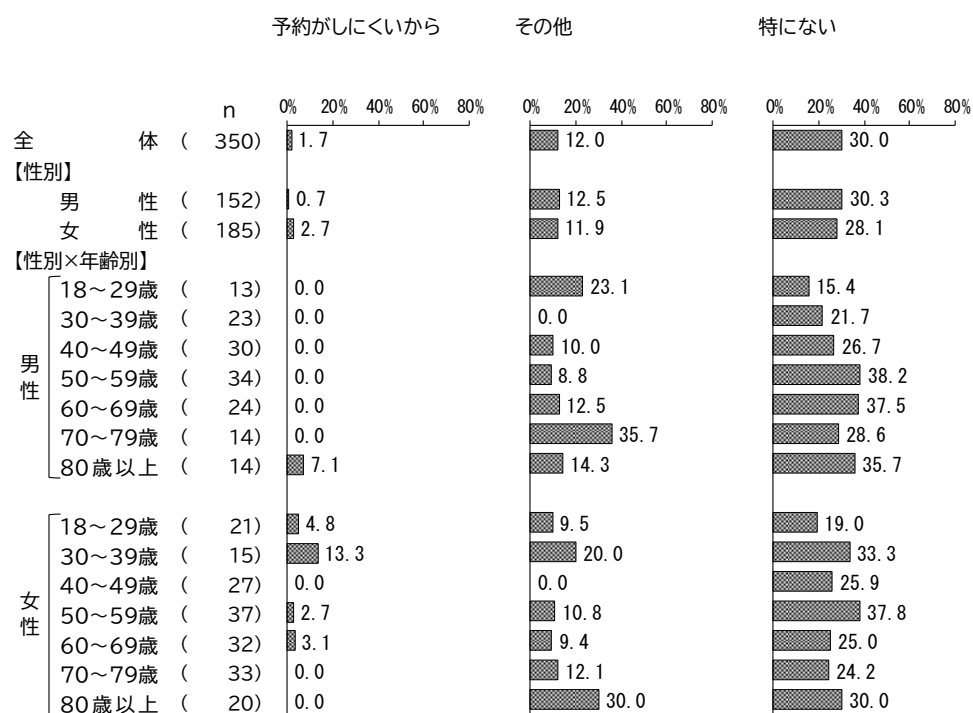
性別にみると、「利用時間が希望に合わないから」は、女性が 15.7%と高く、「施設の利用を知らなかったから」は、男性が 11.8%と高くなっている。

年齢別にみると、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」は、女性 40～49 歳で 55.6%と 5 割を超えて最も高くなっている。「興味のある講座・イベントなどがなかったから」は、男性 30～39 歳で 30.4%、「利用時間が希望に合わないから」は、女性 18～29 歳で 28.6%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－1 1－2 施設を利用しなかった理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



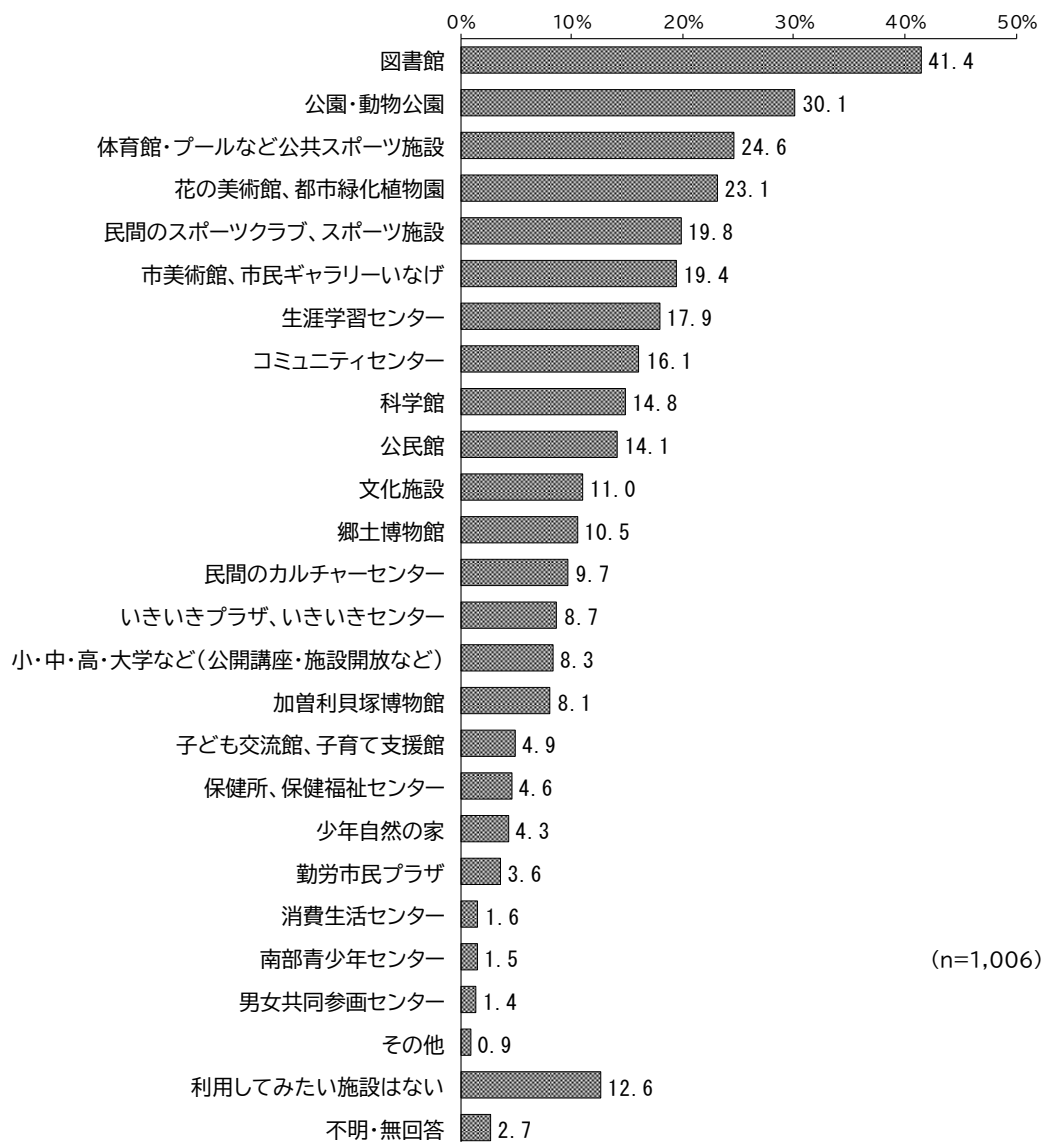
図Ⅲ－11－3 施設を利用しなかった理由（性別／性別×年齢別）

12. 今後利用してみたい施設

全員の方におたずねします。

【問12】あなたが、今後利用してみたい施設はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後利用してみたい施設についてたずねたところ、「図書館」が41.4%で最も高く、次いで「公園・動物公園」(30.1%)、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」(24.6%)、「花の美術館、都市緑化植物園」(23.1%)、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」(19.8%)、「市美術館、市民ギャラリーいなげ」(19.4%)などと続いている。



図Ⅲ－12－1 今後利用してみたい施設

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「花の美術館、都市緑化植物園」は、女性で28.3%と高く、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」は、男性で23.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「図書館」は、女性30～39歳で52.2%と5割を超えており、「公園・動物公園」も、女性30～39歳で49.3%と5割近くと高くなっている。また、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、男性18～29歳、男女ともに30～39歳と40～49歳で31.4～38.8%、「花の美術館、都市緑化植物園」は、女性50～59歳と女性60～69歳でそれぞれ31.7%、38.1%と、いずれも3割を超えて他の年齢層と比べて高くなっている。なお、「公民館」は、女性70～79歳と女性80歳以上でそれぞれ29.6%、28.3%と、どちらも3割近く他の年齢層と比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリー・いなぎ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館	(%)
全 体	1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8	
男 性	423	41.8	28.8	27.9	16.5	23.6	16.1	17.3	15.6	14.7	
18～29歳	43	37.2	20.9	37.2	4.7	27.9	11.6	7.0	4.7	16.3	
30～39歳	51	45.1	27.5	31.4	13.7	17.6	11.8	7.8	9.8	15.7	
40～49歳	68	41.2	38.2	36.8	19.1	25.0	17.6	22.1	20.6	25.0	
50～59歳	80	43.8	27.5	26.3	10.0	26.3	13.8	21.3	15.0	13.8	
60～69歳	75	46.7	28.0	26.7	21.3	28.0	20.0	18.7	17.3	16.0	
70～79歳	64	37.5	32.8	23.4	23.4	21.9	17.2	21.9	20.3	6.3	
80歳以上	41	39.0	22.0	12.2	22.0	12.2	19.5	14.6	17.1	7.3	
女 性	558	41.6	31.7	22.8	28.3	17.4	22.0	18.6	17.0	15.1	
18～29歳	68	48.5	23.5	22.1	29.4	10.3	23.5	16.2	10.3	22.1	
30～39歳	67	52.2	49.3	38.8	22.4	25.4	19.4	10.4	11.9	29.9	
40～49歳	94	39.4	36.2	37.2	27.7	20.2	19.1	18.1	18.1	21.3	
50～59歳	101	46.5	33.7	22.8	31.7	20.8	23.8	24.8	21.8	9.9	
60～69歳	84	41.7	36.9	22.6	38.1	20.2	32.1	26.2	22.6	17.9	
70～79歳	98	35.7	20.4	8.2	26.5	14.3	20.4	16.3	15.3	2.0	
80歳以上	46	21.7	19.6	2.2	15.2	4.3	10.9	13.0	15.2	4.3	

	(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター	(%)
全 体	1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6	
男 性	423	11.1	11.3	13.2	7.1	8.7	9.0	8.0	3.3	2.4	
18～29歳	43	7.0	4.7	7.0	4.7	-	16.3	2.3	2.3	-	
30～39歳	51	2.0	7.8	17.6	2.0	-	3.9	7.8	11.8	2.0	
40～49歳	68	7.4	13.2	17.6	7.4	10.3	11.8	16.2	5.9	5.9	
50～59歳	80	12.5	10.0	13.8	8.8	2.5	16.3	7.5	-	2.5	
60～69歳	75	10.7	18.7	18.7	13.3	9.3	8.0	8.0	1.3	4.0	
70～79歳	64	18.8	9.4	6.3	3.1	21.9	1.6	6.3	1.6	-	
80歳以上	41	19.5	12.2	7.3	7.3	17.1	2.4	4.9	2.4	-	
女 性	558	16.5	11.1	8.6	11.6	9.0	7.9	7.9	6.3	6.3	
18～29歳	68	10.3	8.8	5.9	4.4	-	10.3	4.4	8.8	5.9	
30～39歳	67	9.0	10.4	13.4	10.4	1.5	9.0	7.5	28.4	10.4	
40～49歳	94	7.4	7.4	8.5	11.7	2.1	8.5	8.5	4.3	7.4	
50～59歳	101	12.9	12.9	5.0	22.8	3.0	10.9	6.9	1.0	5.0	
60～69歳	84	20.2	16.7	10.7	8.3	14.3	7.1	8.3	3.6	7.1	
70～79歳	98	29.6	8.2	8.2	11.2	22.4	4.1	5.1	2.0	5.1	
80歳以上	46	28.3	15.2	10.9	6.5	21.7	4.3	19.6	-	2.2	

図Ⅲ－12－2 今後利用してみたい施設（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

	(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない	(%)
全 体	1,006	4.3	3.6	1.6	1.5	1.4	0.9	12.6	
男 性	423	5.0	5.2	1.9	1.4	1.7	1.2	11.8	
18～29歳	43	—	—	2.3	2.3	—	—	11.6	
30～39歳	51	5.9	2.0	—	—	—	3.9	13.7	
40～49歳	68	14.7	7.4	5.9	5.9	2.9	1.5	10.3	
50～59歳	80	6.3	8.8	—	1.3	—	—	13.8	
60～69歳	75	1.3	6.7	4.0	—	2.7	—	13.3	
70～79歳	64	3.1	4.7	—	—	4.7	1.6	9.4	
80歳以上	41	—	2.4	—	—	—	2.4	9.8	
女 性	558	3.9	2.5	1.4	1.6	1.3	0.5	12.9	
18～29歳	68	7.4	—	1.5	1.5	—	—	22.1	
30～39歳	67	9.0	1.5	—	3.0	—	1.5	14.9	
40～49歳	94	6.4	3.2	2.1	—	1.1	—	8.5	
50～59歳	101	5.0	3.0	—	3.0	1.0	1.0	8.9	
60～69歳	84	—	4.8	1.2	2.4	2.4	—	4.8	
70～79歳	98	—	2.0	2.0	—	2.0	1.0	17.3	
80歳以上	46	—	2.2	4.3	2.2	2.2	—	19.6	

図Ⅲ－12－3 今後利用してみたい施設（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「図書館」と「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）」は、学生でそれぞれ54.3%、26.1%と他の職業に比べて高くなっている。「花の美術館、都市緑化植物園」は、専業主婦・主夫で32.2%、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」、「科学館」は、会社員・公務員でそれぞれ32.1%、24.9%、21.1%、「公民館」と「いきいきプラザ、いきいきセンター」は、無職でそれぞれ20.7%、15.9%、「加曽利貝塚博物館」と「郷土博物館」は、自営・自由業とともに17.2%と他の職業に比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリーいなげ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館	(%)
全 体	1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8	
職業別											
会社員・公務員	374	43.3	32.1	32.1	21.7	24.9	19.5	19.5	16.6	21.1	
自営・自由業	58	43.1	27.6	25.9	19.0	15.5	25.9	24.1	15.5	17.2	
パート・アルバイト	146	42.5	26.7	24.0	20.5	20.5	18.5	13.7	14.4	12.3	
学 生	46	54.3	26.1	32.6	17.4	26.1	15.2	15.2	6.5	21.7	
専業主婦・主夫	115	42.6	34.8	20.9	32.2	16.5	20.9	15.7	16.5	11.3	
無 職	246	34.6	27.2	12.6	24.0	12.6	17.9	17.5	17.9	6.1	
そ の 他	18	38.9	38.9	33.3	27.8	22.2	22.2	27.8	22.2	16.7	

	(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター	(%)
全 体	1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6	
職業別											
会社員・公務員	374	11.0	10.4	12.3	10.4	2.7	9.6	7.8	6.7	4.5	
自営・自由業	58	10.3	13.8	17.2	15.5	10.3	5.2	17.2	1.7	10.3	
パート・アルバイト	146	9.6	11.0	10.3	11.0	10.3	7.5	10.3	6.2	4.1	
学 生	46	13.0	13.0	4.3	4.3	-	26.1	-	4.3	4.3	
専業主婦・主夫	115	17.4	11.3	11.3	9.6	14.8	6.1	6.1	6.1	7.0	
無 職	246	20.7	10.2	6.9	7.7	15.9	5.3	7.3	1.6	2.8	
そ の 他	18	22.2	22.2	16.7	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	-	

	(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない	(%)
全 体	1,006	4.3	3.6	1.6	1.5	1.4	0.9	12.6	
職業別									
会社員・公務員	374	6.7	4.5	2.4	2.1	1.3	1.1	13.1	
自営・自由業	58	-	8.6	3.4	-	1.7	1.7	10.3	
パート・アルバイト	146	3.4	2.7	0.7	0.7	-	1.4	13.0	
学 生	46	6.5	-	2.2	2.2	-	-	8.7	
専業主婦・主夫	115	7.0	3.5	0.9	2.6	1.7	-	8.7	
無 職	246	0.4	2.0	0.8	0.4	2.4	0.4	15.0	
そ の 他	18	5.6	5.6	-	5.6	-	5.6	11.1	

図Ⅲ－12－4 今後利用してみたい施設（職業別）

【末子の学齢別】

末子の学齢別にみると、「公園・動物公園」は、末子に未就学児がいる層で46.4%と高く、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、未就学児、高校生、小学生がいる層でそれぞれ46.4%、39.2%、38.8%、「子ども交流館、子育て支援館」は、未就学児がいる層で30.9%、「科学館」は、小学生と未就学児がいる層でそれぞれ28.4%、27.8%、「コミュニティセンター」は、中学生がいる層で27.5%と他の学齢層と比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリーいなげ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館	(%)
全 体	1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8	
末 子 未 就 学 児	97	45.4	46.4	46.4	20.6	25.8	16.5	10.3	19.6	27.8	
小 学 生	67	35.8	31.3	38.8	23.9	19.4	19.4	16.4	10.4	28.4	
中 学 生	40	35.0	20.0	22.5	25.0	20.0	25.0	22.5	27.5	17.5	
高 校 生	51	41.2	27.5	39.2	17.6	23.5	13.7	17.6	17.6	17.6	
子どもはいない	660	43.5	28.6	20.8	23.6	19.1	20.8	20.0	15.9	12.3	

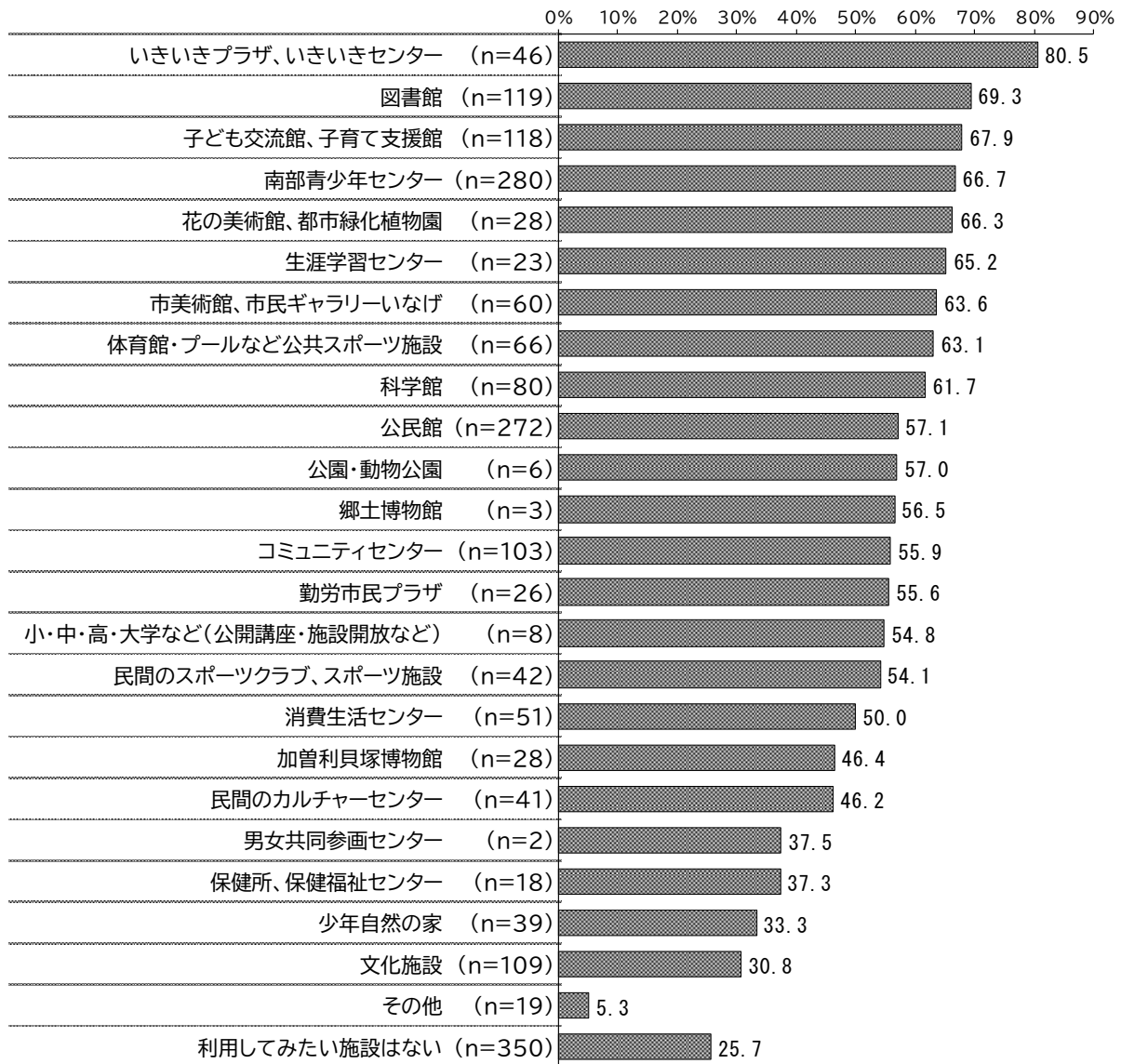
	(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター	(%)
全 体	1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6	
末 子 未 就 学 児	97	12.4	8.2	16.5	6.2	6.2	9.3	9.3	30.9	9.3	
小 学 生	67	9.0	10.4	10.4	7.5	3.0	14.9	13.4	9.0	6.0	
中 学 生	40	10.0	12.5	7.5	5.0	5.0	2.5	12.5	2.5	-	
高 校 生	51	9.8	3.9	7.8	11.8	5.9	9.8	7.8	-	2.0	
子どもはいない	660	14.7	12.7	10.6	10.9	9.8	8.2	7.3	1.7	4.7	

	(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない	(%)
全 体	1,006	4.3	1.5	1.4	1.5	1.4	0.9	12.6	
末 子 未 就 学 児	97	13.4	3.1	1.0	3.1	1.0	1.0	9.3	
小 学 生	67	13.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	13.4	
中 学 生	40	5.0	2.5	-	2.5	-	-	7.5	
高 校 生	51	11.8	2.0	-	2.0	-	-	5.9	
子どもはいない	660	1.8	1.4	1.8	1.4	1.8	0.8	13.5	

図Ⅲ－12－5 今後利用してみたい施設（末子の学齢別）

【直近1年間に利用した施設別】

直近1年間で実際に利用した施設と同じ施設を今後利用してみたいと回答した割合（継続率）をみると、「いきいきプラザ、いきいきセンター」は80.5%と唯一8割を超え、施設の利用継続意向が特に高くなっている。



※n数が10未満の属性は参考に留める

※各n数は、問9での回答者数を表す

図Ⅲ－12－6 今後利用してみたい施設（直近1年間に利用した施設別）

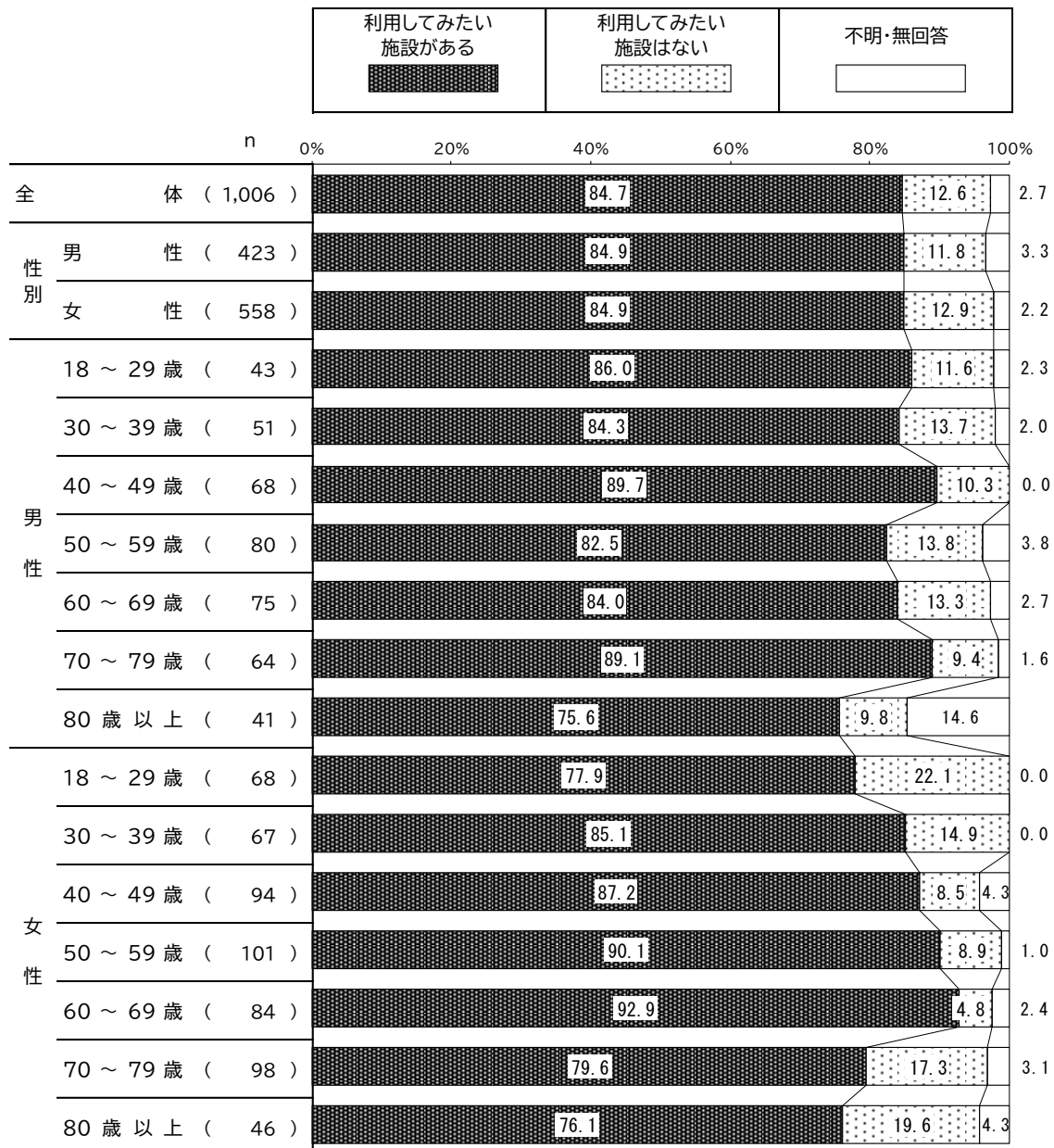
■今後の施設の利用意向有無

今後の施設の利用意向があるか否かの割合をみるため、回答選択肢1～24（P109、調査票参照）の中から1つ以上選んだ方を「利用してみたい施設がある」として、集計を行った。

全体で、今後の施設利用意向がある方の割合をみると、84.7%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「利用してみたい施設がある」は、女性 50～59 歳と女性 60～69 歳でそれぞれ 90.1%、92.9%と 9 割を超えて高くなっている。一方、女性 18～29 歳で「利用してみたい施設はない」が、22.1%と 2 割を超え他の年齢層と比べて高くなっている。



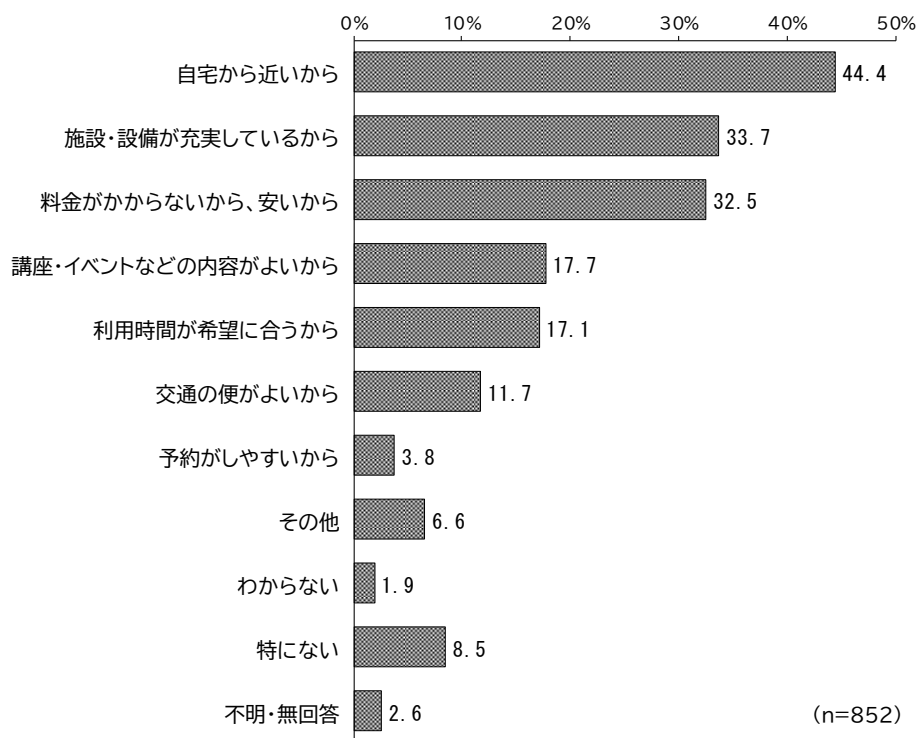
図Ⅲ－12－7 今後の施設の利用意向有無（性別／性別×年齢別）

13. 施設を利用してみたい理由

問12で1～24に○印をつけた方（今後利用してみたい施設がある方）におたずねします。

【問13】その施設を利用してみたい理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後利用してみたい施設がある方にその施設を利用してみたい理由についてたずねたところ、「自宅から近いから」が44.4%で最も高く、次いで「施設・設備が充実しているから」(33.7%)、「料金がかからないから、安いから」(32.5%)、「講座・イベントなどの内容がよいから」(17.7%)、「利用時間が希望に合うから」(17.1%)などと続いている。

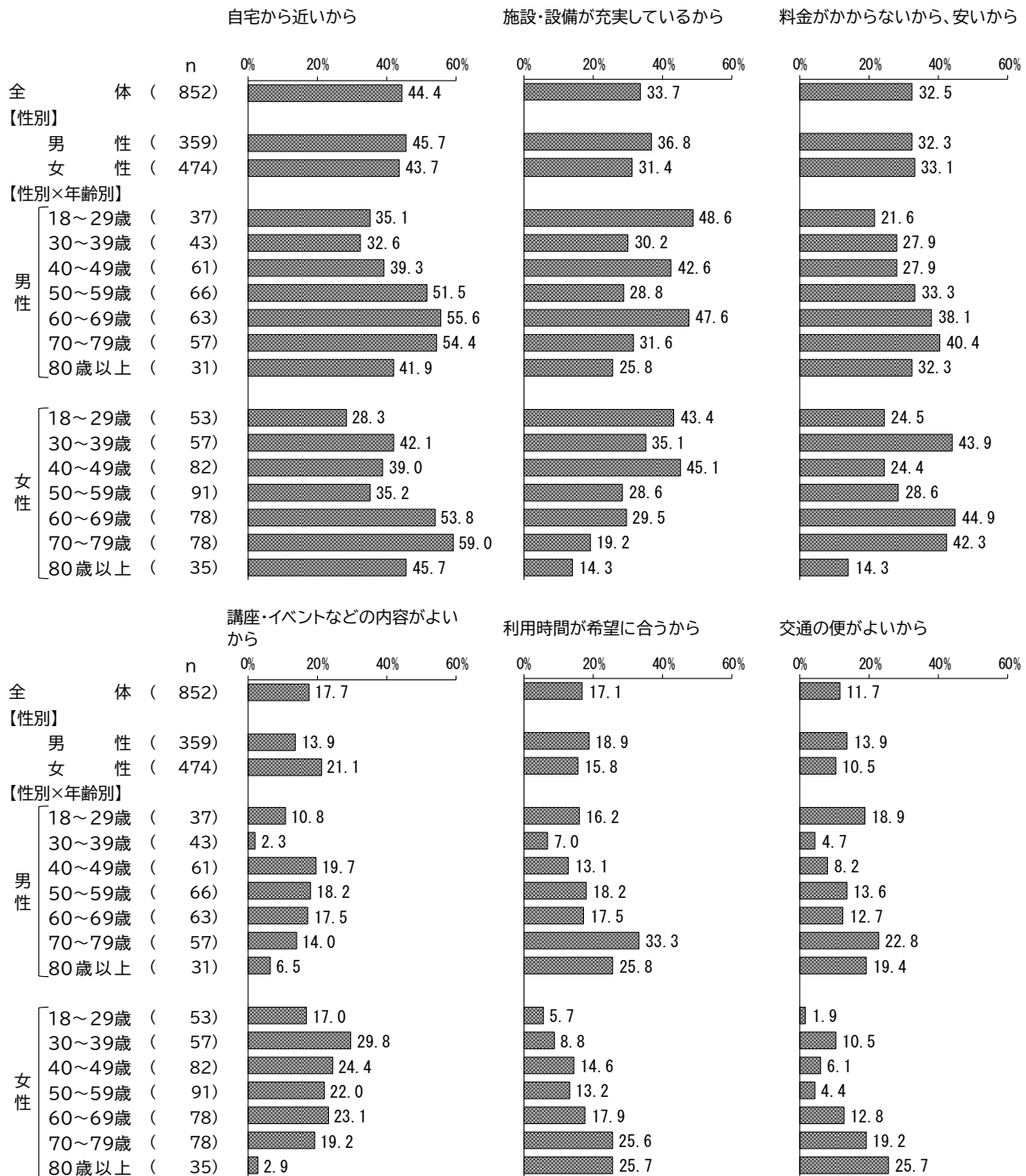


図Ⅲ－13－1 施設を利用してみたい理由

【性別／性別×年齢別】

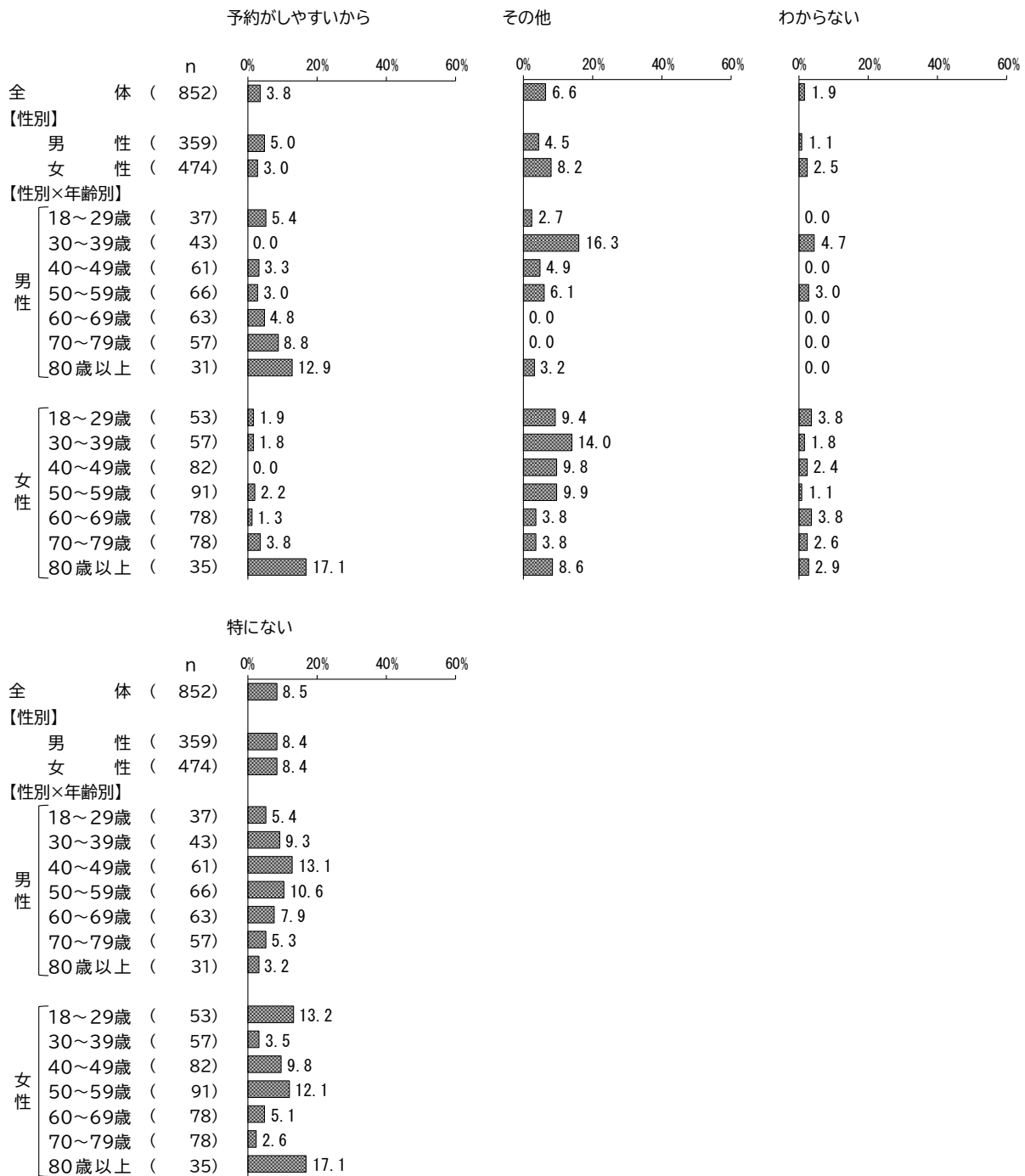
性別にみると、「講座・イベントなどの内容がよいから」は、女性で 21.1%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「自宅から近いから」は、男性 50～59 歳、男女ともに 60～69 歳と 70～79 歳で 51.5～59.0%と 5 割を超えて高く、「施設・設備が充実しているから」は、男女ともに 18～29 歳と 40～49 歳、男性 60～69 歳で 42.6～48.6%、「料金がかからないから、安いから」は、女性 30～39 歳と女性 60～69 歳、男女ともに 70～79 歳で 40.4～44.9%と、どちらも 4 割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－13－2 施設を利用してみたい理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－13－3 施設を利用してみたい理由（性別／性別×年齢別）

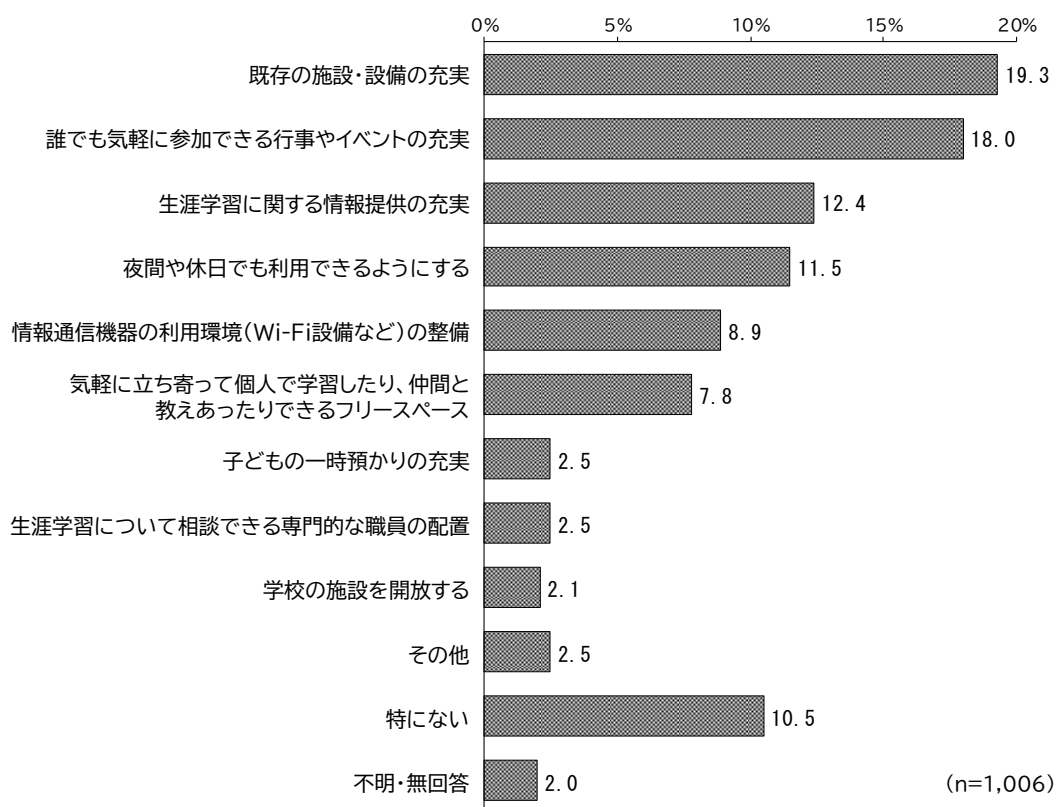
14. 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点

全員の方におたずねします。

【問14】あなたは、千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ〇印をつけてください。

千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかをたずねたところ、「既存の施設・設備の充実」が19.3%で最も高く、次いで「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」(18.0%)、「生涯学習に関する情報提供の充実」(12.4%)、「夜間や休日でも利用できるようにする」(11.5%)、「情報通信機器の利用環境(Wi-Fi設備など)の整備」(8.9%)などと続いている。

一方、「特にない」は、10.5%となっている。

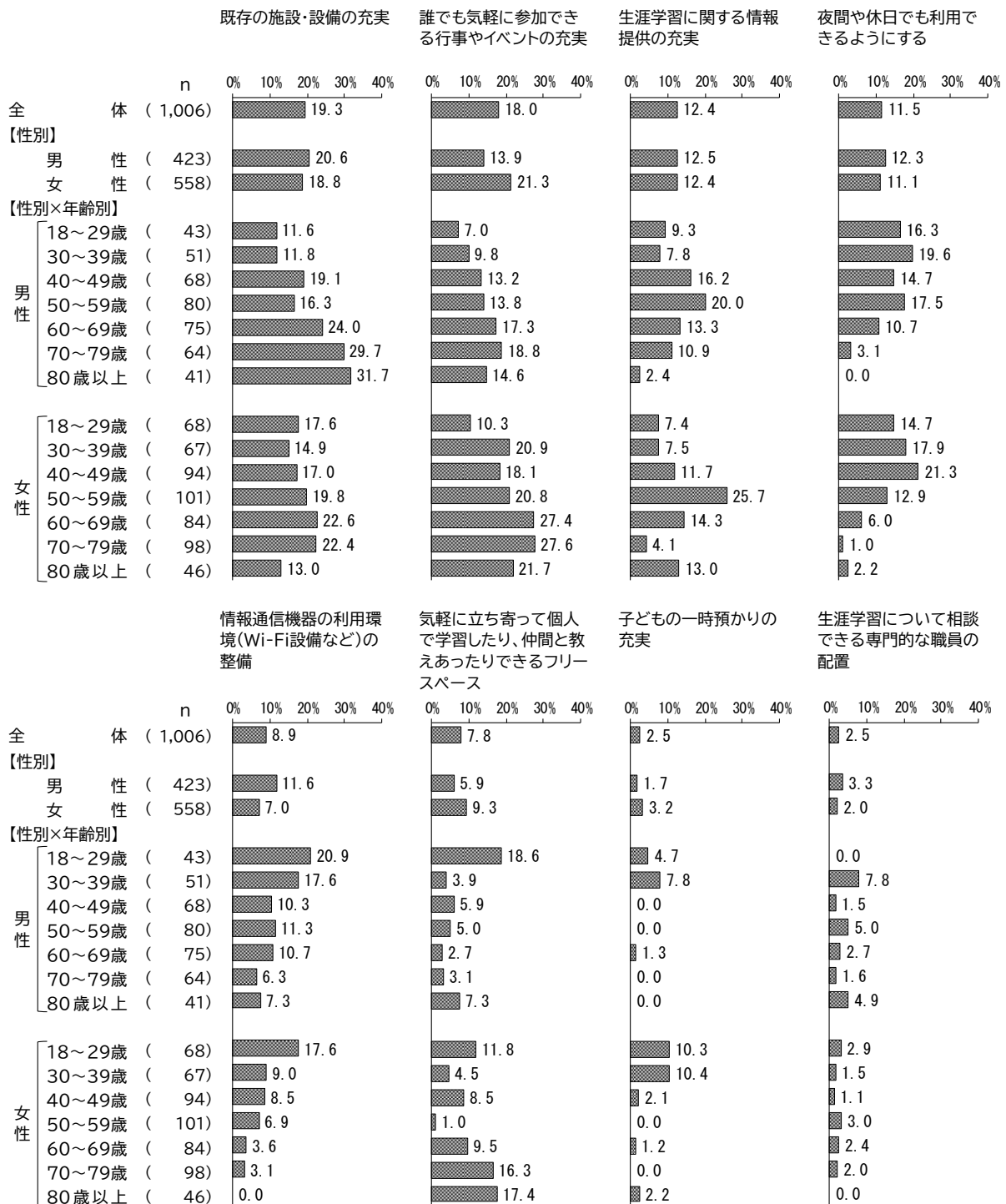


図Ⅲ－14－1 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

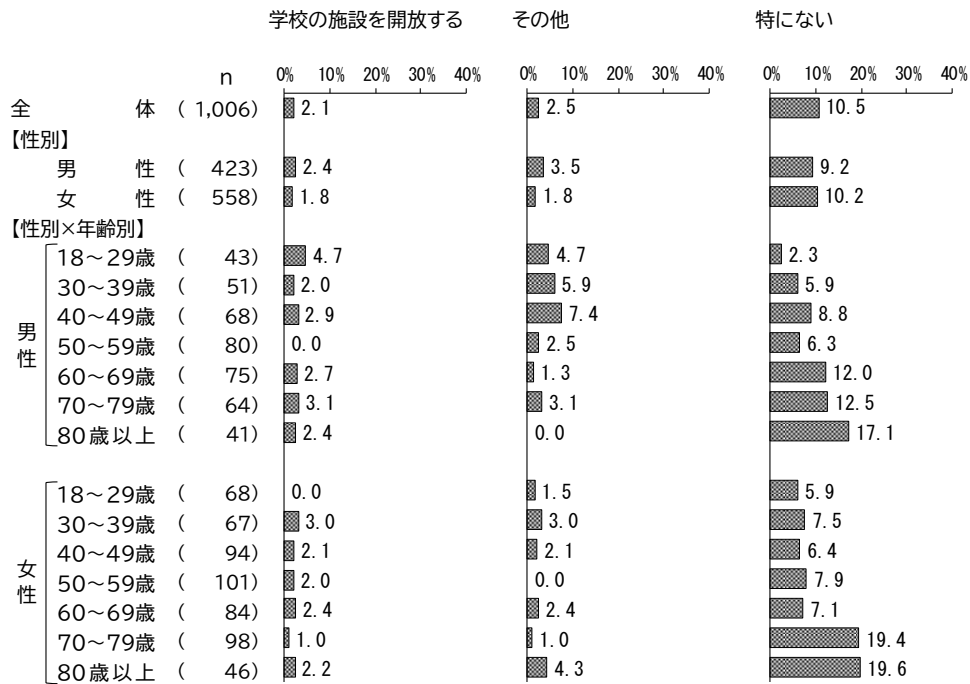
性別にみると、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、女性で 21.3%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「既存の施設・設備の充実」は、男性 70～79 歳と男性 80 歳以上でそれぞれ 29.7%、31.7%と 3 割前後で高く、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、女性 60～69 歳と女性 70～79 歳でそれぞれ 27.4%、27.6%、「生涯学習に関する情報提供の充実」は、女性 50～59 歳で 25.7%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－14－2 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

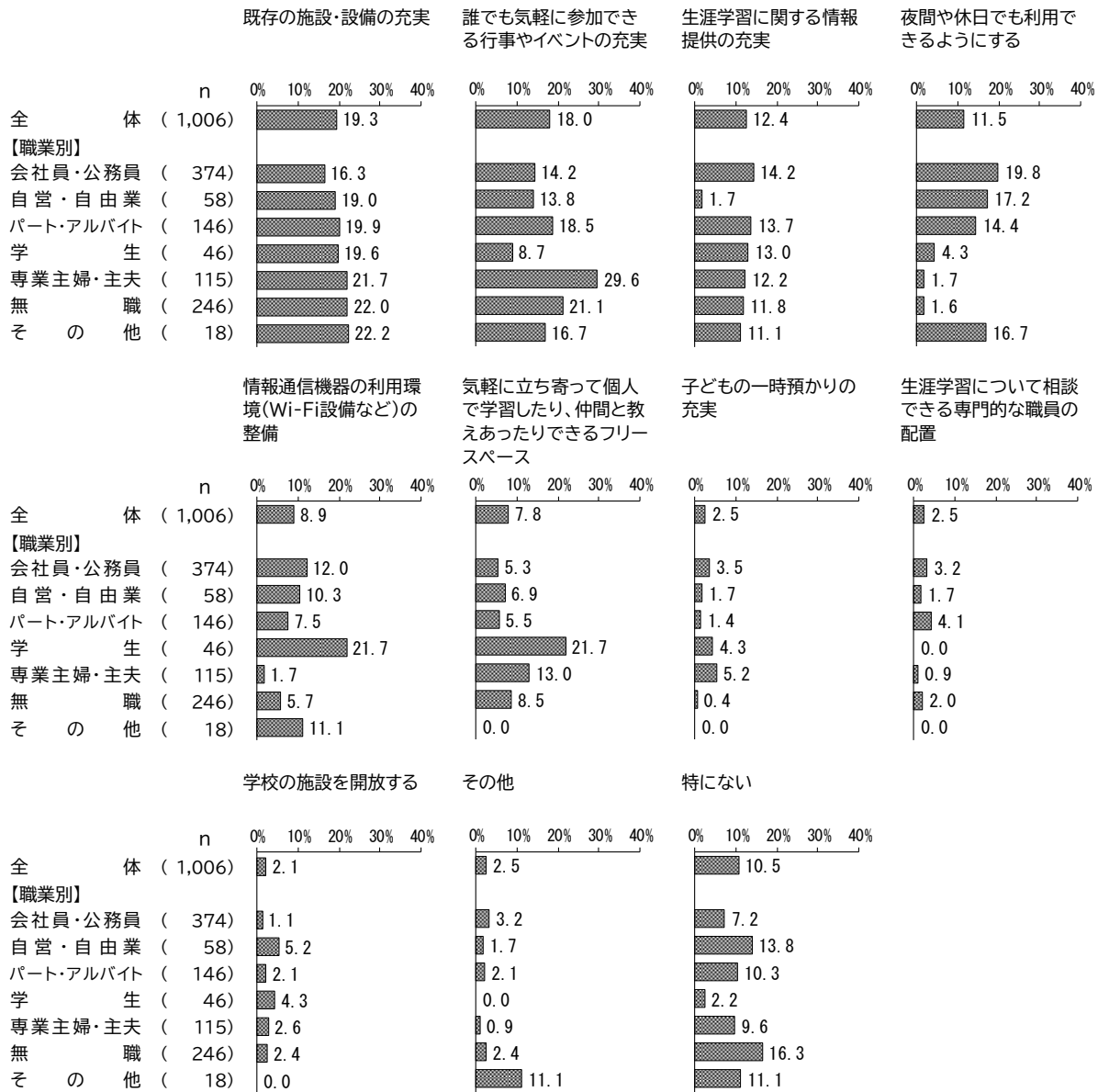
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－14－3 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、専業主婦・主夫で29.6%と高く、「情報通信機器の利用環境（Wi-Fi 設備など）の整備」と「気軽に立ち寄って個人で学習したり、仲間と教えあったりできるフリースペース」は、学生とともに21.7%、「夜間や休日でも利用できるようにする」は、会社員・公務員で19.8%と、他の職業に比べて高くなっている。

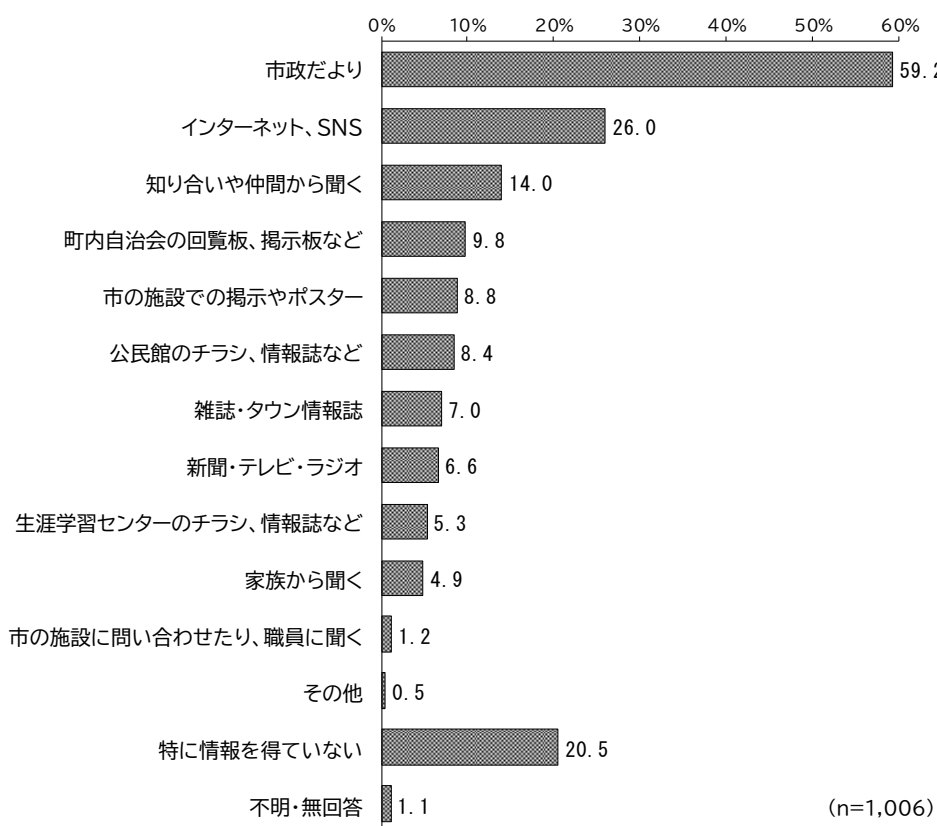


図Ⅲ－14－4 生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（職業別）

15. 生涯学習に関する情報の入手経路

【問15】あなたは、千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れているかについてたずねたところ、「市政だより」が59.2%で突出して高く、次いで「インターネット、SNS」(26.0%)、「知り合いや仲間から聞く」(14.0%)、「町内自治会の回覧板、掲示板など」(9.8%)、「市の施設での掲示やポスター」(8.8%)などと続いている。

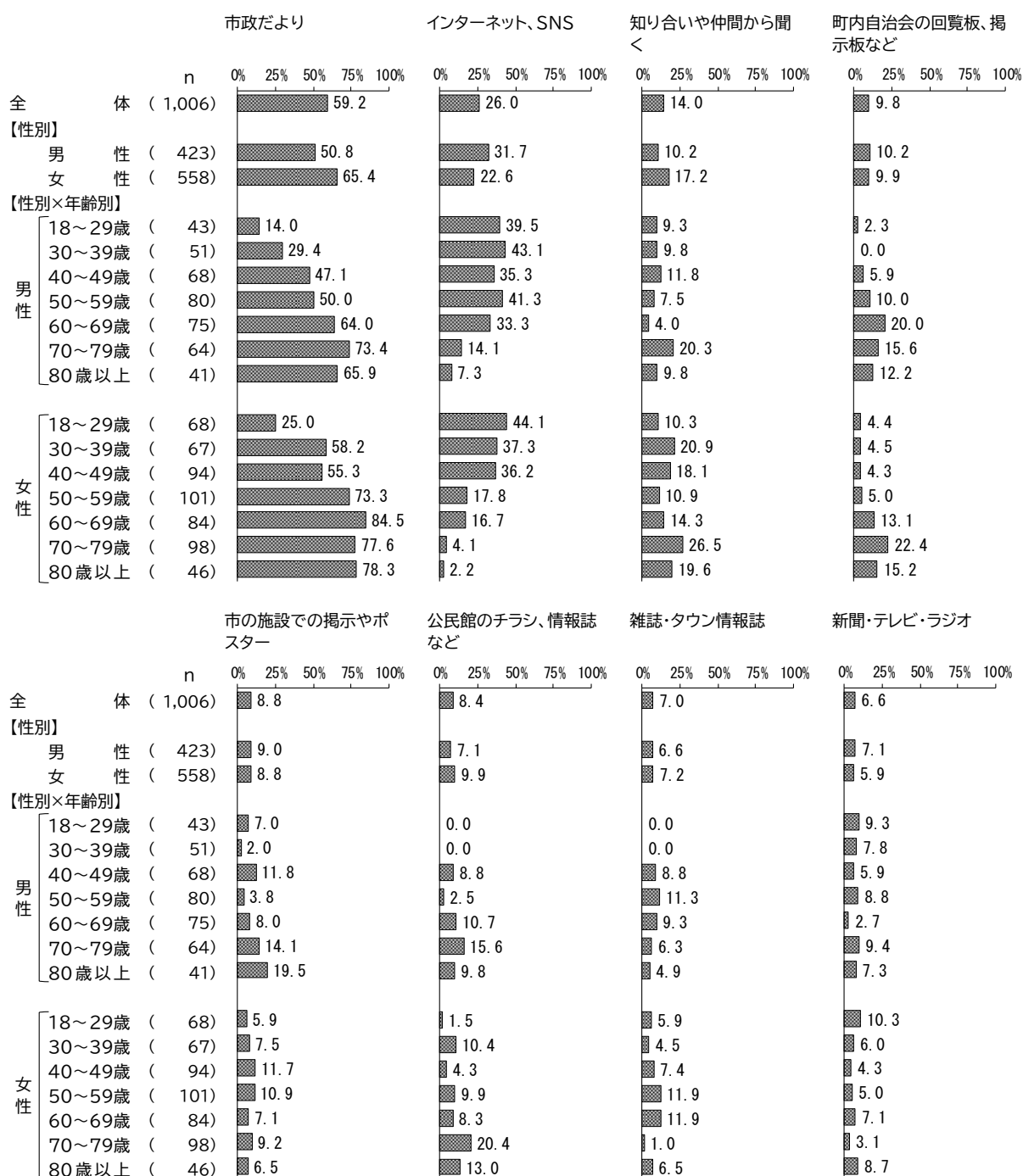


図Ⅲ－15－1 生涯学習に関する情報の入手経路

【性別／性別×年齢別】

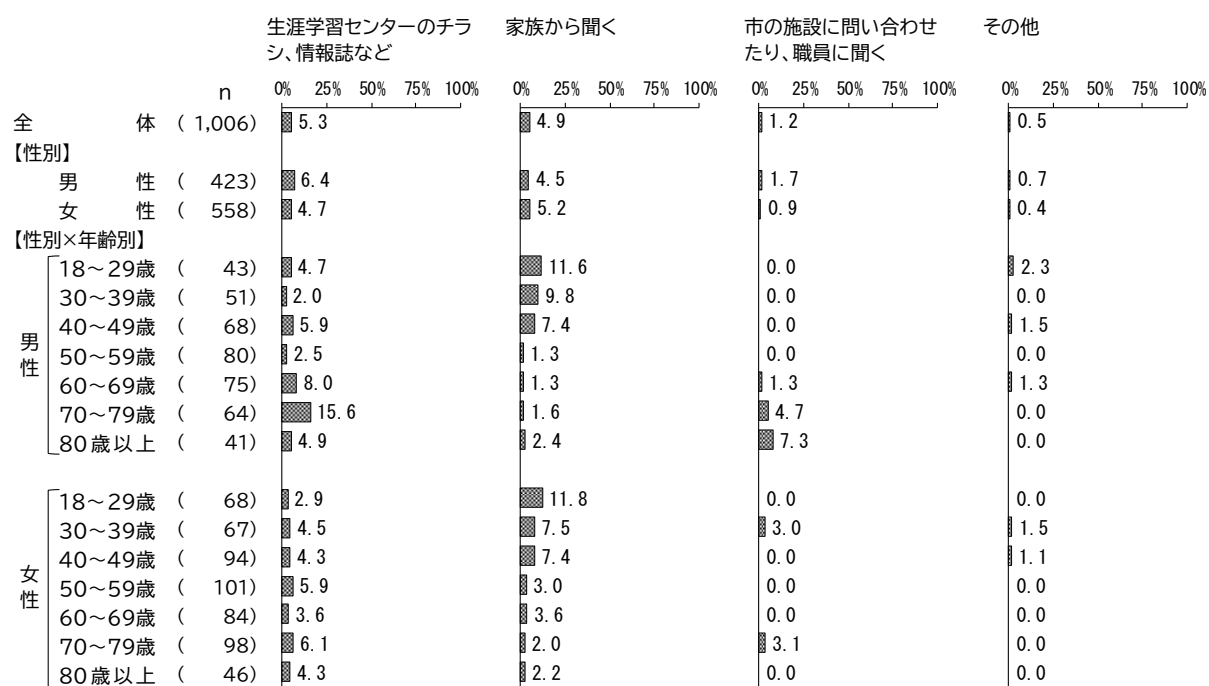
性別にみると、「市政だより」は、女性で65.4%と高く、「インターネット、SNS」は、男性で31.7%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「市政だより」は、男性70～79歳と女性50～59歳の全年齢層で73.3～84.5%と高くなっている。「インターネット、SNS」は、女性18～29歳と男性30～39歳、男性50～59歳で41.3～44.1%と4割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。

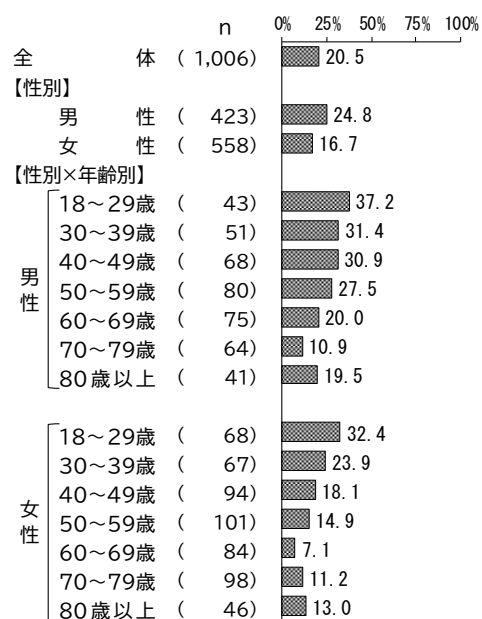


図Ⅲ－15－2 生涯学習に関する情報の入手経路（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



特に情報を得ていない

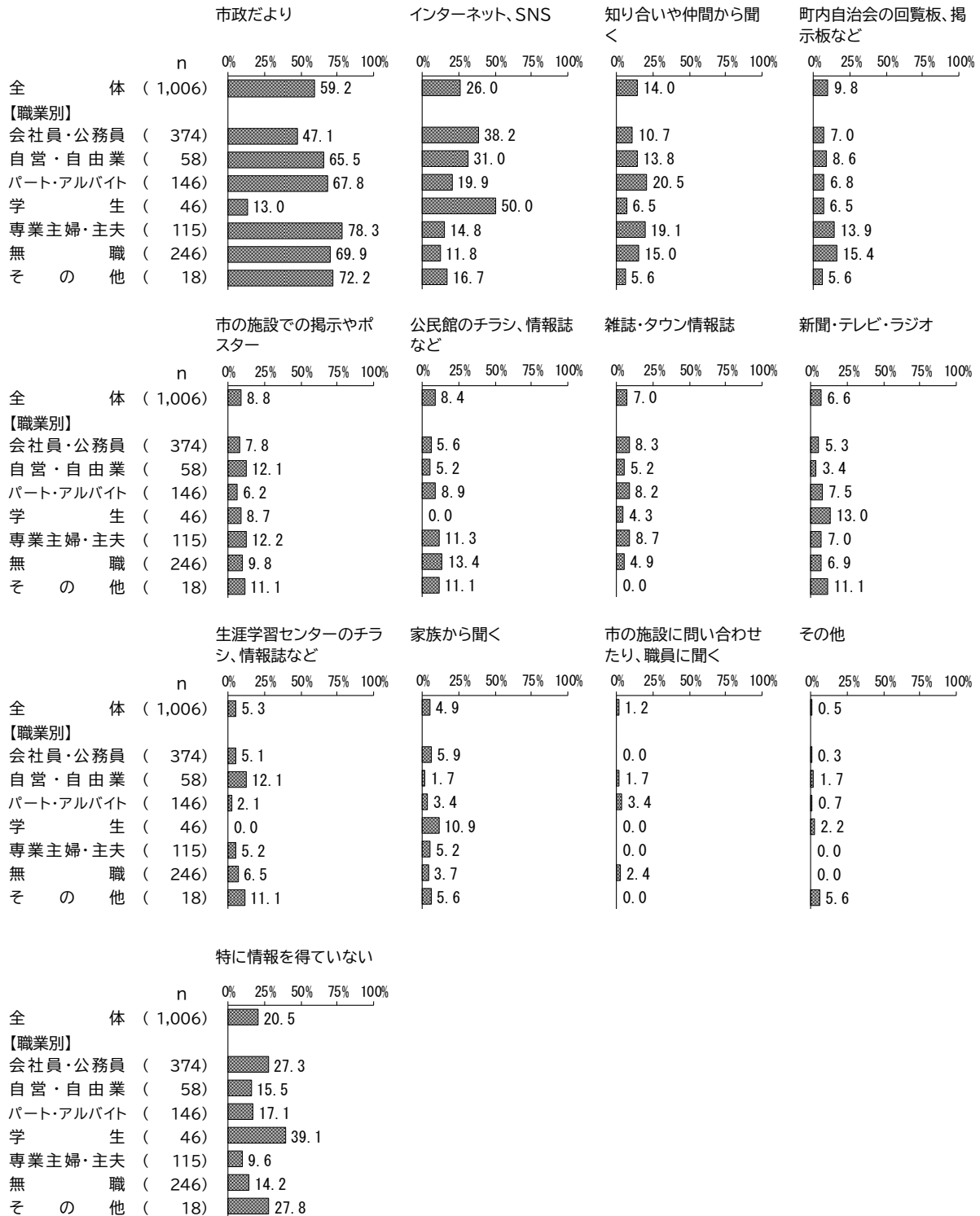


図Ⅲ－15－3 生涯学習に関する情報の入手経路（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「市政だより」は、専業主婦・主夫、その他、無職でそれぞれ78.3%、72.2%、69.9%と高くなっている。「インターネット、SNS」は、学生と会社員・公務員でそれぞれ50.0%、38.2%と他の職業に比べて高くなっている。

なお、「特に情報を得ていない」は学生で39.1%と4割近くを占めている。



図Ⅲ－15－4 生涯学習に関する情報の入手経路（職業別）

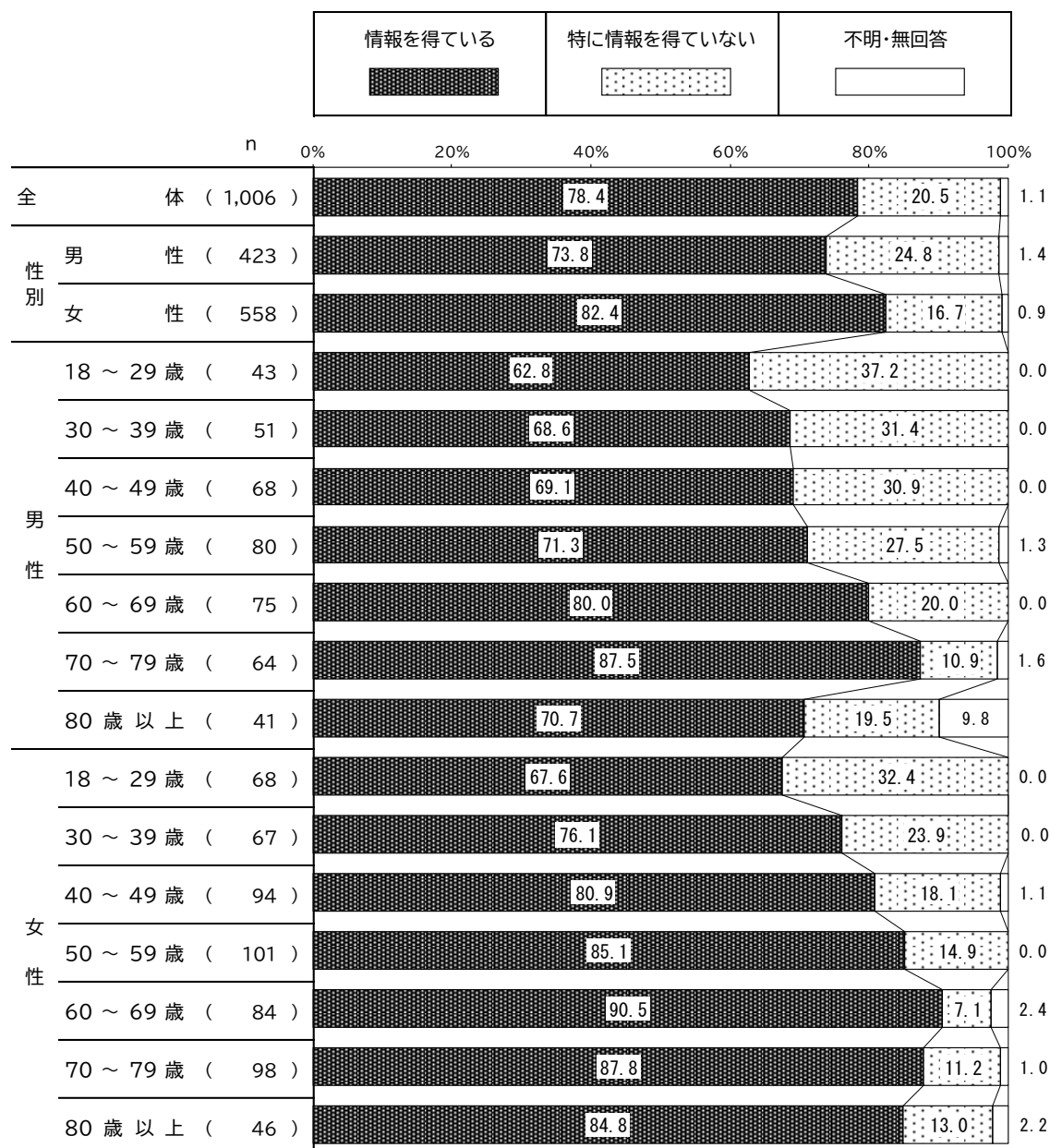
■生涯学習に関する情報の入手有無

生涯学習に関する情報を得ているか否かの割合をみるため、回答選択肢1～12（P110、調査票参照）の中から1つ以上選んだ方を「情報を得ている」として、集計を行った。

全体で、情報を得ている方の割合をみると、78.4%だった。

性別にみると、「情報を得ている」は、女性で82.4%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「情報を得ている」は、女性60～69歳で90.5%と9割を超えて最も高く、また、男女ともに70～79歳では87%台と9割近い。なお、男女ともに18～29歳では「特に情報を得ていない」が、それぞれ37.2%、32.4%と他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－15－5 生涯学習に関する情報の入手有無（性別／性別×年齢別）

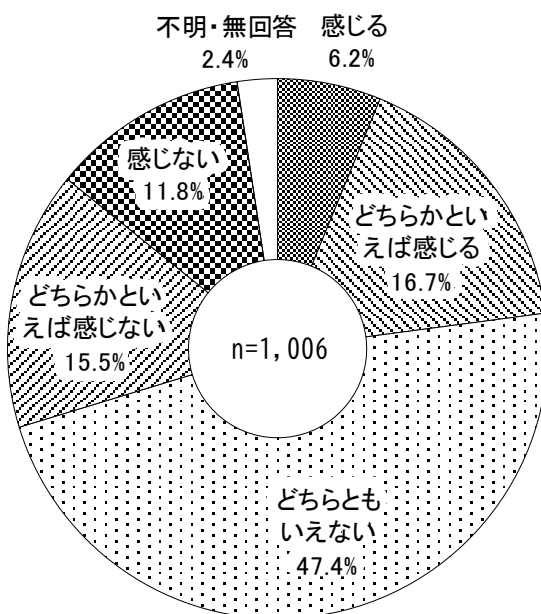
16. 生涯学習活動に関する情報の充実度合い

【問16】あなたは、千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じるかについてたずねたところ、「感じる」(6.2%)と「どちらかといえば感じる」(16.7%)を合わせた『感じる』の割合は、22.9%となっている。

一方、「どちらかといえば感じない」(15.5%)と「感じない」(11.8%)を合わせた『感じない』の割合は、27.3%となっており、『感じる』の割合(22.9%)よりも4.4ポイント高くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、47.4%とほぼ半数を占めている。

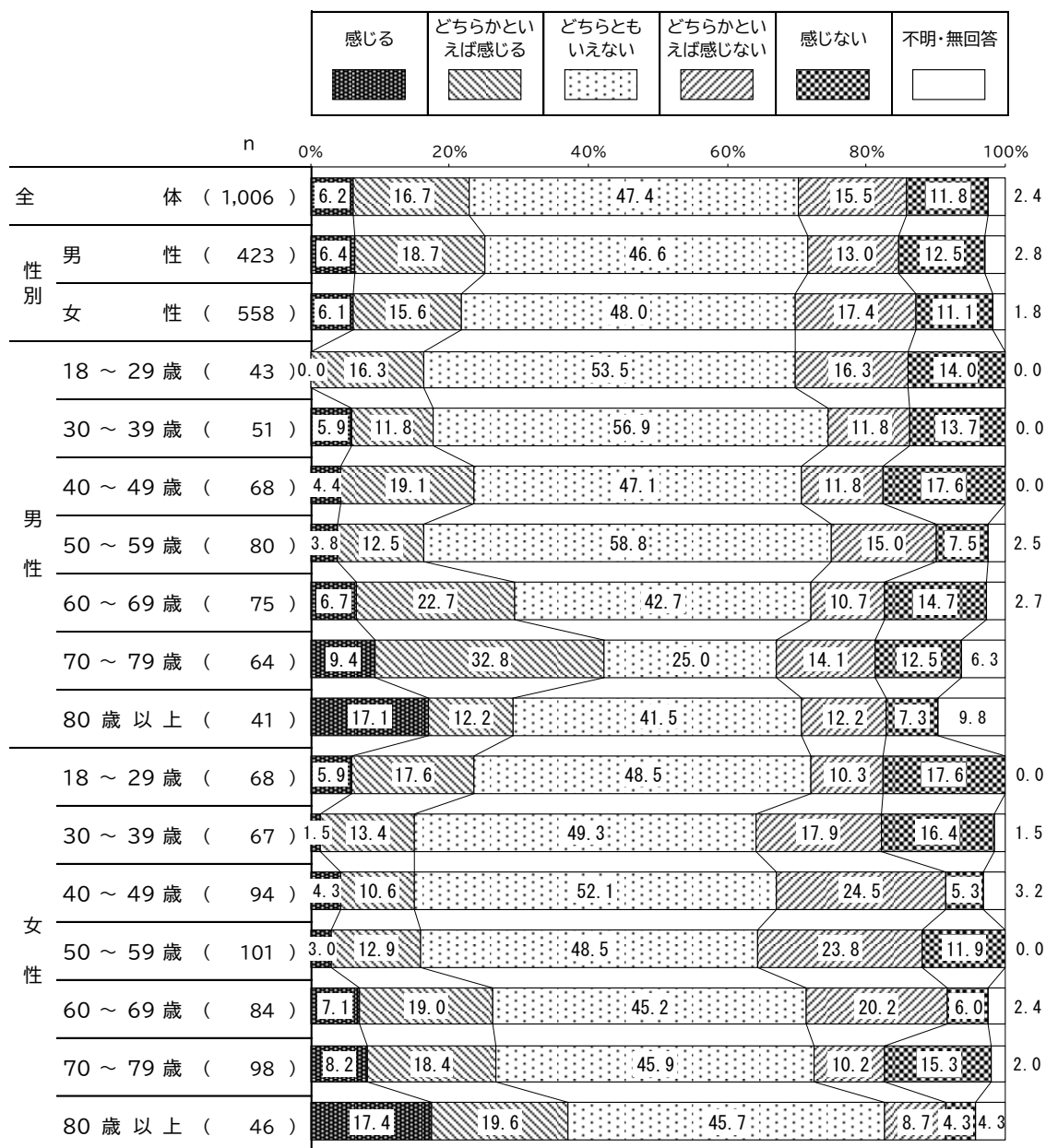


図Ⅲ－16－1 生涯学習活動に関する情報の充実度合い

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、男性（25.1%）が女性（21.7%）より3.4ポイント高くなっている。

性別×年齢別にみると、『感じる』の割合は、性別に関係なく年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、割合が最も低い男性18～29歳（16.3%）と最も高い男性70～79歳（42.2%）には25.9ポイントの差がある。

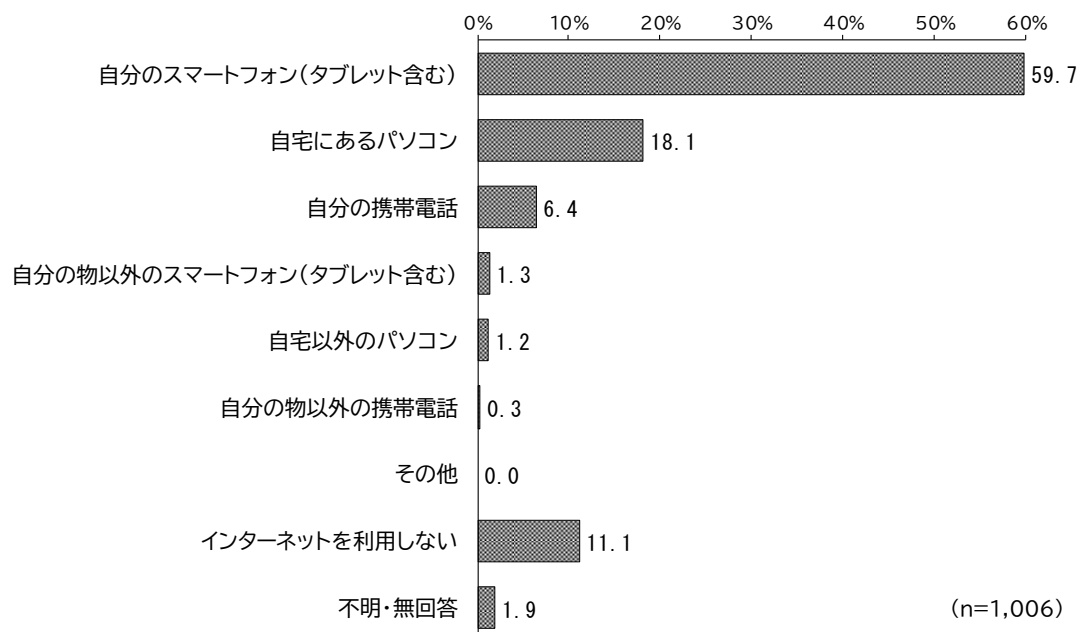


図Ⅲ－16－2 生涯学習活動に関する情報の充実度合い（性別／性別×年齢別）

17. インターネットを利用する際、最も使用している機器

【問17】あなたは、インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用していますか。
あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用しているかについてたずねたところ、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」が 59.7%で突出して高く、次いで「自宅にあるパソコン」（18.1%）、「自分の携帯電話」（6.4%）などと続いている。

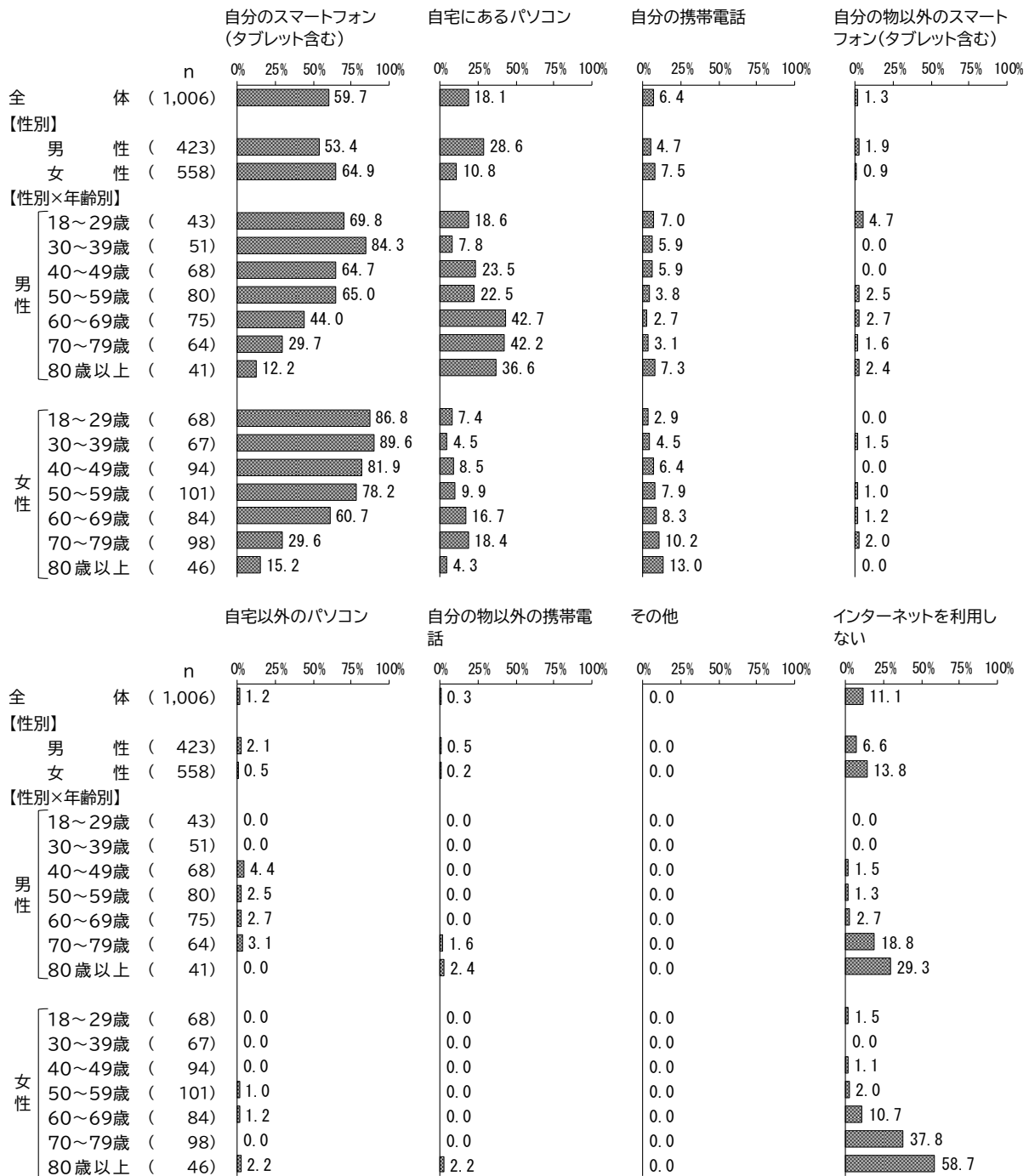


図Ⅲ－17－1 インターネットを利用する際、最も使用している機器

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」は、女性で 64.9%と高く、「自宅にあるパソコン」は、男性で 28.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」は、男性 30～39 歳と女性 18～29 歳から女性 40～49 歳で 81.9～89.6%と 8 割を超えて高く、「自宅にあるパソコン」は、男性 60～69 歳と男性 70～79 歳でそれぞれ 42.7%、42.2%と 4 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－17－2 インターネットを利用する際、最も使用している機器（性別／性別×年齢別）

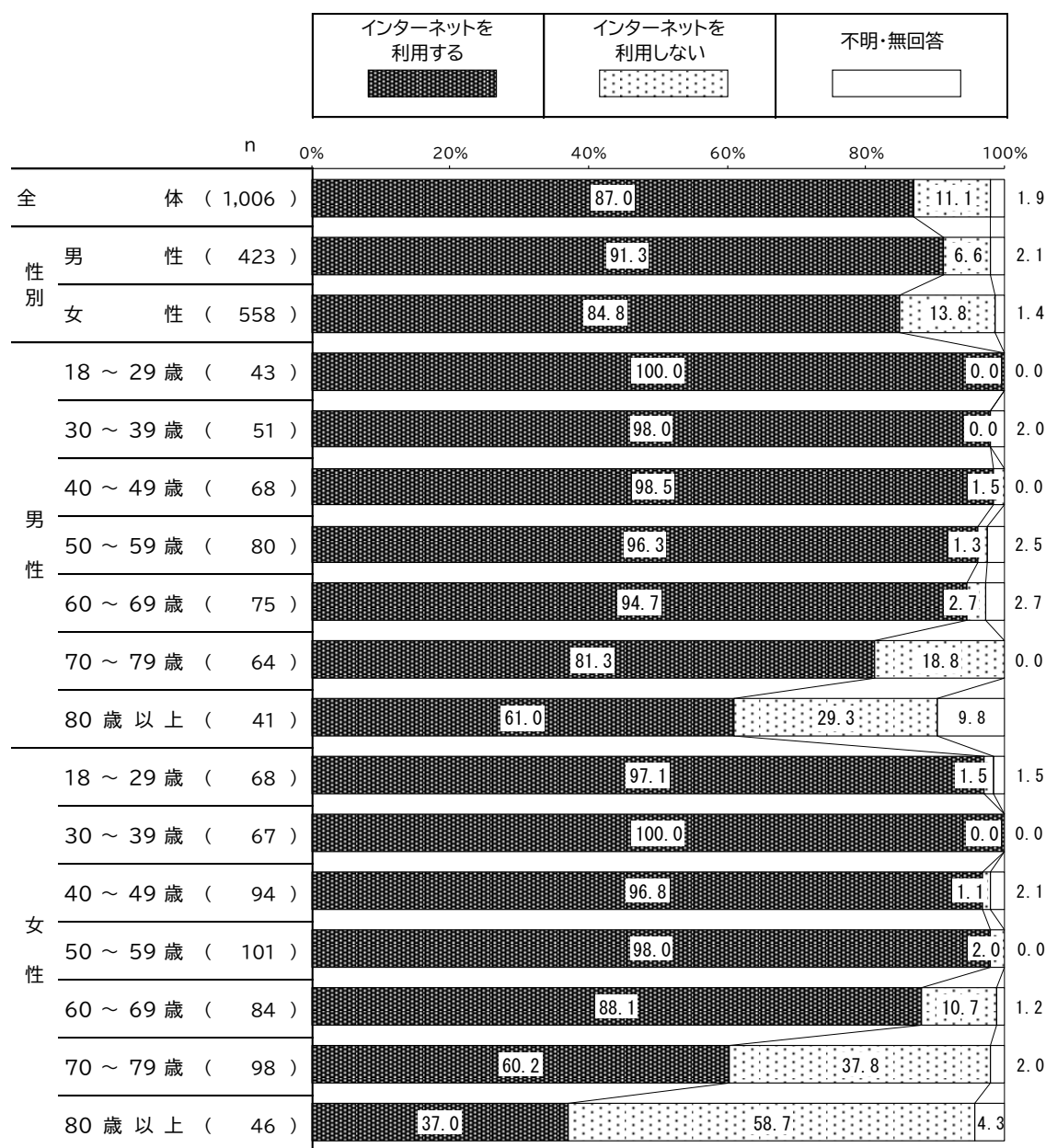
■インターネットの利用有無

インターネットを利用しているか否かの割合をみるため、回答選択肢1～7（P111、調査票参照）の中からいずれか1つ選んだ方を「インターネットを利用する」として、集計を行った。

全体で、インターネットを利用する方の割合をみると、87.0%だった。

性別にみると、「インターネットを利用する」は、男性で91.3%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「インターネットを利用する」は、男女ともに18～29歳から50～59歳までの年齢層で96.3～100.0%とほぼ10割となっている。一方、女性80歳以上でインターネットを利用する」は、37.0%と3割台に留まり、他の年齢層と比べて突出して低くなっている。



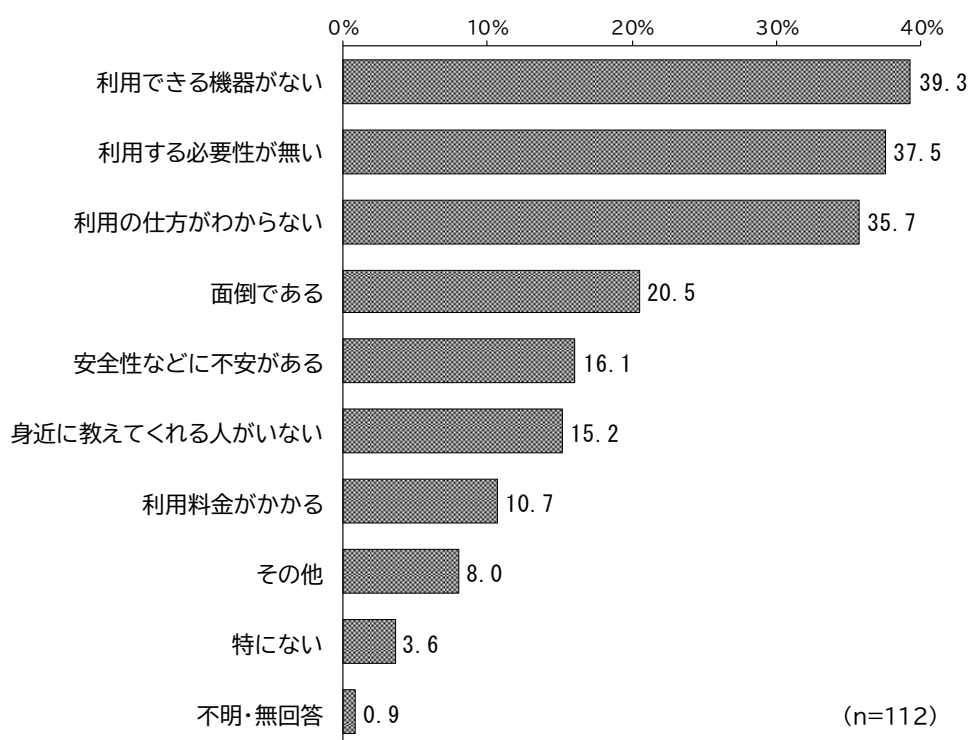
図Ⅲ－17－3 インターネットの利用有無（性別／性別×年齢別）

18. インターネットを利用しない理由

問17で8に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問18】インターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

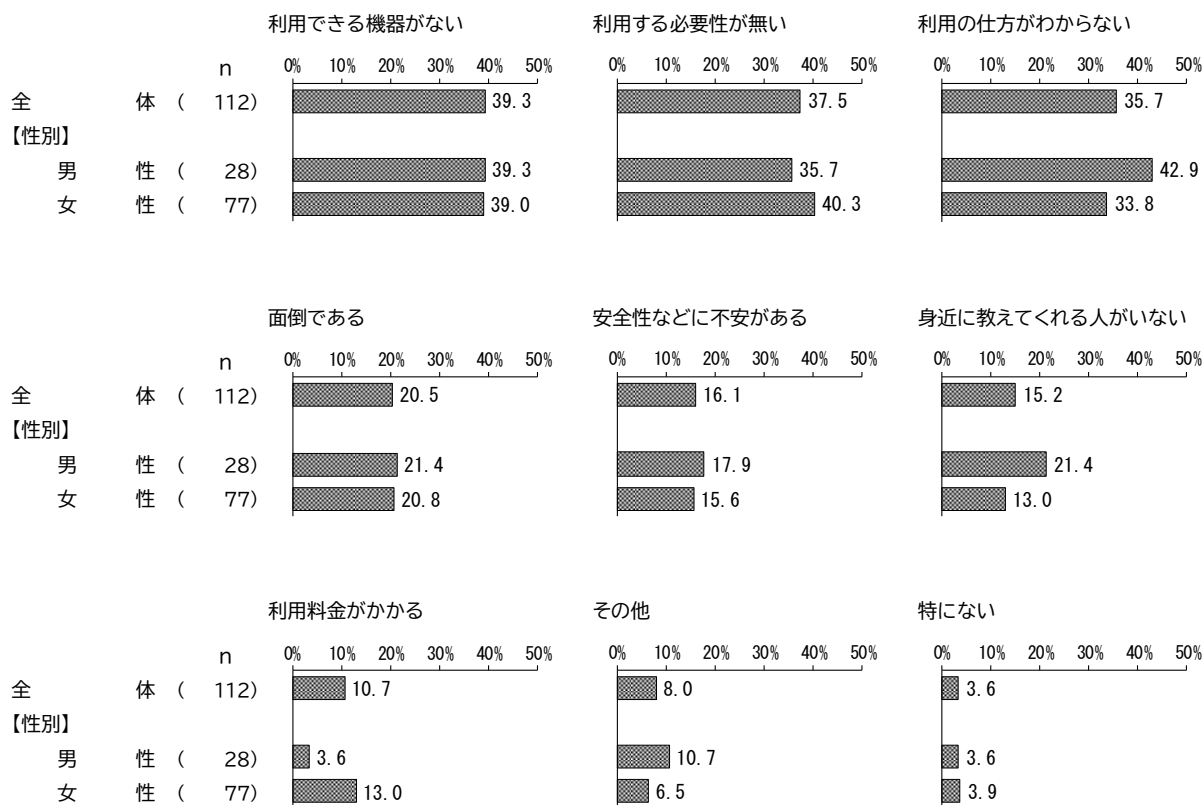
インターネットを利用しない方にその理由についてたずねたところ、「利用できる機器がない」が39.3%で最も高く、次いで「利用する必要性が無い」（37.5%）、「利用の仕方がわからない」（35.7%）、「面倒である」（20.5%）、「安全性などに不安がある」（16.1%）などと続いている。



図Ⅲ－18－1 インターネットを利用しない理由

【性別】

性別にみると、「利用の仕方がわからない」と「身近に教えてくれる人がいない」は、男性がそれぞれ42.9%、21.4%と高く、「利用する必要が無い」と「利用料金がかかる」は、女性がそれぞれ40.3%、13.0%と高くなっている。



図Ⅲ－18－2 インターネットを利用しない理由（性別）

19. 今後のインターネット利用意向

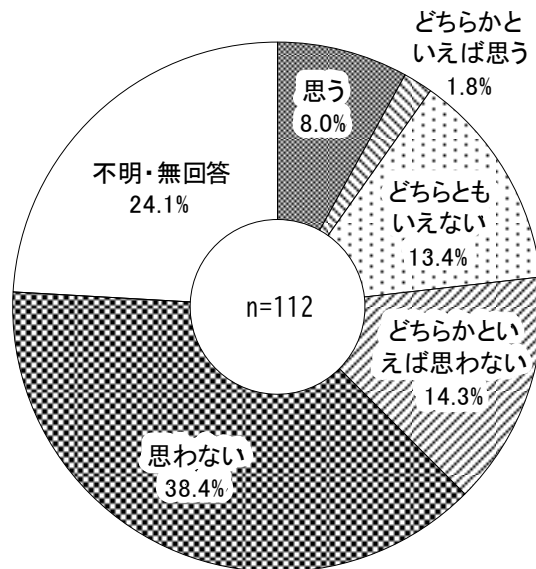
引き続き、問17で8に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問19】あなたは、インターネットを利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

インターネットを利用しない方に今後インターネットを利用したいと思うかについてたずねたところ、「思う」（8.0%）と「どちらかといえば思う」（1.8%）を合わせた『思う』の割合は、9.8%となっている。

一方、「どちらかといえば思わない」（14.3%）と「思わない」（38.4%）を合わせた『思わない』の割合は、52.7%と半数を超えており、『感じる』の割合（9.8%）よりも42.9ポイント高くなっている。

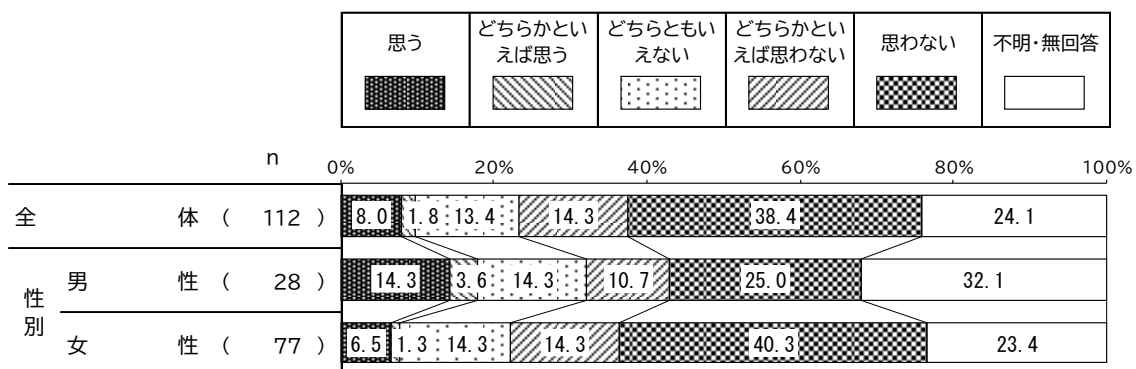
なお、「どちらともいえない」の割合は、13.4%となっている。



図Ⅲ－19－1 今後のインターネット利用意向

【性別】

性別で比較すると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』の割合は、男性（17.9%）が女性（7.8%）より 10.1 ポイント高く、一方、「思わない」と「どちらかといえば思わない」を合わせた『思わない』の割合は、女性（54.6%）が男性（35.7%）より 18.9 ポイント高くなっている。



図Ⅲ－１９－２ 今後のインターネット利用意向（性別）

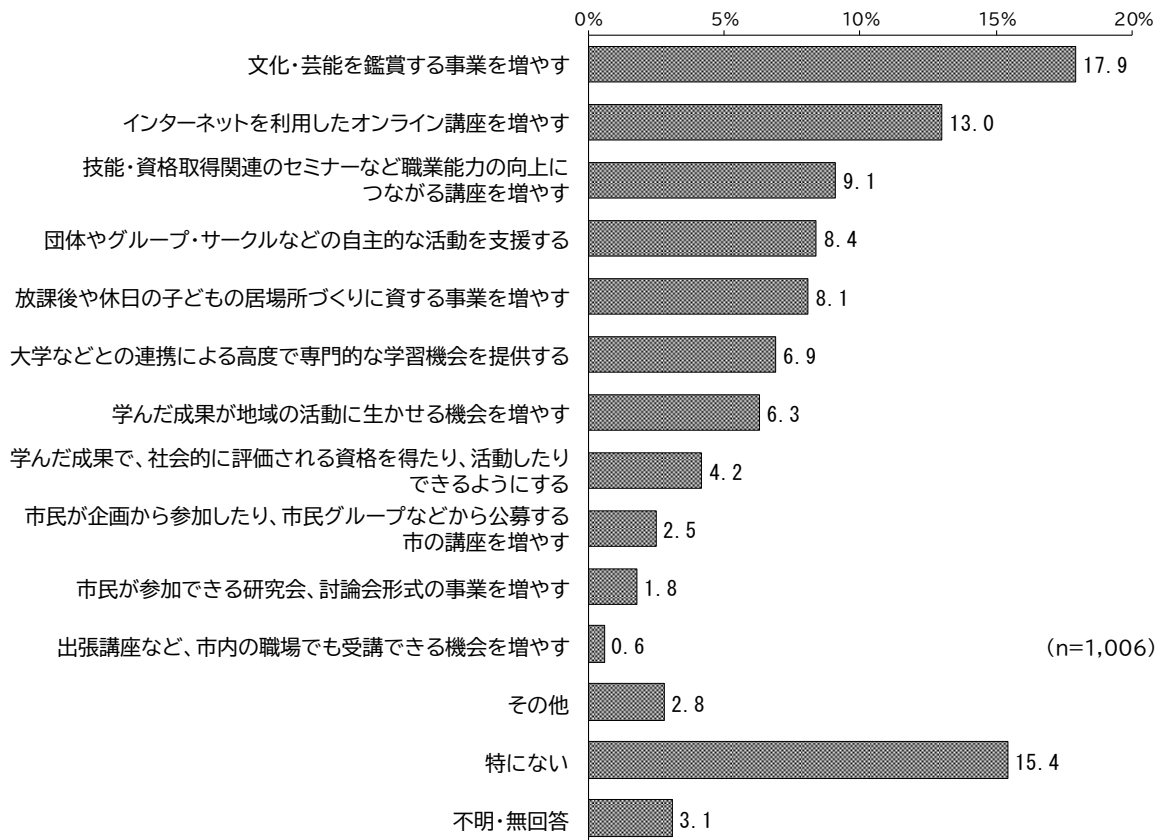
20. 生涯学習事業について、市が力を入れる点

全員の方におたずねします。

【問20】あなたは、千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ〇印をつけてください。

千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかについてたずねたところ、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」が17.9%で最も高く、次いで「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」(13.0%)、「技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす」(9.1%)、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」(8.4%)、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」(8.1%)などと続いている。

なお、「特にない」の割合は、15.4%となっている。

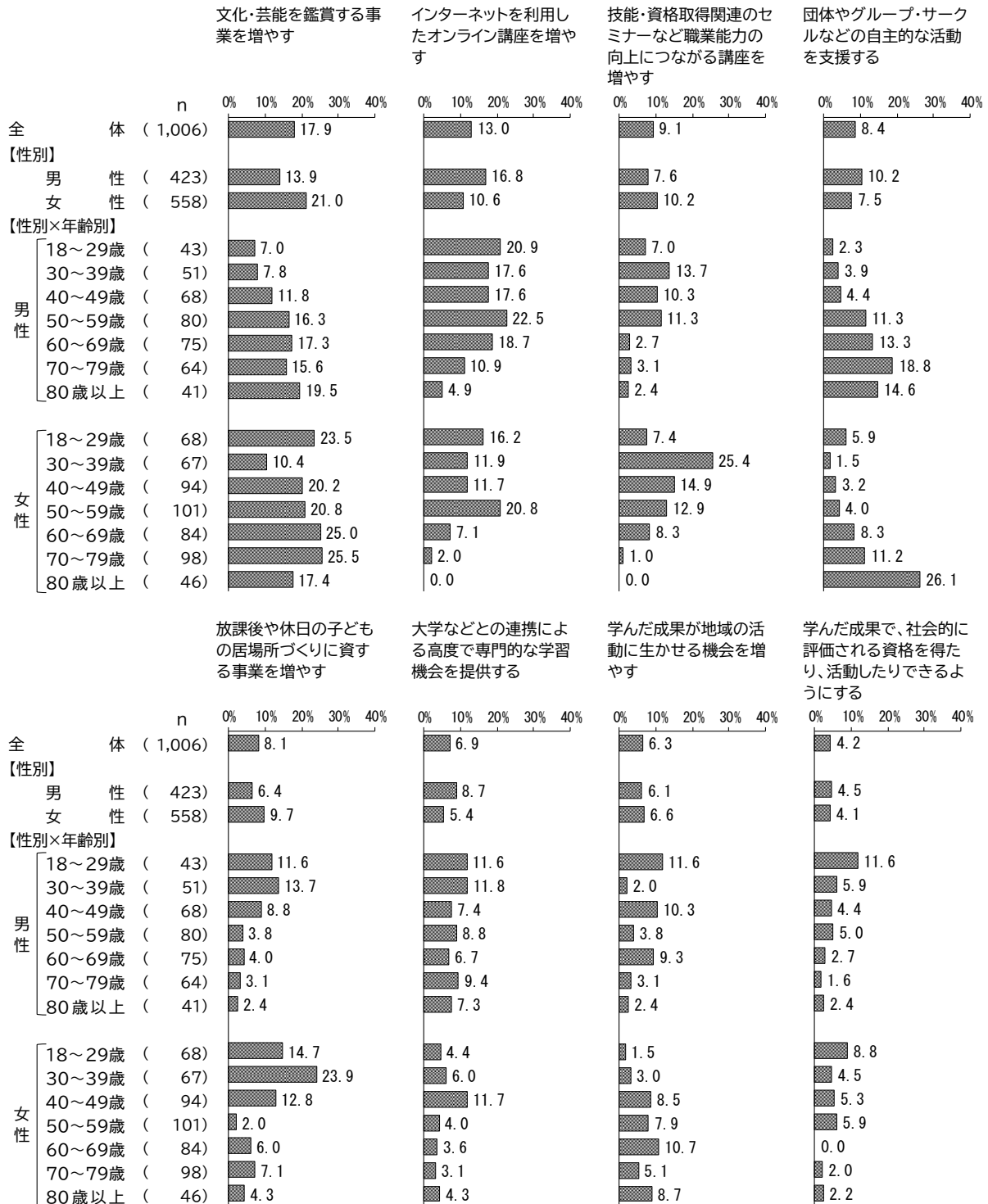


図Ⅲ－20－1 生涯学習事業について、市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

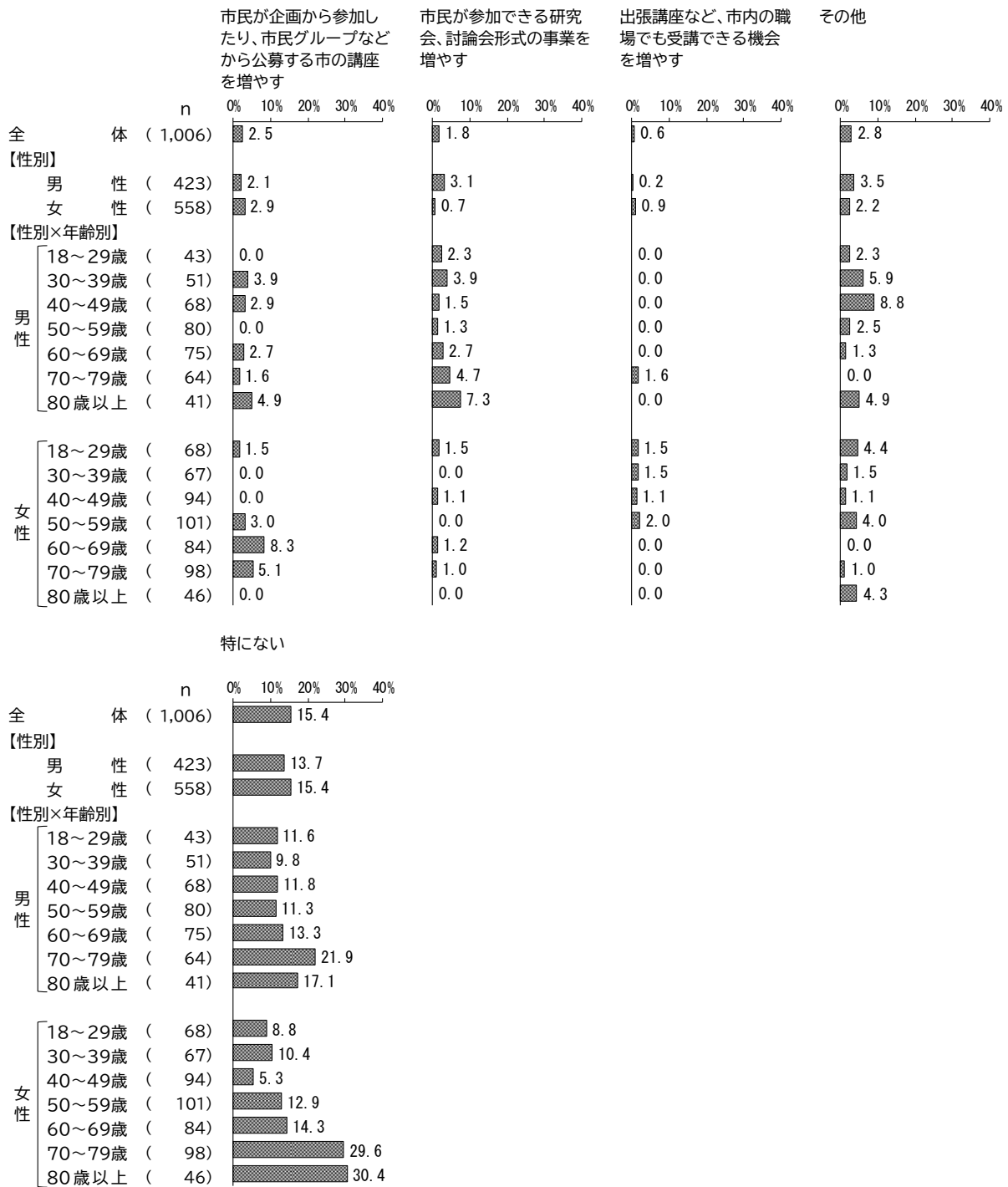
性別にみると、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、女性で 21.0%と高く、「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」は、男性で 16.8%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」は、女性 80 歳以上で 26.1%、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、女性 60～69 歳と女性 70～79 歳でそれぞれ 25.0%、25.5%、「技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす」は、女性 30～39 歳で 25.4%、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」も、女性 30～39 歳で 23.9%と他の年齢層に比べて高くなっている。



図Ⅲ－20－2 生涯学習事業について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

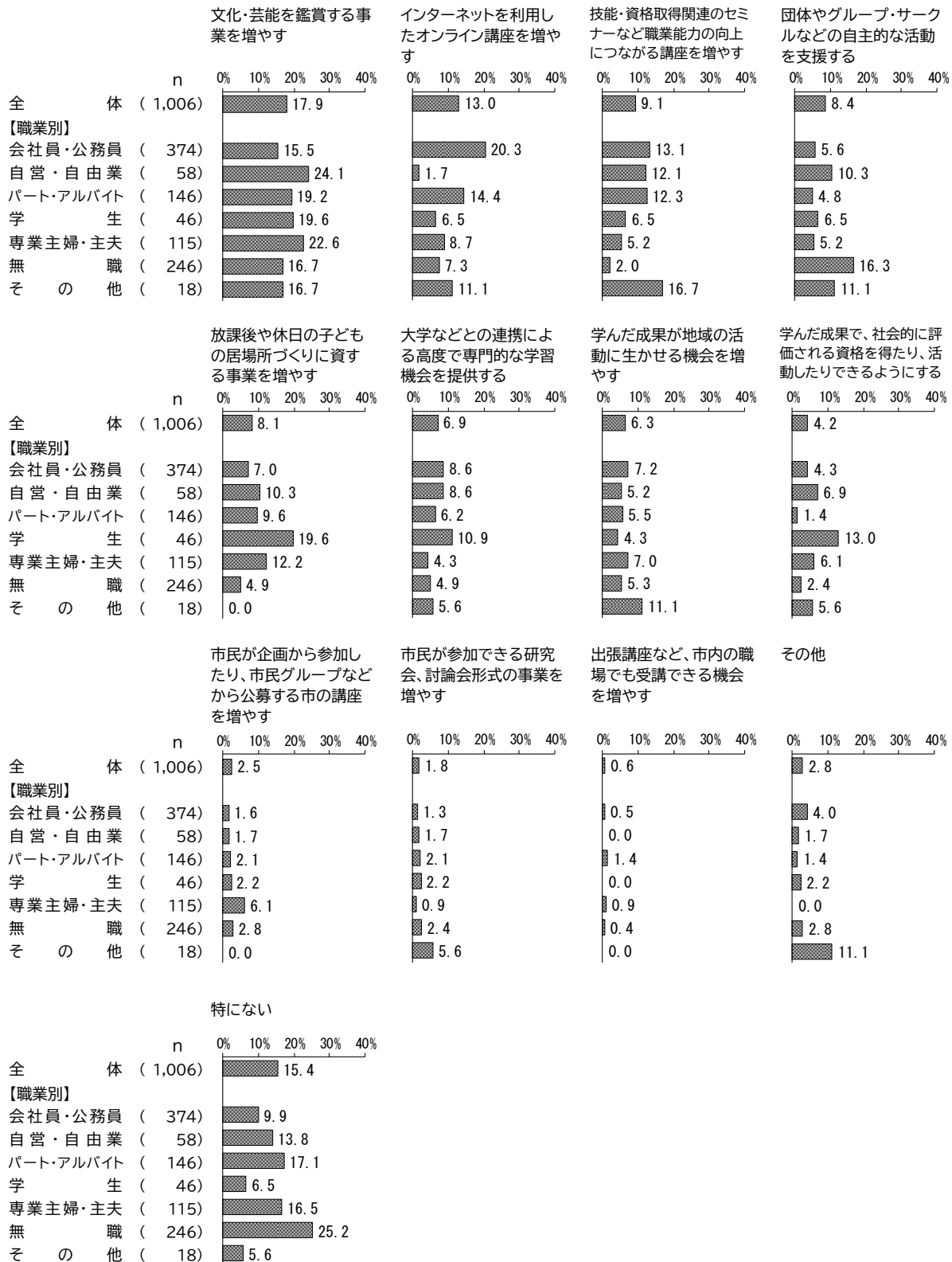
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－20－3 生涯学習事業について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、自営・自由業で24.1%、「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」は、会社員・公務員で20.3%、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」と「学んだ成果で、社会的に評価される資格を得たり、活動したりできるようにする」は、学生でそれぞれ19.6%、13.0%、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」は、無職で16.3%と他の職業に比べて高くなっている。



図Ⅲ－20－4 生涯学習事業について、市が力を入れる点（職業別）

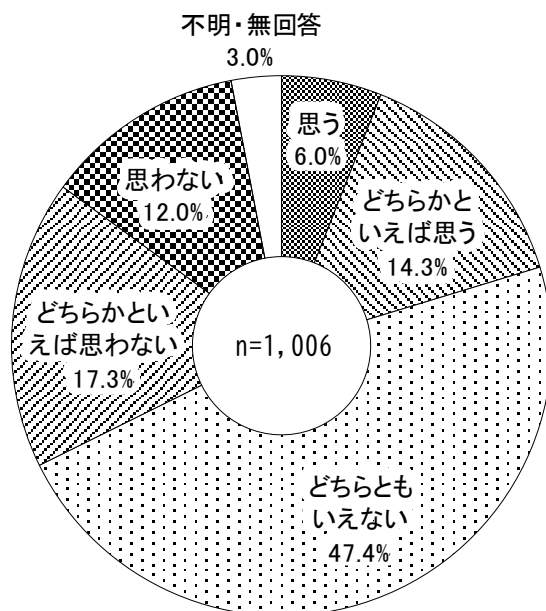
21. 地域課題の解決などへの取組状況

【問21】千葉市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に事業を行っています。住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

住民同士が互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思うかについてたずねたところ、「思う」（6.0％）と「どちらかといえば思う」（14.3％）を合わせた『思う』の割合は、20.3％となっている。

一方、「どちらかといえば思わない」（17.3％）と「思わない」（12.0％）を合わせた『思わない』の割合は、29.3％となっており、『思う』の割合（20.3％）よりも9.0ポイント高くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、47.4％と半数近くを占めている。

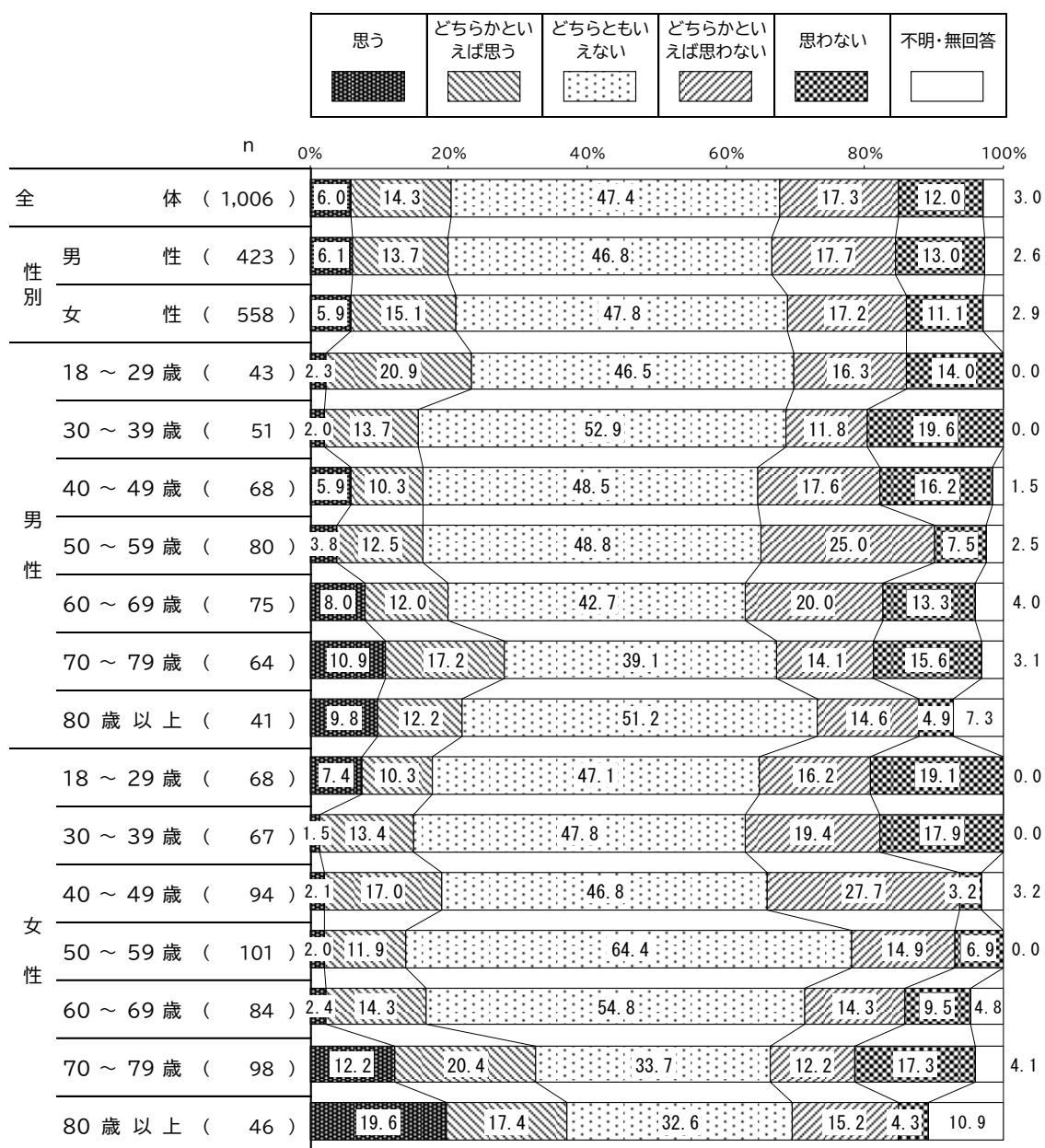


図Ⅲ－21－1 地域課題の解決などへの取組状況

【性別／性別×年齢別】

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』の割合は、女性 70～79 歳と女性 80 歳以上でそれぞれ 32.6%、37.0%と 3 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の割合は、男性 18～29 歳から男性 60～69 歳までと女性 18～29 歳から女性 40～49 歳までの年齢層で 30.3～37.3%と、3 割を超えて高くなっている。



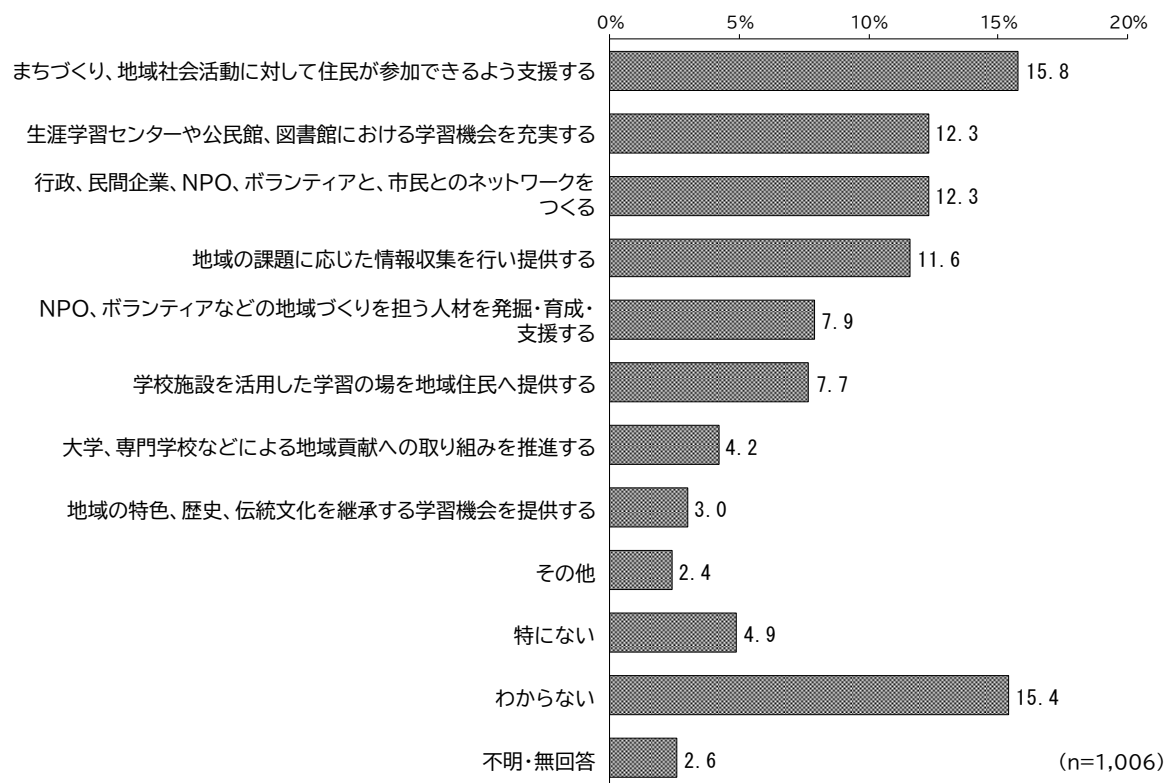
図Ⅲ－21－2 地域課題の解決などへの取組状況（性別／性別×年齢別）

22. 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点

【問22】地域社会の活力の低下が指摘されています。地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1
30印をつけてください。

地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかについてたずねたところ、「まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する」が15.8%で最も高く、次いで「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」と「行政、民間企業、NPO、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる」(ともに12.3%)、「地域の課題に応じた情報収集を行い提供する」(11.6%)、「NPO、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する」(7.9%)、「学校施設を活用した学習の場を地域住民へ提供する」(7.7%)などと続いている。

なお、「特にない」は、4.9%、「わからない」は15.4%となっている。

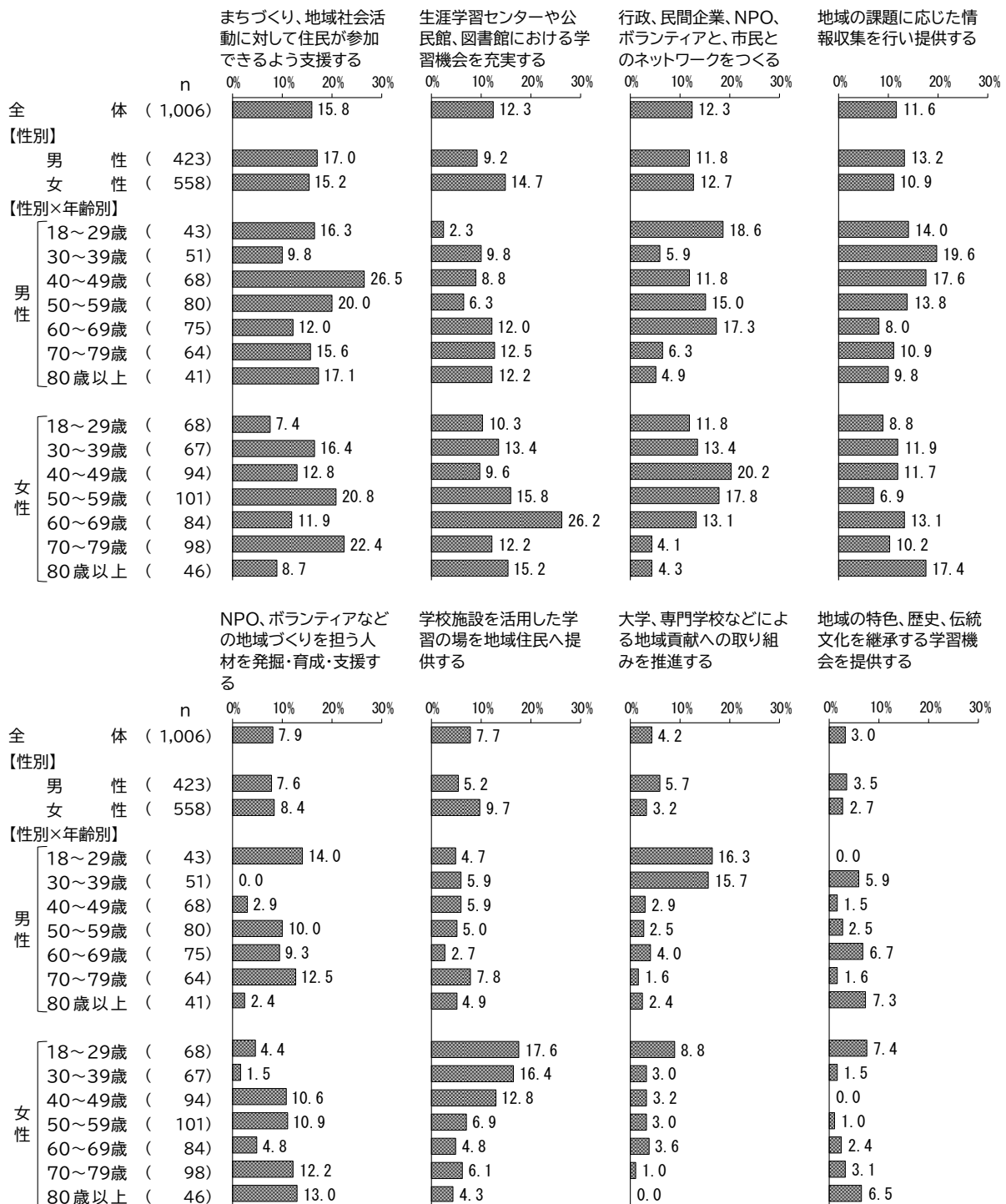


図Ⅲ－22－1 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

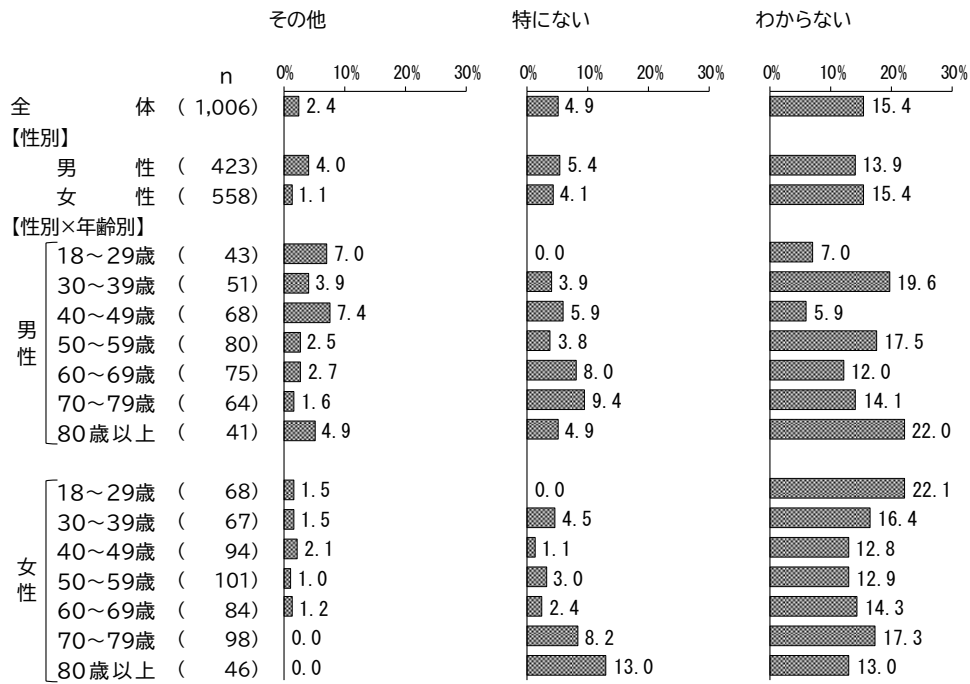
性別にみると、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、女性で14.7%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する」は、男性40～49歳で26.5%、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、女性60～69歳で26.2%、「行政、民間企業、NPO、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる」は、女性40～49歳で20.2%と他の年齢層に比べて高くなっている。



図Ⅲ－22－2 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

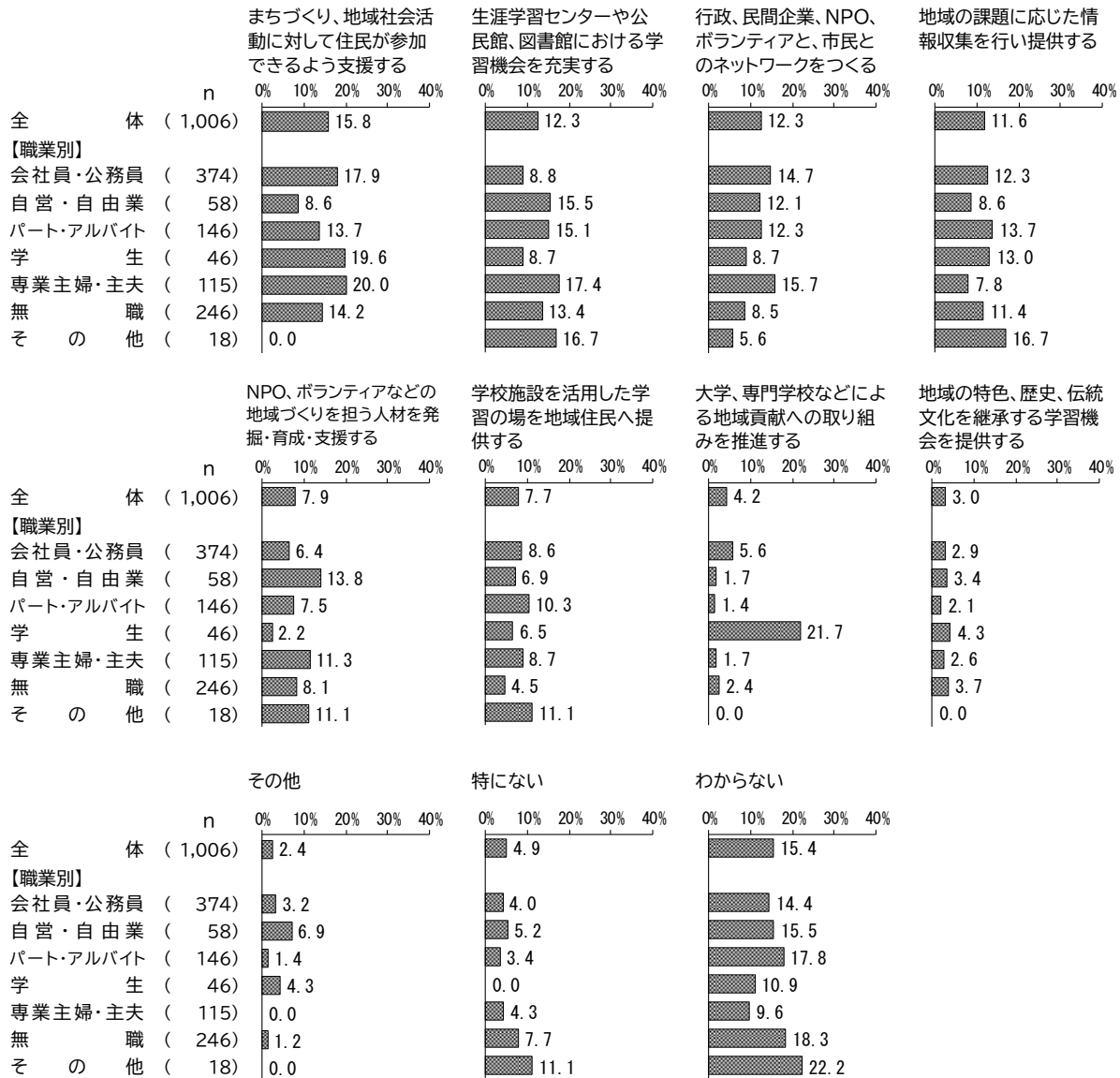
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－22－3 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「大学、専門学校などによる地域貢献への取り組みを推進する」は、学生で21.7%、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、専業主婦・主夫で17.4%、「NPO、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する」は、自営・自由業で13.8%と他の職業に比べて高くなっている。

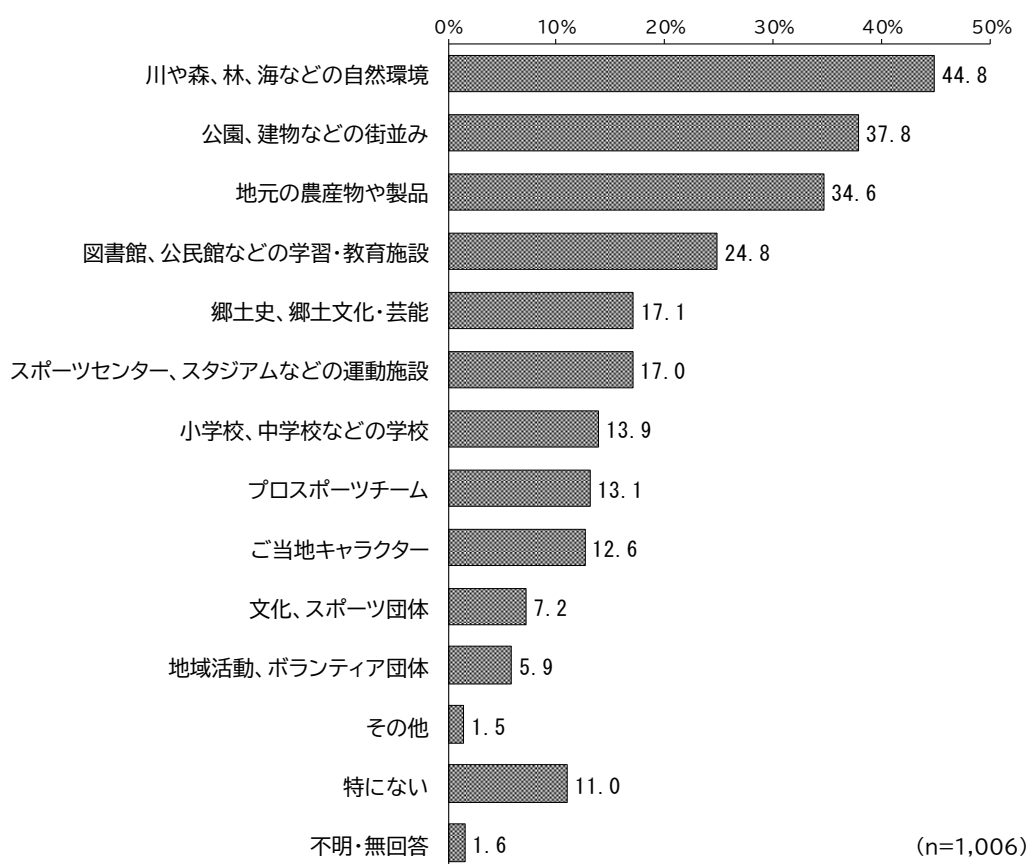


図Ⅲ－22－4 地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（職業別）

23. 身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか

【問23】あなたは、身近な地域のどのようなものに愛着を感じますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

身近な地域のどのようなものに愛着を感じているかについてたずねたところ、「川や森、林、海などの自然環境」が44.8%で最も高く、次いで、「公園、建物などの街並み」(37.8%)、「地元の農産物や製品」(34.6%)、「図書館、公民館などの学習・教育施設」(24.8%)、「郷土史、郷土文化・芸能」(17.1%)、「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」(17.0%)などと続いている。

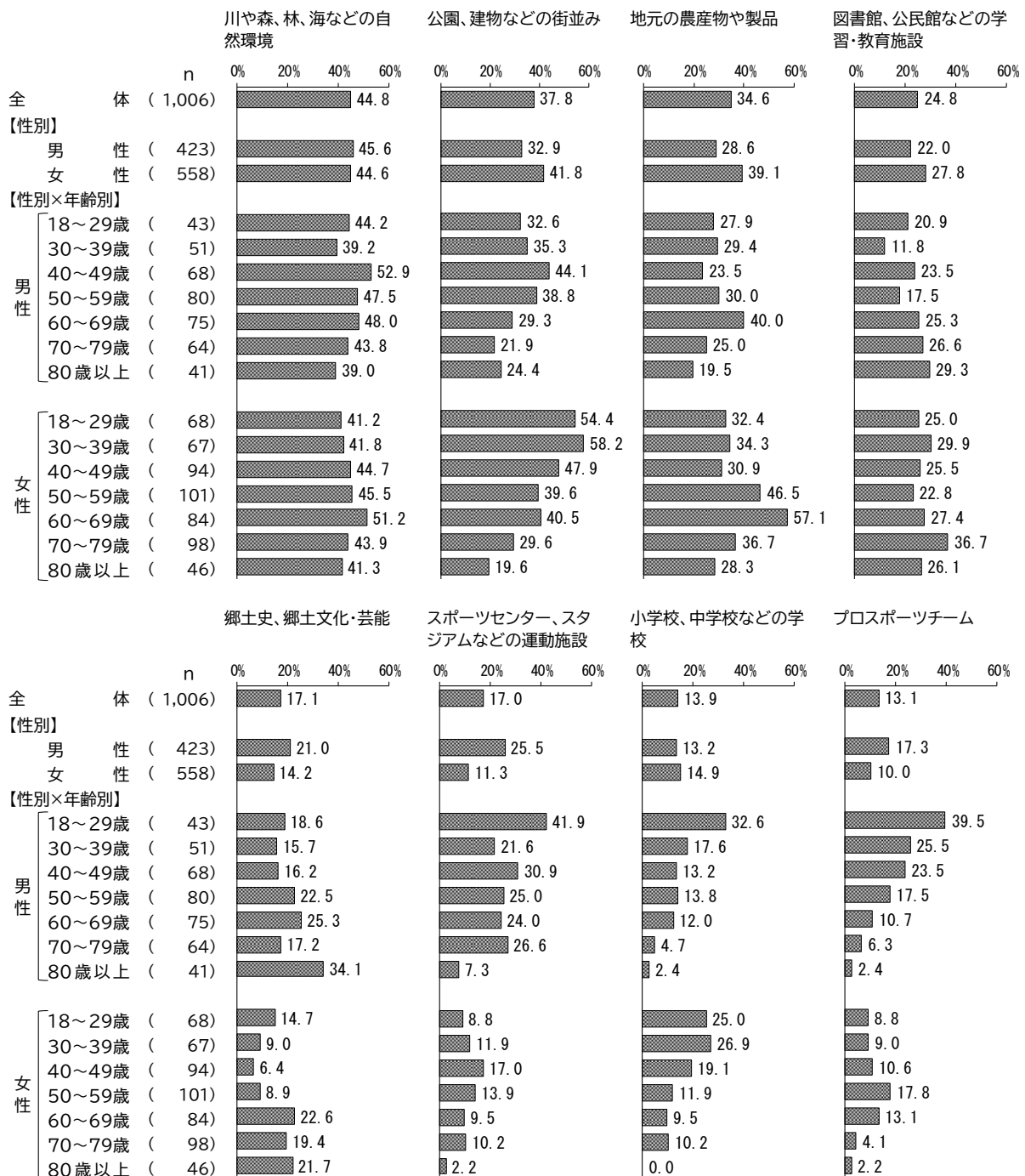


図Ⅲ－23－1 身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか

【性別／性別×年齢別】

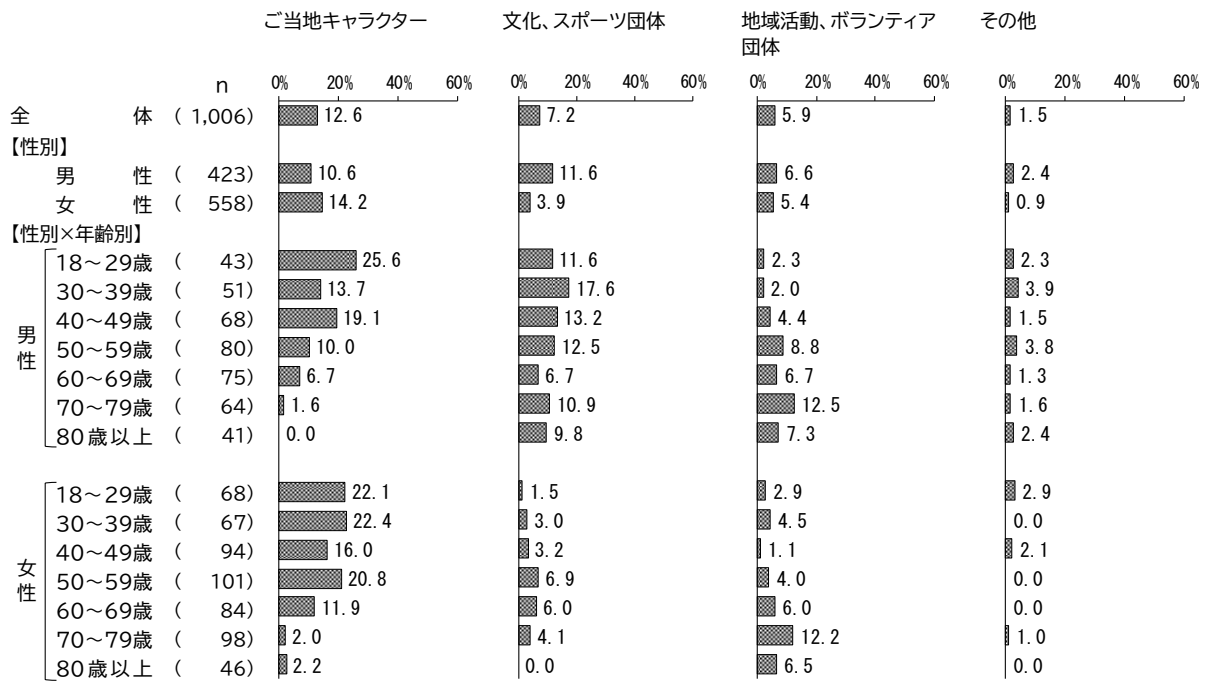
性別にみると、「公園、建物などの街並み」と「地元の農産物や製品」は、女性でそれぞれ41.8%、39.1%と高く、「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」、「郷土史、郷土文化・芸能」、「プロスポーツチーム」は、男性でそれぞれ25.5%、21.0%、17.3%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「公園、建物などの街並み」は、女性18～29歳と30～39歳でそれぞれ54.4%、58.2%、「地元の農産物や製品」は、女性60～69歳で57.1%と5割を超えて高くなっている。「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」、「プロスポーツチーム」、「小学校、中学校などの学校」は、いずれも男性18～29歳でそれぞれ41.9%、39.5%、32.6%と他の年齢層に比べて高く、「図書館、公民館などの学習・教育施設」は、女性70～79歳で36.7%、「郷土史、郷土文化・芸能」は、男性80歳以上で34.1%と高くなっている。



図Ⅲ－23－2 身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－23－3 身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか（性別／性別×年齢別）

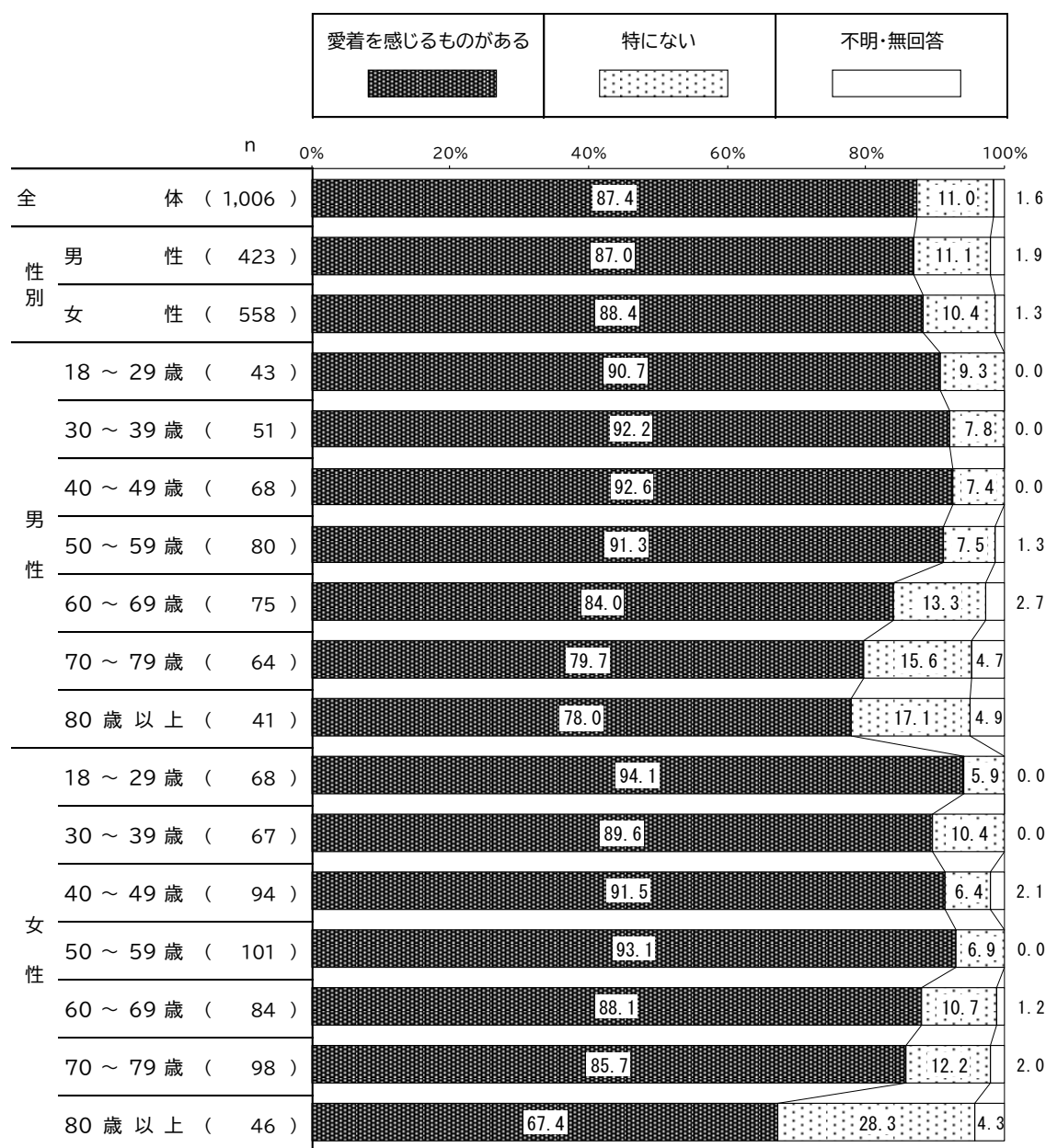
■身近な地域への愛着の有無

身近な地域に愛着を感じるものがあるか否かの割合をみるため、回答選択肢1～12（P117、調査票参照）の中から1つ以上選んだ方を「愛着を感じるものがある」として、集計を行った。

全体で、愛着を感じるものがある方の割合をみると、87.4%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「愛着を感じるものがある」は、男性18～29歳から男性50～59歳までの年齢層と女性18～29歳、女性40～49歳、女性50～59歳で90.7～94.1%と9割を超えて高くなっている。一方、女性80歳以上で「愛着を感じるものがある」は、67.4%と6割台に留まり、他の年齢層と比べて低くなっている。



図Ⅲ－23－4 身近な地域への愛着の有無（性別／性別×年齢別）

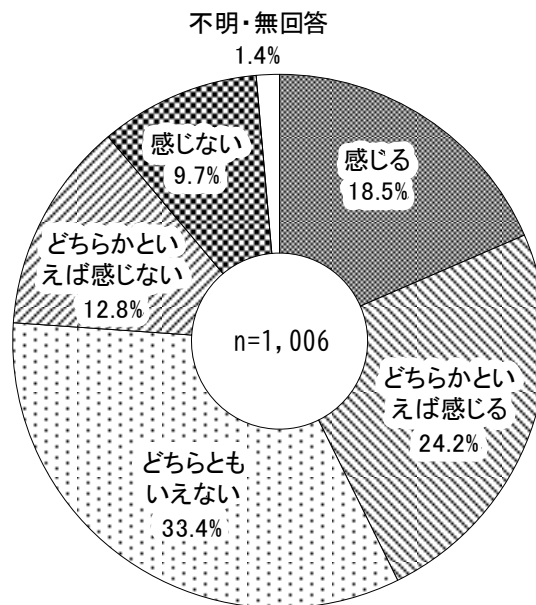
24. 千葉市の歴史や文化財への愛着

【問24】千葉市の歴史や文化財に愛着を感じていますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

千葉市の歴史や文化財に愛着を感じているかについてたずねたところ、「感じる」(18.5%)と「どちらかといえば感じる」(24.2%)を合わせた『感じる』の割合は、42.7%となっている。

一方、「どちらかといえば感じない」(12.8%)と「感じない」(9.7%)を合わせた『感じない』の割合は、22.5%となっており、『感じる』の割合(42.7%)よりも20.2ポイント低くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、33.4%と1/3を占めている。

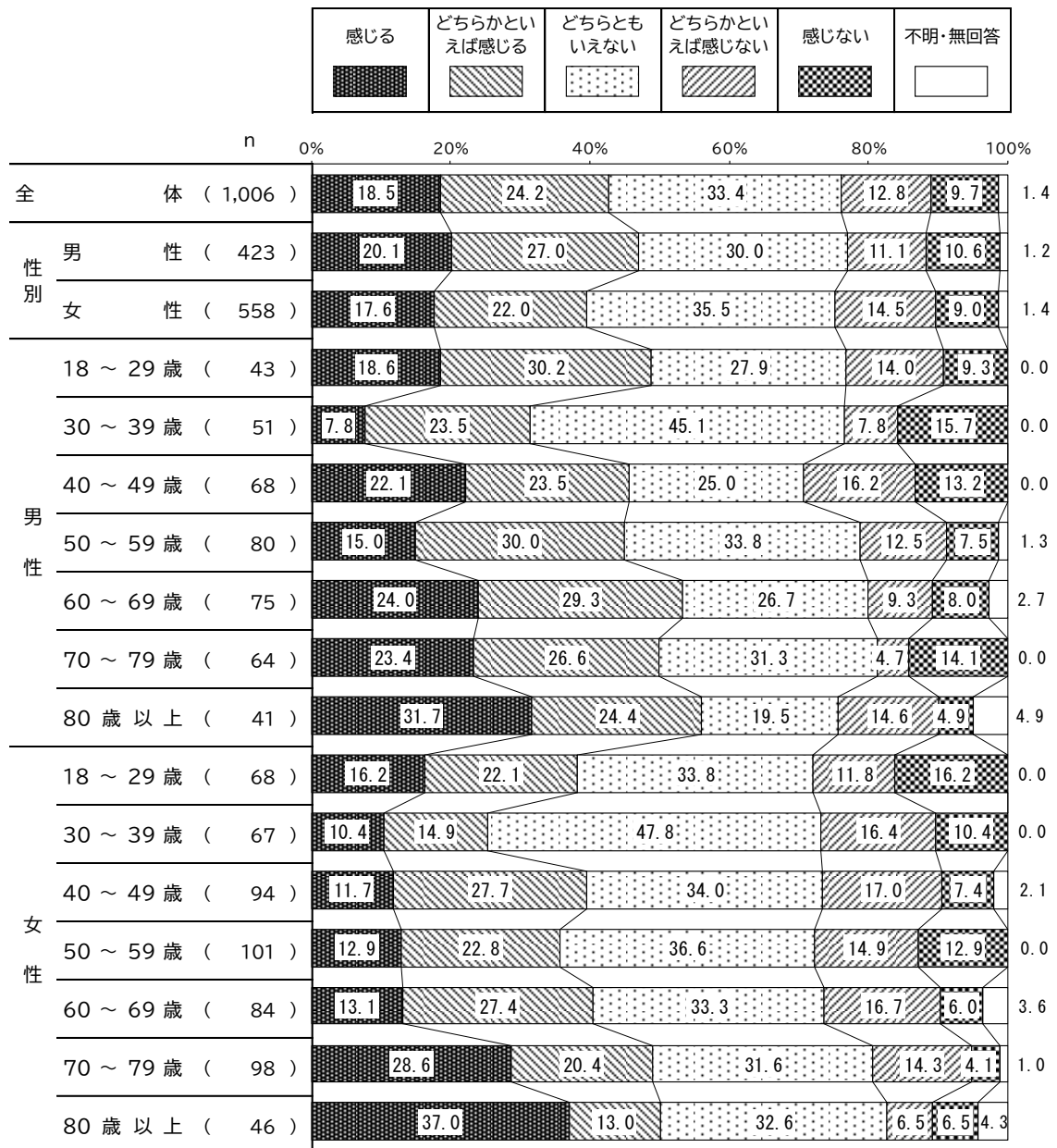


図Ⅲ－24－1 千葉市の歴史や文化財への愛着

【性別／性別×年齢別】

性別で比較すると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は、男性（47.1%）が女性（39.6%）より、7.5ポイント高くなっている。

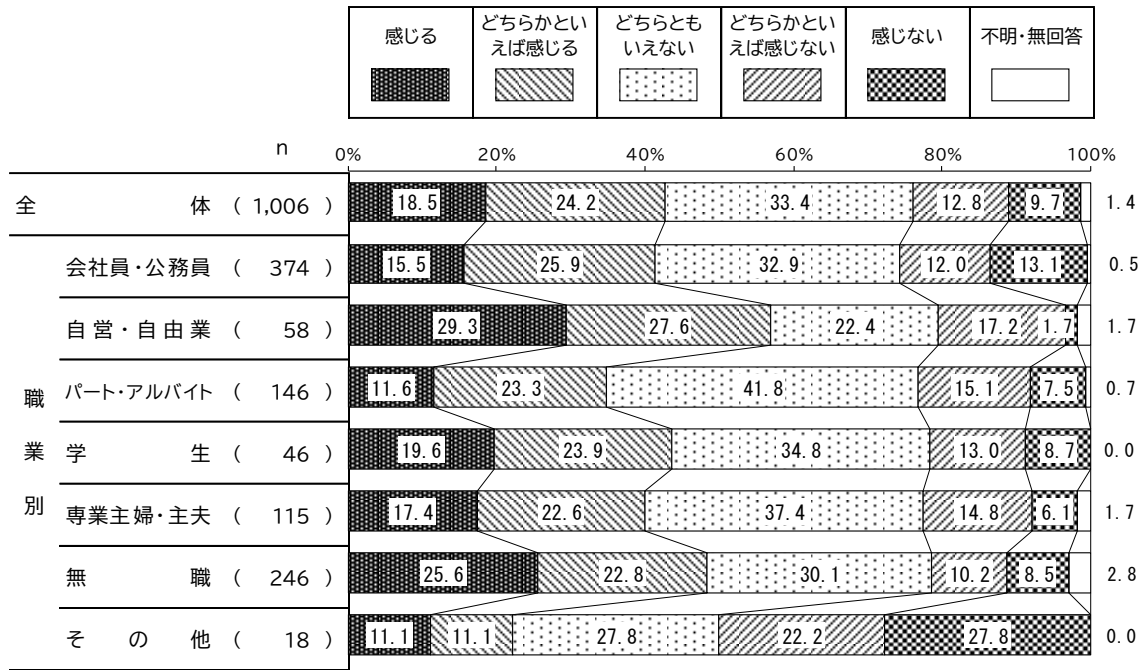
性別×年齢別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、男性 60～69 歳、男性 70～79 歳までと男女ともに 80 歳以上で 50.0～56.1%と 5 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合は、男性 40～49 歳と女性 18～29 歳でそれぞれ 29.4%、28.0%と、3 割近くを占め高くなっている。



図Ⅲ－24－2 千葉市の歴史や文化財への愛着（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、
 自営・自由業と無職でそれぞれ 56.9%、48.4%と他の職業と比べて高くなっている。一方、「ど
 ちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合は、その他で 50.0%
 と 5 割を占め高くなっている。



図Ⅲ－24－3 千葉市の歴史や文化財への愛着（職業別）

IV. 調査票

IV. 調査票

千葉市生涯学習市民意識調査

-アンケート調査ご協力のお願い-

皆様には、日ごろより千葉市の教育行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この調査は、千葉市における生涯学習の推進に関して、その方向性を定める「第6次生涯学習推進計画」を策定するための基礎資料として実施するものです。

市内にお住まいの18歳以上の方から、「ランダム・サンプリング」というくじ引きに似た方法で無作為に抽出した2,500名の皆様をお願いしております。

この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

令和3年10月

千葉市教育委員会

◆生涯学習活動とは◆

私たち一人ひとりが、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の充実を目指し、自らの生活を豊かにするために、生涯のいろいろな時期に自分から進んで行うものです。

学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行われる学習のことをいいます。

◆ご回答方法について◆

ご回答は、封筒あて名にあるご本人様をお願いいたします。

また、郵送もしくはインターネットのどちらかをお願いいたします。

それぞれの回答方法は、裏面をご覧ください。

この調査につきまして、ご質問などがございましたら、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。


＜問い合わせ先＞千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 管理班
千葉市中央区問屋町1番35号 千葉ポートサイドタワー11階
電話：043（245）5953
E-mail：shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

◆郵送でのご回答の場合◆

1. ご回答は、調査票のあてはまる番号に○印をつけてください。各設問によって○印をつける数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご記入ください。
2. 設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
3. ご回答で「その他」を選ばれた方は、（具体的に.....）に内容をご記入ください。
4. ご記入は、黒や青のペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
5. 調査票にご記入いただきましたら、恐れ入りますが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**11月12日（金）までに**、ご投函ください。切手は不要です。

◆インターネットでのご回答の場合◆

1. インターネットでのご回答は次の方法で回答サイトにアクセスしてください。（「ちば電子申請サービス」を使用してご回答となります。）

千葉市役所ホームページ サイト内検索	2次元バーコード
<div>生涯学習市民意識調査</div> <div>検索</div>	

<参考：上記でアクセスするサイトのURL>

https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/r03shogaigakushu_shiminishiki_chosa.html

2. ご回答は、あてはまる選択肢を選択してください。各設問によって選択する数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご選択ください。
3. 設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
4. ご回答で「その他」を選ばれた方は、文字入力欄に内容を具体的にご記入ください。
5. ご回答は、**11月12日（金）23時59分までに**、送信してください。

千葉市生涯学習市民意識調査

インターネットでのご回答の場合、
右記の回答IDを回答サイトに入力してください。
※回答IDは重複回答の確認のみに使用し、個人が特定されることはありません。

回答
ID

【問1】生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 生きがいづくり | 5. 職業上必要な知識・技能・資格取得 |
| 2. 新しい知識・教養の習得 | 6. 地域づくり・まちづくり |
| 3. 余暇時間の活用 | 7. その他（具体的に.....） |
| 4. 仲間づくり・交流活動 | 8. 特にない |

【問2】あなたが生涯学習活動を行う上で最も重視していることは何ですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 健康に役立つ | 7. ストレスの解消になる |
| 2. 家庭生活に役立つ | 8. 仲間づくりができる |
| 3. 今の仕事や将来の仕事に役立つ | 9. 地域や社会全体との関わりが深められる |
| 4. 知識や技術を高められる | 10. 社会に貢献できる |
| 5. 資格取得に役立つ | 11. その他（具体的に.....） |
| 6. 人生を豊かにする | 12. 特にない |

【問3】あなたは、この1年間に、どのような生涯学習活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 健康（医学、栄養学、感染症など）
2. 家庭生活（料理、手芸など）
3. 育児・教育（幼児教育、教育活動など）
4. 学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）
5. 社会問題（時事、国際、環境など）
6. 自然災害（防災、避難方法など）
7. 情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）
8. 職業上必要な知識・技能・資格取得
9. 趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）
10. 健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）
11. 地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど）
12. ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）
13. その他（具体的に.....）
14. 行っていない → 問6へ

問3で1～13に○印をつけた方(この1年間に生涯学習活動を行った方)におたずねします。

【問4】あなたは、どのような方法・機会を利用して生涯学習活動を行っていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室
2. カルチャーセンターなど民間の講座・スポーツ教室
3. 大学・短大・高校の公開講座・教室
4. けいこ事などの個人教授
5. 友人・知人のグループや同好会
6. 町内自治会など地域のグループ
7. 職場のサークル
8. 職場の研修
9. テレビ、ラジオ、本(参考書など含む)、通信教育などを利用した個人学習
10. パソコン、インターネットなどを利用した個人学習
11. その他(具体的に.....)

引き続き、問3で1～13に○印をつけた方(この1年間に生涯学習活動を行った方)におたずねします。

【問5】あなたが、生涯学習活動を行うのは、主に何曜日のどの時間帯ですか。もっともあてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 平日(月～金曜日)の午前 | 7. 日曜日の午前 |
| 2. 平日(月～金曜日)の午後(6時頃まで) | 8. 日曜日の午後(6時頃まで) |
| 3. 平日(月～金曜日)の夜間(6時頃以降) | 9. 日曜日の夜間(6時頃以降) |
| 4. 土曜日の午前 | |
| 5. 土曜日の午後(6時頃まで) | |
| 6. 土曜日の夜間(6時頃以降) | |

→ 問7へ

問3で14に○印をつけた方(この1年間に生涯学習活動を行っていない方)におたずねします。

【問6】あなたが、生涯学習活動をしらない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 仕事のため時間がとれない
2. 家事・育児・介護などで時間がとれない
3. 一緒にする仲間がいない
4. 費用がかかるので、できない
5. どんな生涯学習活動があるのかわからない
6. 適切な講師や指導者がいない
7. 身近に利用できる施設が少ない
8. 希望する内容の学習や活動機会が少ない
9. 身体への負担が大きい
10. 新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから
11. その他(具体的に.....)
12. 特に関心がない

全員の方におたずねします。

【問7】あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 健康維持 | 7. 学習、スポーツなどの指導 |
| 2. 日常生活 | 8. 地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど） |
| 3. 仕事や就職 | 9. ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など） |
| 4. さらに深い知識や技術を身につけたい | 10. その他（具体的に.....） |
| 5. 資格取得 | 11. 特にない |
| 6. 人生をより充実したものにしたい | |

【問8】あなたは、今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 健康（医学、栄養学、感染症など） | 8. 職業上必要な知識・技能・資格取得 |
| 2. 家庭生活（料理、手芸など） | 9. 趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など） |
| 3. 育児・教育（幼児教育、教育活動など） | 10. 健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど） |
| 4. 学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など） | 11. 地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど） |
| 5. 社会問題（時事、国際、環境など） | 12. ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など） |
| 6. 自然災害（防災、避難方法など） | 13. その他（具体的に.....） |
| 7. 情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など） | 14. 特にない |

【問9】あなたは、この1年間にどの施設を利用しましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 生涯学習センター | 14. 文化施設 |
| 2. 公民館 | 15. 男女共同参画センター |
| 3. コミュニティセンター | 16. 小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など） |
| 4. 図書館 | 17. 保健所、保健福祉センター |
| 5. 加曽利貝塚博物館 | 18. 子ども交流館、子育て支援館 |
| 6. 郷土博物館 | 19. いきいきプラザ、いきいきセンター |
| 7. 科学館 | 20. 消費生活センター |
| 8. 市美術館、市民ギャラリーいなげ | 21. 勤労市民プラザ |
| 9. 花の美術館、都市緑化植物園 | 22. 民間のカルチャーセンター |
| 10. 公園・動物公園 | 23. 民間のスポーツクラブ、スポーツ施設 |
| 11. 南部青少年センター | 24. その他（具体的に.....） |
| 12. 少年自然の家 | 25. 利用していない → 問11へ |
| 13. 体育館・プールなど公共スポーツ施設 | |

問9で1～24に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの1年間に利用した方）におたずねします。

【問10】その施設を利用する理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 自宅から近いから | 6. 予約がしやすいから |
| 2. 施設・設備が充実しているから | 7. 交通の便がよいから |
| 3. 利用時間が希望に合うから | 8. その他（具体的に.....） |
| 4. 講座・イベントなどの内容がよいから | 9. 特にない |
| 5. 料金がかからないから、安いから | |

→ 問12へ

問9で25に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの1年間に利用しなかった方）におたずねします。

【問11】施設を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅から遠いから | 7. 交通の便が悪いから |
| 2. 施設・設備が充実していないから | 8. 新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから |
| 3. 利用時間が希望に合わないから | 9. 施設の利用を知らなかったから |
| 4. 興味のある講座・イベントなどがなかったから | 10. その他（具体的に.....） |
| 5. 料金がかかるから、高いから | 11. 特にない |
| 6. 予約がしにくいから | |

全員の方におたずねします。

【問12】あなたが、今後利用してみたい施設はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 生涯学習センター | 14. 文化施設 |
| 2. 公民館 | 15. 男女共同参画センター |
| 3. コミュニティセンター | 16. 小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など） |
| 4. 図書館 | 17. 保健所、保健福祉センター |
| 5. 加曽利貝塚博物館 | 18. 子ども交流館、子育て支援館 |
| 6. 郷土博物館 | 19. いきいきプラザ、いきいきセンター |
| 7. 科学館 | 20. 消費生活センター |
| 8. 市美術館、市民ギャラリーいなげ | 21. 勤労市民プラザ |
| 9. 花の美術館、都市緑化植物園 | 22. 民間のカルチャーセンター |
| 10. 公園・動物公園 | 23. 民間のスポーツクラブ、スポーツ施設 |
| 11. 南部青少年センター | 24. その他（具体的に.....） |
| 12. 少年自然の家 | 25. 利用してみたい施設はない → 問14へ |
| 13. 体育館・プールなど公共スポーツ施設 | |

問12で1～24に○印をつけた方（今後利用してみたい施設がある方）におたすねします。

【問13】その施設を利用してみたい理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 自宅から近いから | 6. 予約がしやすいから |
| 2. 施設・設備が充実しているから | 7. 交通の便がよいから |
| 3. 利用時間が希望に合うから | 8. その他（具体的に.....） |
| 4. 講座・イベントなどの内容がよいから | 9. わからない |
| 5. 料金がかからないから、安いから | 10. 特にない |

全員の方におたすねします。

【問14】あなたは、千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 既存の施設・設備の充実 |
| 2. 情報通信機器の利用環境（Wi-Fi 設備など）の整備 |
| 3. 夜間や休日でも利用できるようにする |
| 4. 誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実 |
| 5. 子どもの一時預かりの充実 |
| 6. 生涯学習について相談できる専門的な職員の配置 |
| 7. 生涯学習に関する情報提供の充実 |
| 8. 気軽に立ち寄って個人で学習したり、仲間と教えあったりできるフリースペース |
| 9. 学校の施設を開放する |
| 10. その他（具体的に.....） |
| 11. 特にない |

【問15】あなたは、千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 市政だより | 8. 新聞・テレビ・ラジオ |
| 2. 公民館のチラシ、情報誌など | 9. 雑誌・タウン情報誌 |
| 3. 生涯学習センターのチラシ、情報誌など | 10. 家族から聞く |
| 4. 市の施設での掲示やポスター | 11. 知り合いや仲間から聞く |
| 5. 市の施設に問い合わせたり、職員に聞く | 12. その他（具体的に.....） |
| 6. インターネット、SNS | 13. 特に情報を得ていない |
| 7. 町内自治会の回覧板、掲示板など | |

【問16】あなたは、千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------|
| 1. 感じる | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば感じない |
| 2. どちらかといえば感じる | 5. 感じない | |

【問17】あなたは、インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用していますか。
あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 自宅にあるパソコン | 5. 自分の物以外のスマートフォン（タブレット含む） |
| 2. 自分のスマートフォン（タブレット含む） | 6. 自分の物以外の携帯電話 |
| 3. 自分の携帯電話 | 7. その他（具体的に.....） |
| 4. 自宅以外のパソコン | 8. インターネットを利用しない |

→ 問20へ

問17で8に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問18】インターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 利用できる機器がない | 6. 面倒である |
| 2. 利用の仕方がわからない | 7. 利用する必要性が無い |
| 3. 利用料金がかかる | 8. その他（具体的に.....） |
| 4. 安全性などに不安がある | 9. 特にない |
| 5. 身近に教えてくれる人がいない | |

引き続き、問17で8に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問19】あなたは、インターネットを利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. 思わない | |

全員の方におたずねします。

【問20】あなたは、千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 大学などとの連携による高度で専門的な学習機会を提供する |
| 2. 文化・芸能を鑑賞する事業を増やす |
| 3. 市民が参加できる研究会、討論会形式の事業を増やす |
| 4. 市民が企画から参加したり、市民グループなどから公募する市の講座を増やす |
| 5. 団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する |
| 6. 技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす |
| 7. 出張講座など、市内の職場でも受講できる機会を増やす |
| 8. 放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす |
| 9. インターネットを利用したオンライン講座を増やす |
| 10. 学んだ成果が地域の活動に生かせる機会を増やす |
| 11. 学んだ成果で、社会的に評価される資格を得たり、活動したりできるようにする |
| 12. その他（具体的に.....） |
| 13. 特にない |

【問21】千葉市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に事業を行っています。住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

※取り組み例 地域住民と公民館が連携した地域の課題解決に資する講座、公民館コンサート（地域住民の交流）、公民館での伝承遊び講座（世代間の交流）、学校施設開放（地域活動や生涯学習の場の提供）など

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. 思わない | |

【問22】地域社会の活力の低下が指摘されています。地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

1. 学校施設を活用した学習の場を地域住民へ提供する
2. 大学、専門学校などによる地域貢献への取り組みを推進する
3. 生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する
4. NPO、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する
5. まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する
6. 行政、民間企業、NPO、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる
7. 地域の課題に応じた情報収集を行い提供する
8. 地域の特色、歴史、伝統文化を継承する学習機会を提供する
9. その他（具体的に.....）
10. 特にない
11. わからない

【問23】あなたは、身近な地域のどのようなものに愛着を感じますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 郷土史、郷土文化・芸能 | 8. 図書館、公民館などの学習・教育施設 |
| 2. 地元の農産物や製品 | 9. スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設 |
| 3. 川や森、林、海などの自然環境 | 10. プロスポーツチーム |
| 4. 公園、建物などの街並み | 11. ご当地キャラクター |
| 5. 地域活動、ボランティア団体 | 12. その他（具体的に.....） |
| 6. 文化、スポーツ団体 | 13. 特にない |
| 7. 小学校、中学校などの学校 | |

【問24】千葉市の歴史や文化財に愛着を感じていますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

※文化財とは、歴史上、芸術上または学術上の価値が高いものをさし、そのうち重要なものを国・県・市が指定・登録しています。千葉市にあるものでは、加曽利貝塚、稲毛浅間神社の神楽、旧川崎銀行千葉支店本館（現在の千葉市美術館 1～2 階部分）などが該当します。

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------|
| 1. 感じる | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば感じない |
| 2. どちらかといえば感じる | 5. 感じない | |

【問25】あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

※性別を回答したくない場合は、選ばなくて構いません。

1. 男性

2. 女性

【問26】あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 18～22 歳

6. 60～64 歳

2. 23～29 歳

7. 65～69 歳

3. 30～39 歳

8. 70～74 歳

4. 40～49 歳

9. 75～79 歳

5. 50～59 歳

10. 80 歳以上

【問27】あなたのお住まいの区は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 中央区

4. 若葉区

2. 花見川区

5. 緑区

3. 稲毛区

6. 美浜区

【問28】あなたの職業は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 会社員・公務員

5. 専業主婦・主夫

2. 自営・自由業

6. 無職（年金生活を含む）

3. パート・アルバイト

7. その他（具体的に.....）

4. 学生

【問29】あなたと同居している一番下のお子さんの学齢は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 未就学児

2. 小学生

3. 中学生

4. 高校生（高校生に相当する年齢の方を含む）

5. 未就学児から高校生（高校生に相当する年齢の方を含む）の同居している子どもはいない

質問は以上です。長時間にわたってアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

第2章 関係団体調査の部

目 次

I. 調査概要	118
1. 調査目的	118
2. 調査設計	118
3. 配布・回収結果	118
4. 報告書の見方	119
II. 調査回答団体の属性	121
1. 活動場所	121
2. 活動地区	121
3. 会員規模	122
III. 調査結果の分析	124
1. 会員数の多い（活動が盛んな）年代	124
2. 主な活動分野	126
3. 生涯学習施設の利用のしやすさ	129
4. 学習成果の活用状況	131
5. 学習成果の活用頻度	135
6. 学習成果を活用していない理由	137
7. 現在抱えている問題	139
8. 市の施策への要望	144
IV. 調査票	149

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、次年度策定予定の第6次生涯学習推進計画の基礎的資料として活用するため、前回実施した調査以降の市内の生涯学習団体の変化を調査することにより、第5次生涯学習推進計画における課題の洗い出しを行うとともに、千葉市内の生涯学習団体の生涯学習の現状と将来の動向、生涯学習推進施策の課題を明らかにすることを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：千葉市全域
- (2) 調査対象：千葉市内生涯学習関係団体の代表者
- (3) 標 本 数：1,000 団体
- (4) 標本抽出：公民館・コミュニティセンター・生涯学習センターを利用している登録団体からの無作為抽出
- (5) 調査方法：直接配布ー郵送及びインターネット回収
- (6) 調査項目：後掲の調査票を参照
- (7) 調査期間：令和3年10月27日（水）～11月24日（水）
- (8) 調査機関：株式会社総合企画 千葉事務所

3. 配布・回収結果

配布数	回収数			回収率
		郵送回収	インターネット回収	
1,000件	767件	720件	47件	76.7%

4. 報告書の見方

(1) 結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超える。
- ④誤差を考慮し、nが小さい場合（10未満）は、基本的に検討の対象としない。

(2) 標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる95%とする。

(注)「信頼度95%」とは、100回同じ調査を実施したときに、おおむね95回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b＝標本誤差

N＝母集団数（千葉市全登録団体・件）

n＝サンプル数（件）…本報告書ではこれをn（比率算出の基数）で示す。

P＝回答比率

また、Nはnより大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆ 今回の調査結果の標本誤差（信頼度95%）

回答比率(P) n（件）	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
767	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.47%	±3.54%
500	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
50	±8.32%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%

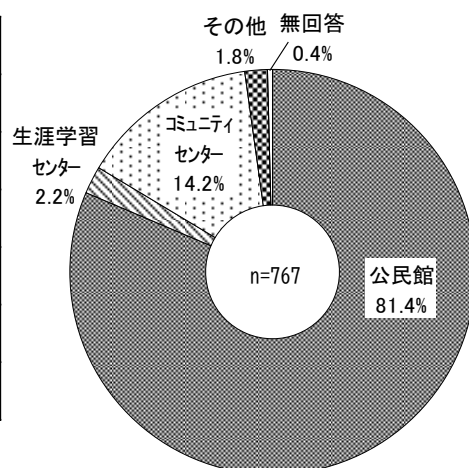
（表の見方）例えば、ある設問の回答件数が767件であり、その設問中にある選択肢の回答比率が50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±3.54%以内（46.46%～53.54%）である。ただし信頼度が95%であるので、誤差の範囲が±3.54%以内となる確率は95%である。」と見ることができる。

Ⅱ．調査回答団体の属性

Ⅱ. 調査回答団体の属性

1. 活動場所

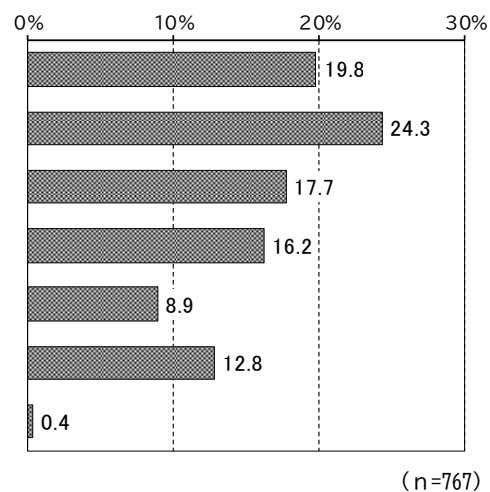
	件数	構成比 (%)
1. 公民館	624	81.4
2. 生涯学習センター	17	2.2
3. コミュニティセンター	109	14.2
4. その他	14	1.8
(不明・無回答)	3	0.4
合 計	767	100.0



図Ⅱ－1 活動場所

2. 活動地区

	件数	構成比 (%)
1. 中央区	152	19.8
2. 花見川区	186	24.3
3. 稲毛区	136	17.7
4. 若葉区	124	16.2
5. 緑区	68	8.9
6. 美浜区	98	12.8
(不明・無回答)	3	0.4
合 計	767	100.0



図Ⅱ－2 活動地区

3. 会員規模

	件数	構成比 (%)
1. 5人以下	103	13.4
2. 6～10人	323	42.1
3. 11～15人	168	21.9
4. 16～20人	79	10.3
5. 21～30人	47	6.1
6. 31人以上	44	5.7
(不明・無回答)	3	0.4
合 計	767	100.0

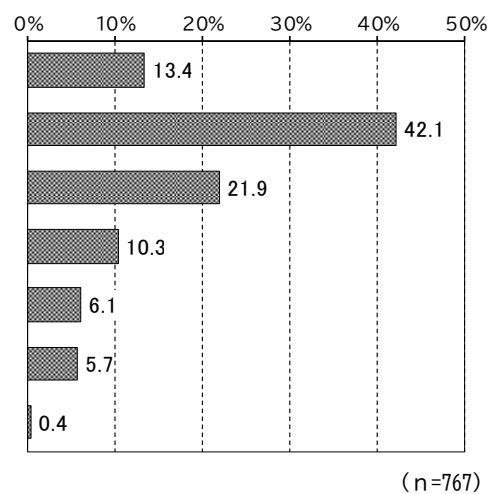


図 II-3 会員規模

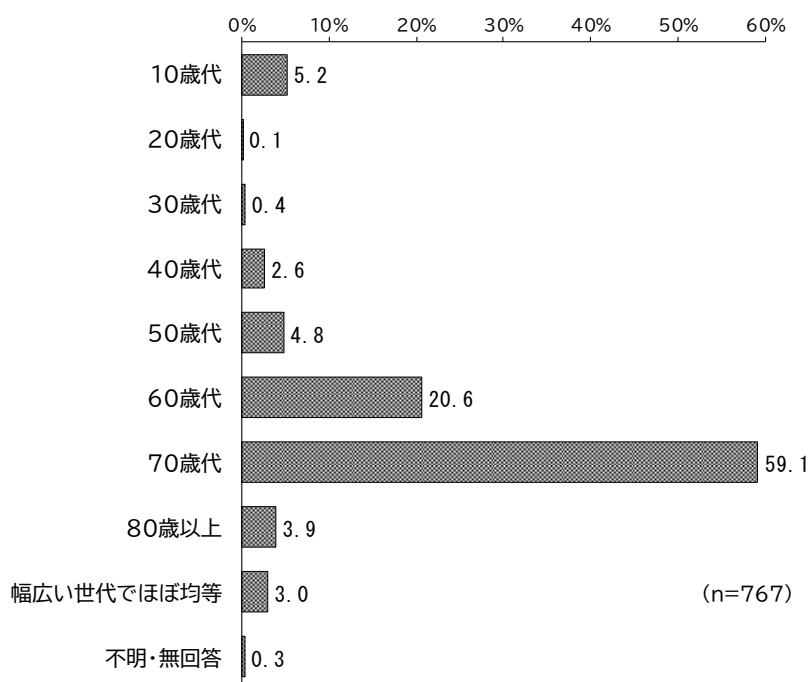
Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 会員数の多い（活動が盛んな）年代

【問4】貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代は次のうちどれにあたりますか。
あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代についてたずねたところ、「70 歳代」（59.1%）が最も高く、次いで「60 歳代」（20.6%）、「10 歳代」（5.2%）、「50 歳代」（4.8%）などと続いている。



図Ⅲ－1 会員数の多い（活動が盛んな）年代

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターでは「10 歳代」が 11.9%と高くなっている。

活動地区別にみると、緑区では「10 歳代」、「40 歳代」、「50 歳代」がそれぞれ 10.3%、10.3%、11.8%と高くなっている。

会員規模別にみると、31 人以上では「幅広い世代でほぼ均等」が 18.2%と高くなっている。

活動分野別にみると、家庭生活では「60 歳代」が 36.4%と高く、地域活動では「幅広い世代でほぼ均等」が 26.7%と高くなっている。

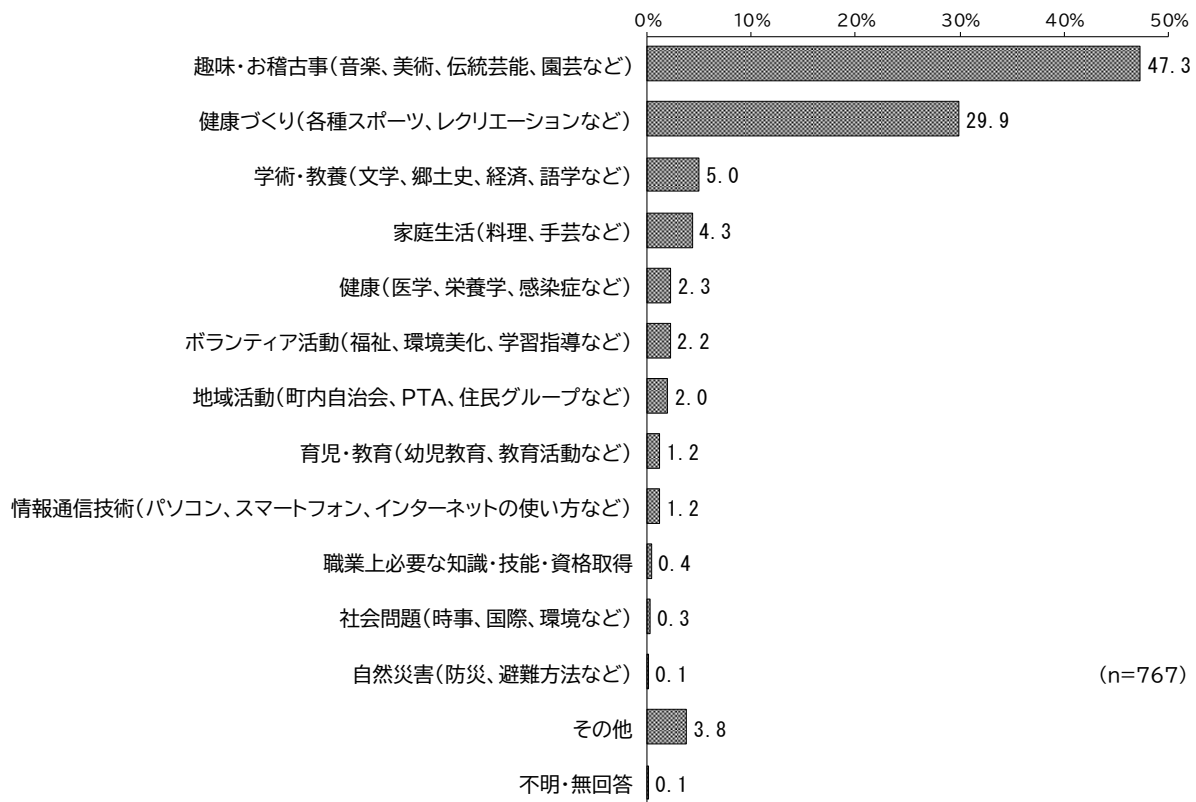
	(n)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	幅広い世代 でほぼ均等	(%)
全 体	767	5.2	0.1	0.4	2.6	4.8	20.6	59.1	3.9	3.0	
活動場所別											
公 民 館	624	3.8	-	0.3	2.2	4.8	18.9	63.0	4.0	2.6	
生涯学習センター	17	-	-	-	-	5.9	29.4	58.8	-	5.9	
コミュニティセンター	109	11.9	-	0.9	4.6	5.5	30.3	39.4	3.7	3.7	
そ の 他	14	21.4	7.1	-	7.1	-	14.3	28.6	7.1	14.3	
活動地区別											
中 央 区	152	3.3	-	0.7	-	5.3	23.7	60.5	2.6	3.9	
花 見 川 区	186	3.2	-	-	2.2	7.5	21.5	58.6	3.8	2.2	
稲 毛 区	136	5.1	-	1.5	1.5	-	20.6	64.0	5.9	1.5	
若 葉 区	124	4.8	0.8	-	0.8	0.8	15.3	65.3	7.3	4.8	
緑 区	68	10.3	-	-	10.3	11.8	16.2	50.0	-	1.5	
美 浜 区	98	9.2	-	-	6.1	5.1	23.5	50.0	2.0	4.1	
会員規模別											
5 人 以 下	103	-	1.0	-	2.9	11.7	26.2	50.5	7.8	-	
6 ～ 1 0 人	323	5.3	-	0.3	2.5	2.8	21.4	61.6	4.3	1.5	
1 1 ～ 1 5 人	168	6.5	-	0.6	3.0	7.7	15.5	59.5	2.4	4.2	
1 6 ～ 2 0 人	79	5.1	-	1.3	-	1.3	22.8	63.3	3.8	2.5	
2 1 ～ 3 0 人	47	8.5	-	-	-	-	23.4	63.8	2.1	2.1	
3 1 人 以 上	44	6.8	-	-	9.1	4.5	15.9	45.5	-	18.2	
活動分野別											
健 康	18	-	-	-	5.6	16.7	16.7	61.1	-	-	
家 庭 生 活	33	-	-	-	-	3.0	36.4	57.6	3.0	-	
学 術 ・ 教 養	38	7.9	-	-	-	2.6	31.6	44.7	7.9	5.3	
趣味・お稽古事	363	4.4	-	0.3	1.9	4.1	17.9	63.6	4.7	2.8	
健 康 づ くり	229	6.1	-	-	3.5	4.4	18.3	62.4	3.5	1.7	
地 域 活 動	15	13.3	-	-	-	13.3	20.0	26.7	-	26.7	
ボランティア活動	17	-	-	-	11.8	-	35.3	41.2	5.9	5.9	

図Ⅲ－２ 会員数の多い（活動が盛んな）年代
（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

2. 主な活動分野

【問5】貴団体の主な活動分野は、次のうちどれにあたりますか。もっともあてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

主な活動分野についてたずねたところ、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が47.3%で最も高く半数近くを占めている。次いで「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」（29.9%）、「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」（5.0%）、「家庭生活（料理、手芸など）」（4.3%）などと続いている。

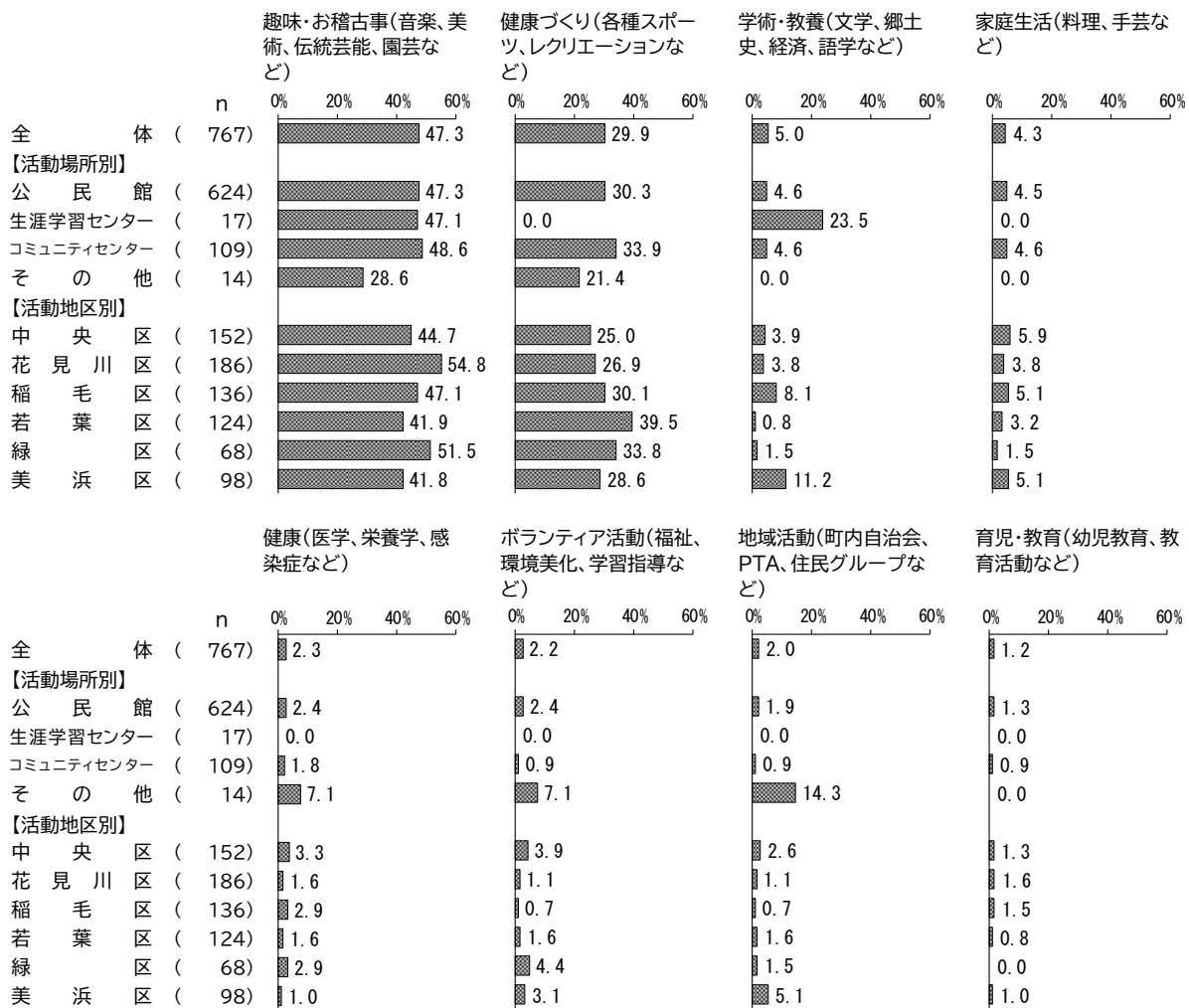


図Ⅲ－3 主な活動分野

【活動場所別／活動地区別】

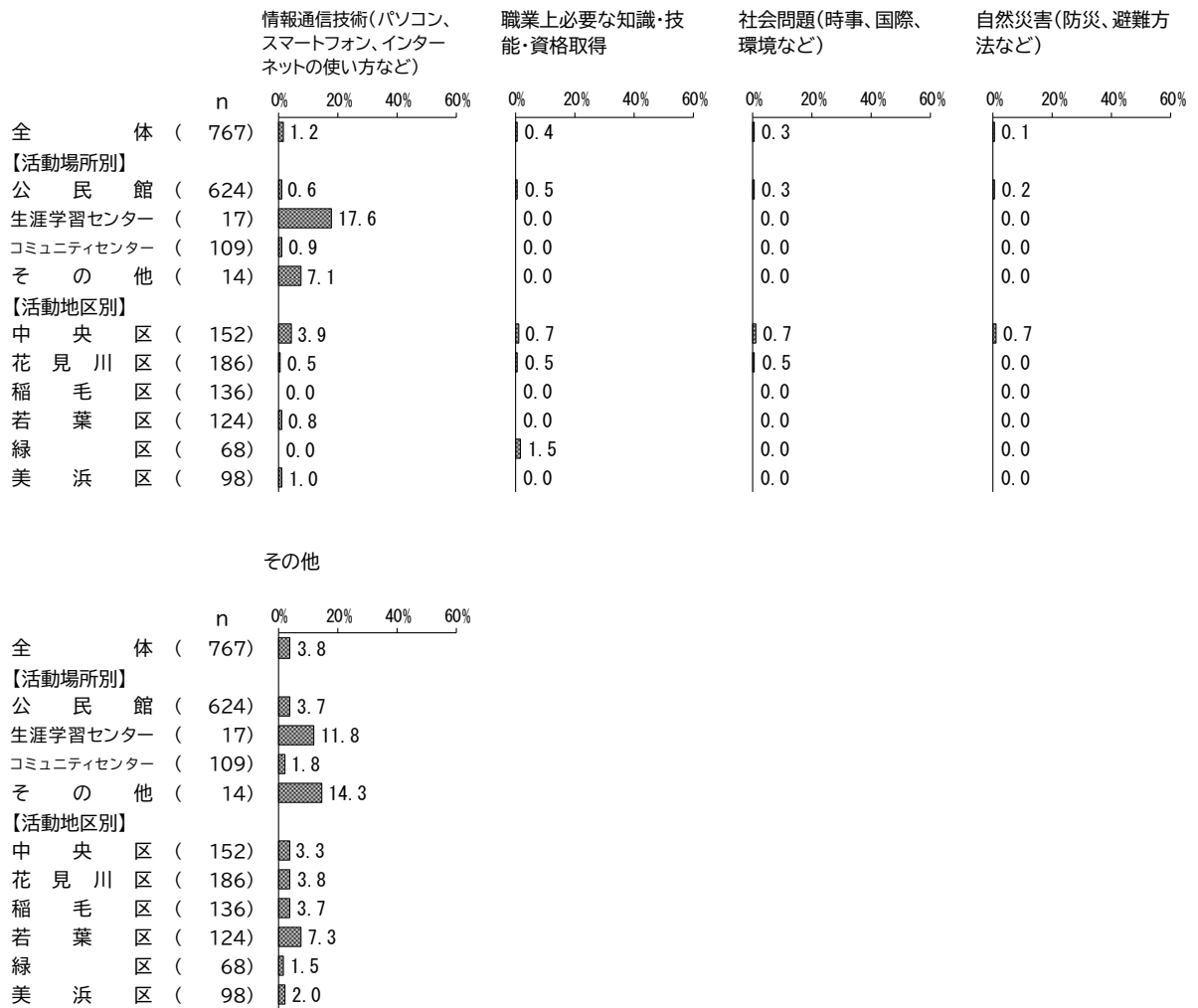
活動場所別にみると、生涯学習センターでは「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」が23.5%、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」が17.6%と高くなっている。

活動地区別にみると、花見川区では「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が54.8%、若葉区では「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」が39.5%、美浜区では「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」が11.2%と高くなっている。



図Ⅲ－４－１ 主な活動分野（活動場所別／活動地区別）

【活動場所別／活動地区別】（続き）



図Ⅲ－４－２ 主な活動分野（活動場所別／活動地区別）

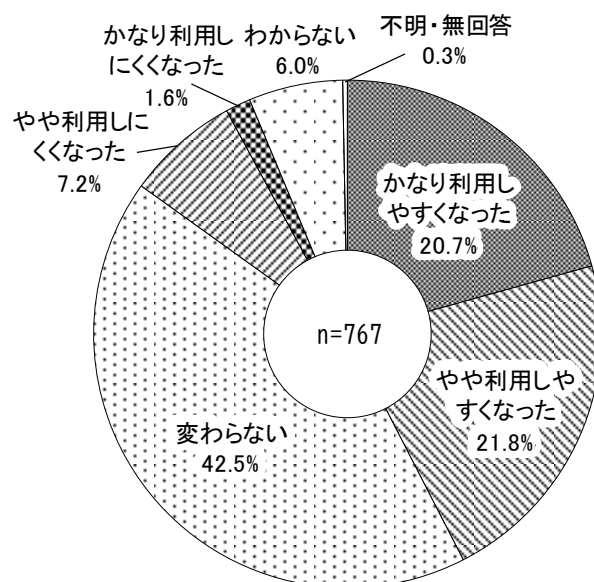
3. 生涯学習施設の利用のしやすさ

【問6】貴団体にとっての、5年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさは、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

5年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさについてたずねたところ、「かなり利用しやすくなった」(20.7%)と「やや利用しやすくなった」(21.8%)を合わせた『利用しやすくなった』の割合は、42.5%と4割を超えている。

一方、「やや利用しにくくなった」(7.2%)と「かなり利用しにくくなった」(1.6%)を合わせた『利用しにくくなった』の割合は、8.8%と1割未満であり、『利用しやすくなった』の割合(42.5%)が『利用しにくくなった』の割合を33.7ポイント上回っている。

なお、「変わらない」の割合は、42.5%となっている

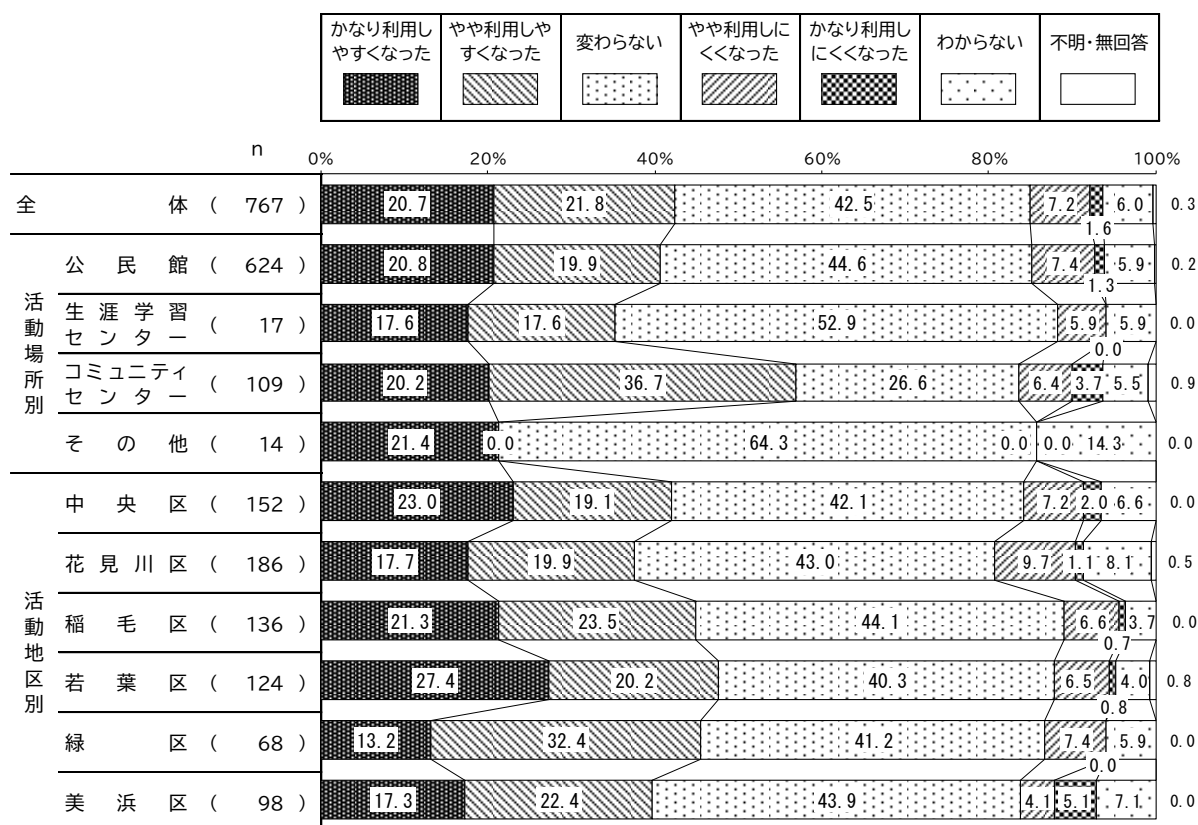


図Ⅲ－5 生涯学習施設の利用のしやすさ

【活動場所別／活動地区別】

活動場所別にみると、「かなり利用しやすくなった」と「やや利用しやすくなった」を合わせた『利用しやすくなった』の割合は、コミュニティセンターで56.9%と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、『利用しやすくなった』の割合は、若葉区で47.6%と他の活動地区に比べて高くなっている。



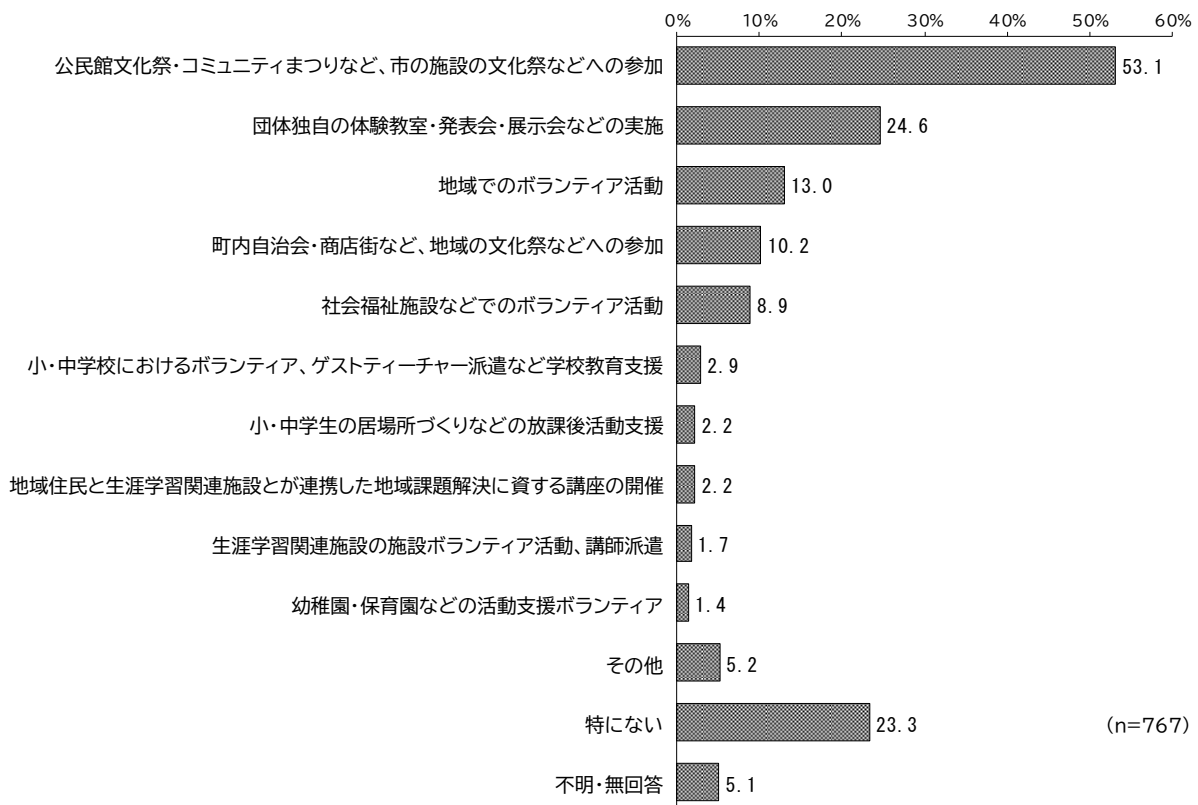
図Ⅲ－6 生涯学習施設の利用のしやすさ（活動場所別／活動地区）

4. 学習成果の活用状況

【問7】貴団体では、会員の学習成果をどのように活用していますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

会員の学習成果をどのように活用しているかについてたずねたところ、「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が53.1%で最も高く、半数を占めている。次いで「団体独自の体験教室・発表会・展示会などの実施」(24.6%)、「地域でのボランティア活動」(13.0%)、「町内自治会・商店街など、地域の文化祭などへの参加」(10.2%)、「社会福祉施設などでのボランティア活動」(8.9%)などと続いている。

なお、「特にない」は23.3%となっている。

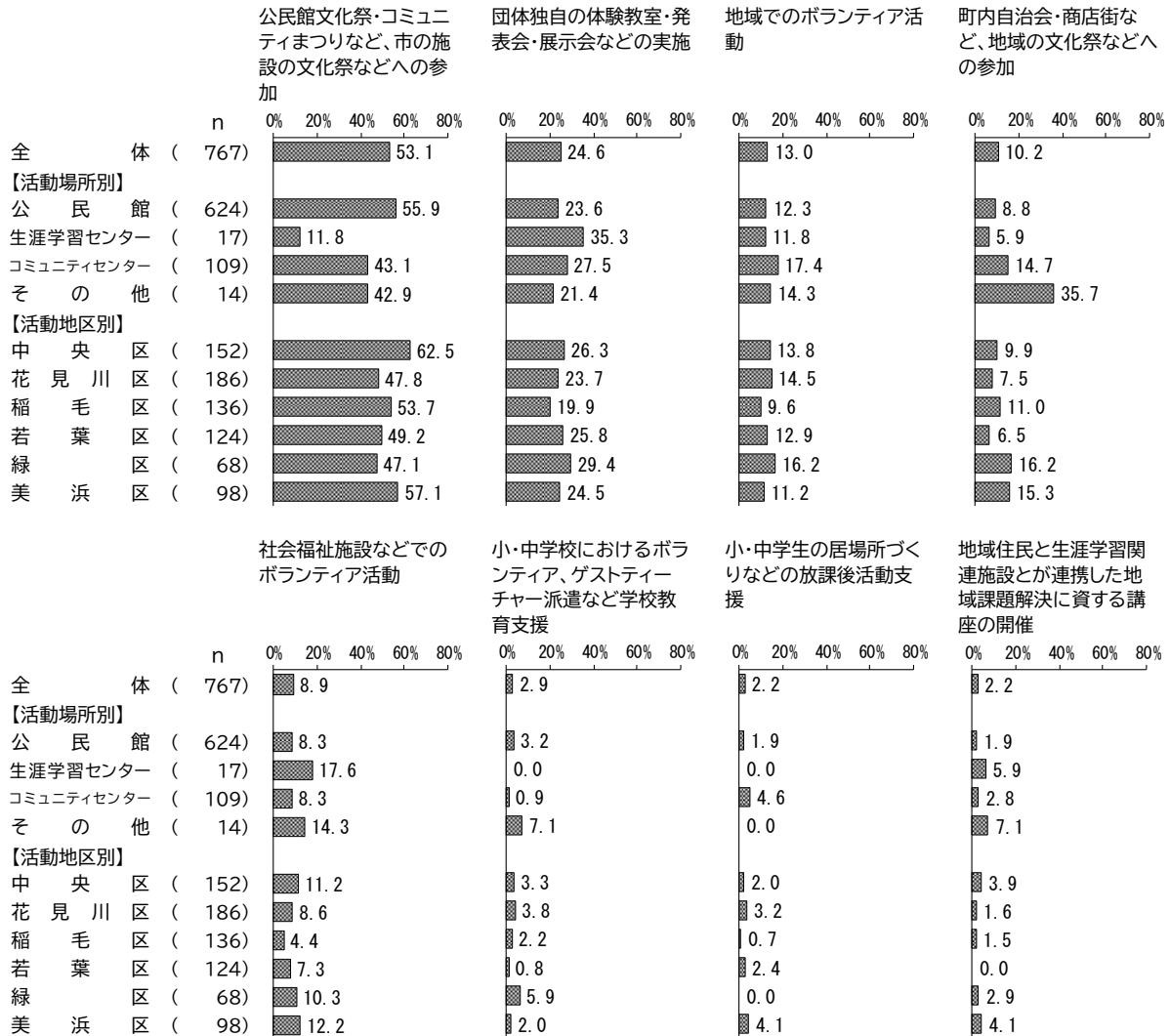


図Ⅲ－7 学習成果の活用状況

【活動場所別／活動地区別】

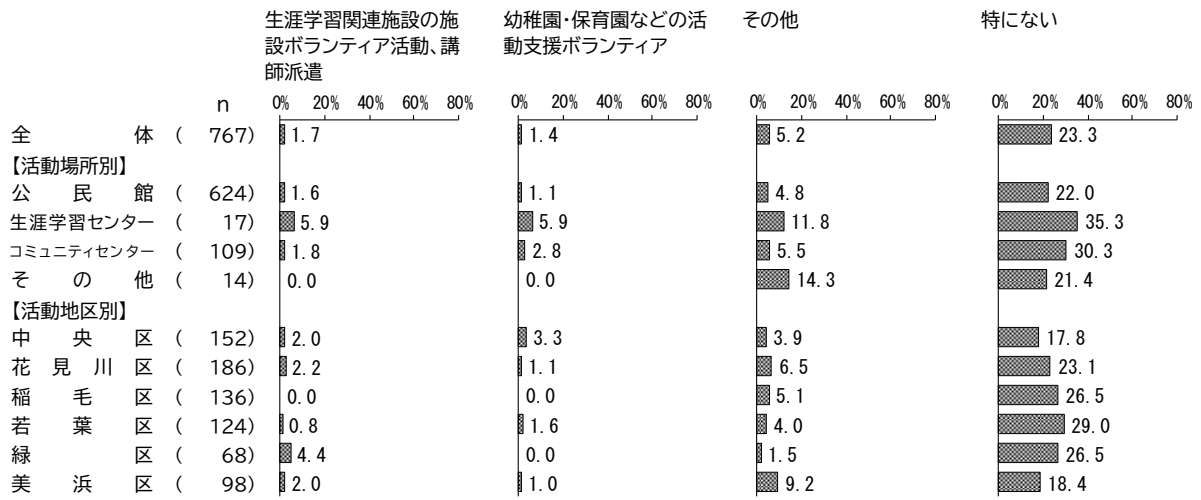
活動場所別にみると、生涯学習センターでは「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が11.8%と他の活動場所に比べて低くなっている。

活動地区別にみると、中央区では「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が62.5%と他の活動地区に比べて高くなっている。



図Ⅲ－8－1 学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別）

【活動場所別／活動地区別】（続き）



図Ⅲ－８－２ 学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別）

■学習成果の活用状況

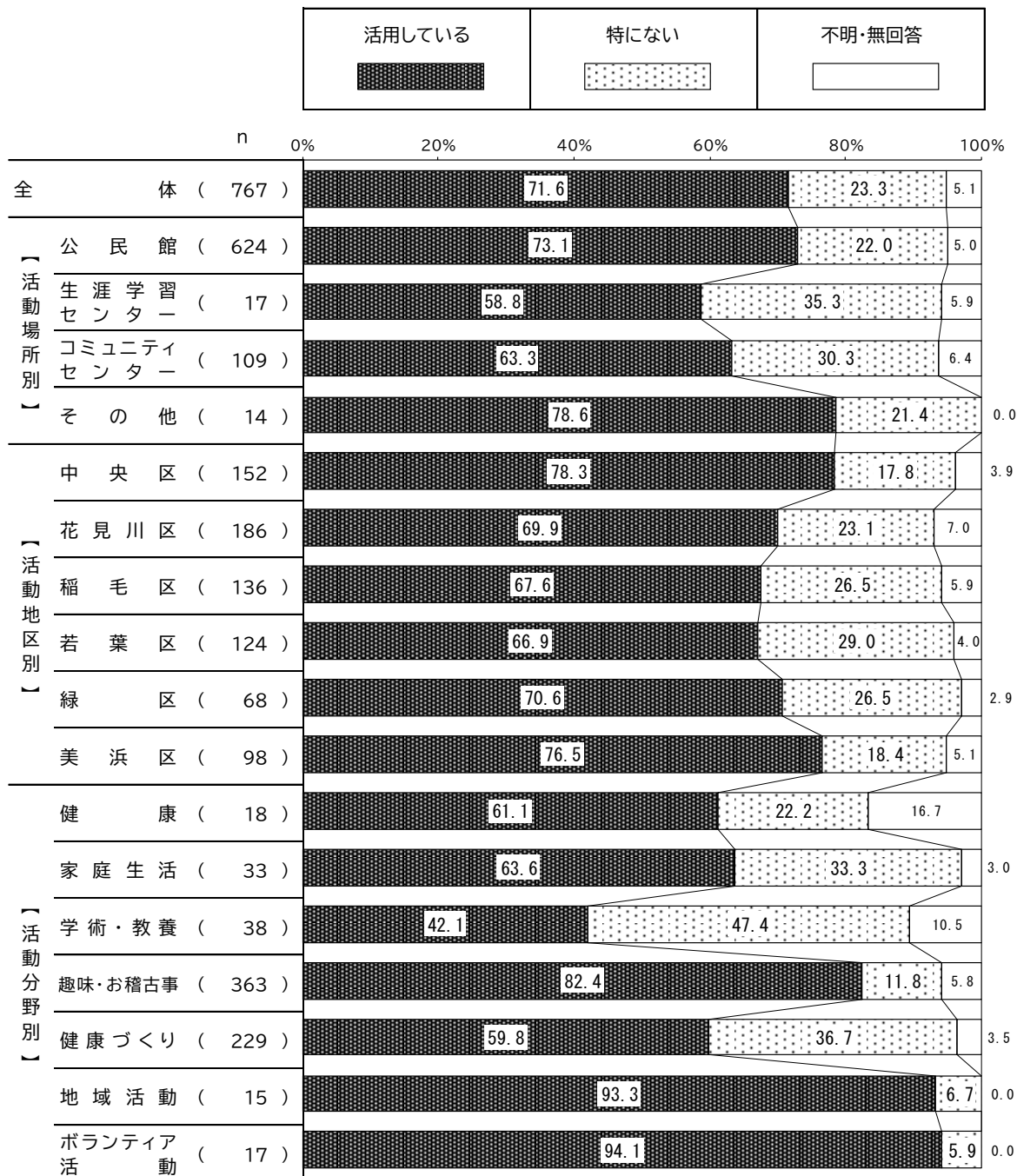
学習成果を活用しているか否かの割合をみるため、回答選択肢1～11（P152、調査票参照）の中から1つ以上選んだ場合を「活用している」として、集計を行った。

全体で、学習成果を活用している割合をみると、「活用している」は71.6%だった。

活動場所別にみると、生涯学習センターで「特にない」が35.3%と高くなっている。

活動地区別にみると、中央区で「活用している」が78.3%と他の活動地域に比べて高くなっている。

活動分野別にみると、地域活動とボランティア活動で「活用している」がそれぞれ93.3%、94.1%と9割を上回っており、他の活動分野に比べて高くなっている。一方、学術・教養では「活用している」が42.1%と他の活動分野に比べて低くなっている。



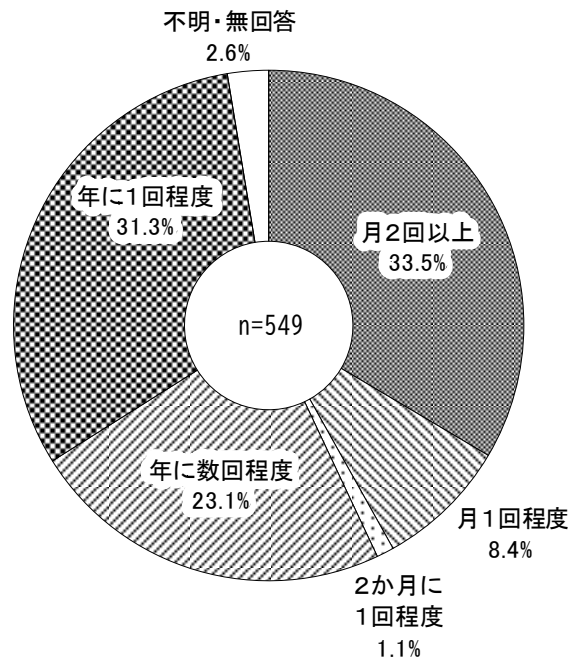
図Ⅲ－9 学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別／活動分野別）

5. 学習成果の活用頻度

問7で1～11に○印をつけた団体（会員の学習成果を活用した団体）におたずねします。

【問8】貴団体の学習成果の活用の頻度は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1
2○印をつけてください。

会員の学習成果を活用している回答した団体に、学習成果の活用の頻度についてたずねたところ、「月2回以上」が33.5%で最も高く、次いで「年に1回程度」（31.3%）、「年に数回程度」（23.1%）、「月1回程度」（8.4%）などと続いている。

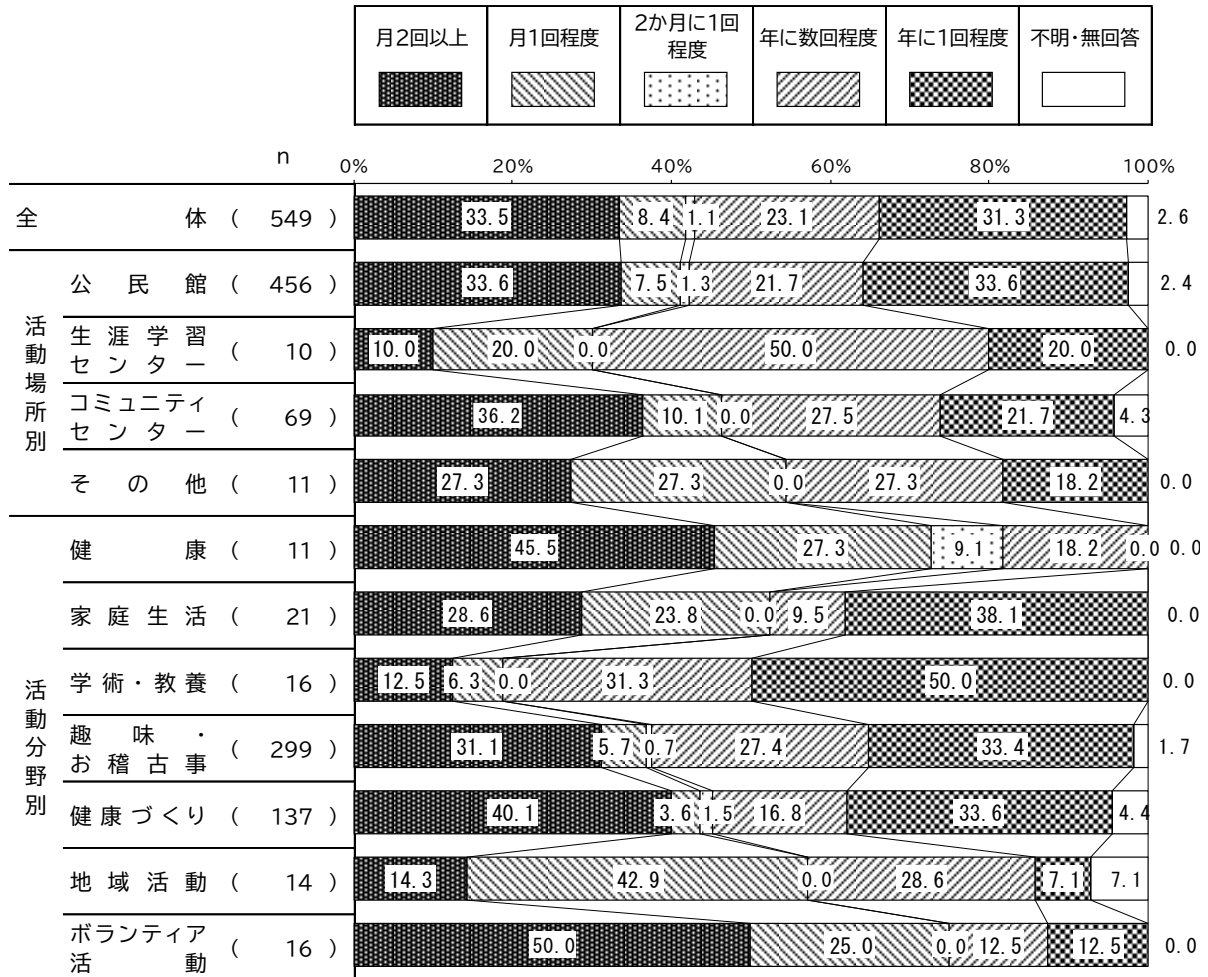


図Ⅲ－10 学習成果の活用頻度

【活動場所別／活動分野別】

活動場所別にみると、生涯学習センターで「年に数回程度」が50.0%と高く、コミュニティセンターでは「年に1回程度」が21.7%と低くなっている。

活動分野別にみると、健康と健康づくりとボランティア活動で「月2回以上」がそれぞれ45.5%、40.1%、50.0%と他の活動分野に比べて高くなっている。また、学術・教養では「年に1回程度」が50.0%と半数を占め高くなっている



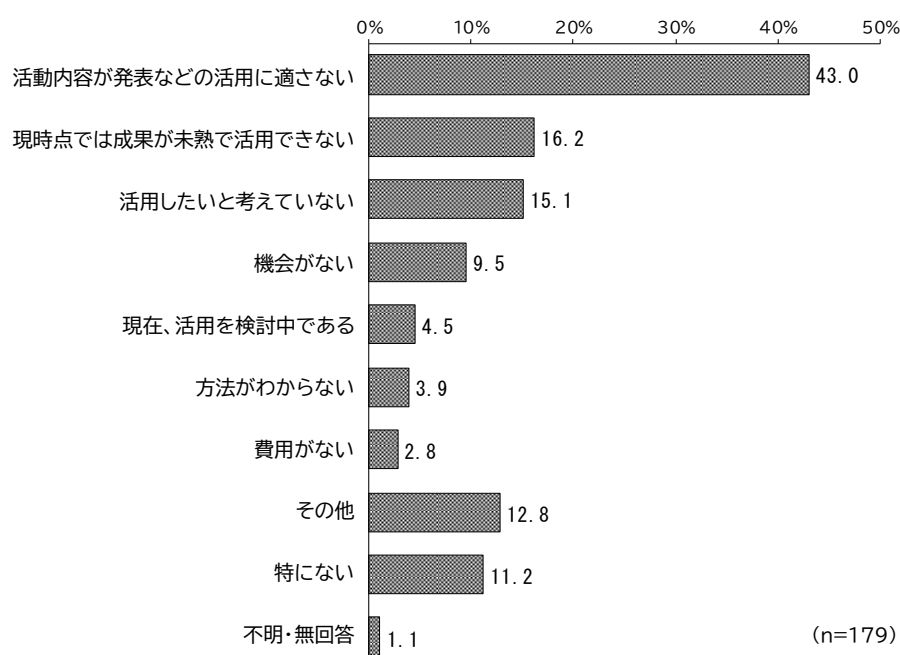
図Ⅲ－１１ 学習成果の活用頻度（活動場所別／活動分野別）

6. 学習成果を活用していない理由

問7で12に○印をつけた団体(会員の学習成果を特に活用していない団体)におたずねします。

【問9】貴団体が学習成果の活用をしていない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

会員の学習成果を特に活用していないと回答した団体に、学習成果の活用をしていない理由についてたずねたところ、「活動内容が発表などの活用に適さない」が43.0%で最も高く、次いで「現時点では成果が未熟で活用できない」(16.2%)、「活用したいと考えていない」(15.1%)、「機会がない」(9.5%)などと続いている。



図Ⅲ－１２ 学習成果を活用していない理由

【活動場所別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「機会がない」が18.2%と他の活動場所に比べて高くなっている。

会員規模別にみると、11～15人と16～20人で「活動内容が発表などの活用に適さない」がそれぞれ52.9%、54.2%と他の会員規模に比べて高い傾向がある。

活動分野別にみると、健康づくりで「活動内容が発表などの活用に適さない」が52.4%と他の活動分野に比べて高く、学術・教養では「現時点では成果が未熟で活用できない」が33.3%と高くなっている

	(n)	活動内容が 発表などの 活用に適さ ない	現時点では 成果が未熟 で活用でき ない	活用したい と考えてい ない	機会がない	現在、活用 を検討中で ある	方法がわか らない	費用がない	その他	特にな	(%)
全 体	179	43.0	16.2	15.1	9.5	4.5	3.9	2.8	12.8	11.2	
活動場所別	公 民 館	47.4	13.9	14.6	8.0	4.4	2.9	2.2	13.1	10.9	
	コミュニティセンター	30.3	24.2	18.2	18.2	6.1	9.1	6.1	6.1	9.1	
会員規模別	5 人 以 下	33.3	21.2	6.1	18.2	12.1	9.1	6.1	12.1	12.1	
	6 ～ 1 0 人	37.7	22.1	24.7	7.8	2.6	1.3	1.3	11.7	10.4	
	1 1 ～ 1 5 人	52.9	11.8	5.9	5.9	5.9	2.9	5.9	17.6	11.8	
	1 6 ～ 2 0 人	54.2	-	8.3	8.3	-	8.3	-	16.7	8.3	
活動分野別	家 庭 生 活	36.4	18.2	27.3	9.1	9.1	-	-	27.3	-	
	学 術 ・ 教 養	50.0	33.3	16.7	16.7	5.6	5.6	-	16.7	-	
	趣味・お稽古事	23.3	18.6	14.0	16.3	9.3	7.0	7.0	11.6	9.3	
	健 康 づ くり	52.4	10.7	16.7	6.0	1.2	1.2	1.2	9.5	13.1	

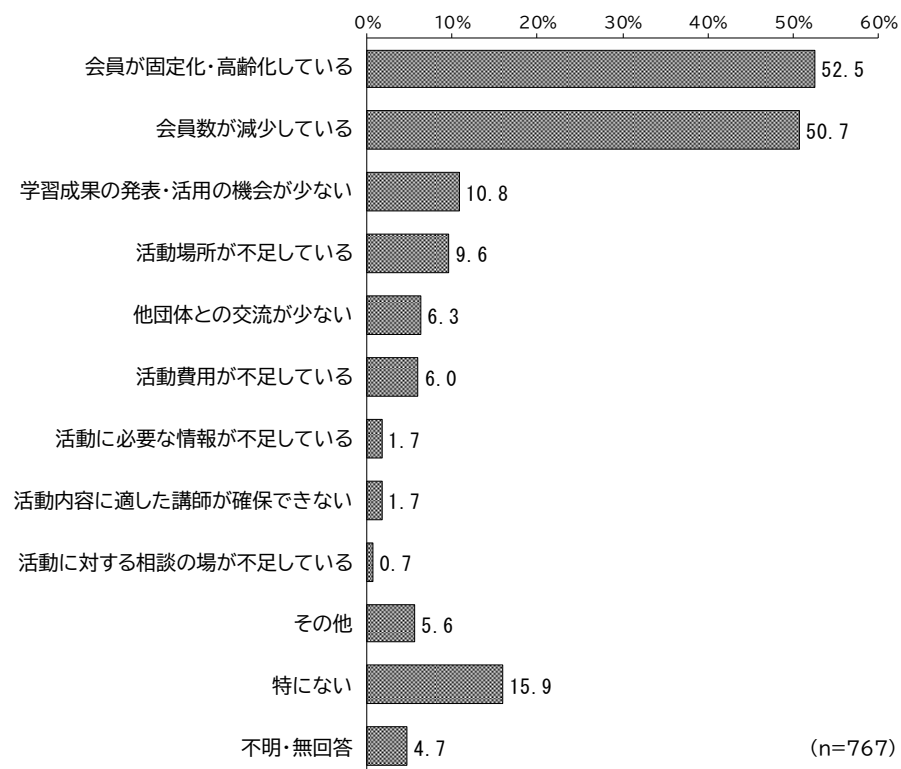
図Ⅲ－１３ 学習成果を活用していない理由（活動場所別／会員規模別／活動分野別）

7. 現在抱えている問題

全団体の方におたずねします。

【問10】貴団体では、現在どのような問題がありますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

現在どのような問題があるかについてたずねたところ、「会員が固定化・高齢化している」が52.5%で最も高く、次いで「会員数が減少している」(50.7%)、「学習成果の発表・活用の機会が少ない」(10.8%)、「活動場所が不足している」(9.6%)などと続いている。



図Ⅲ－14 現在抱えている問題

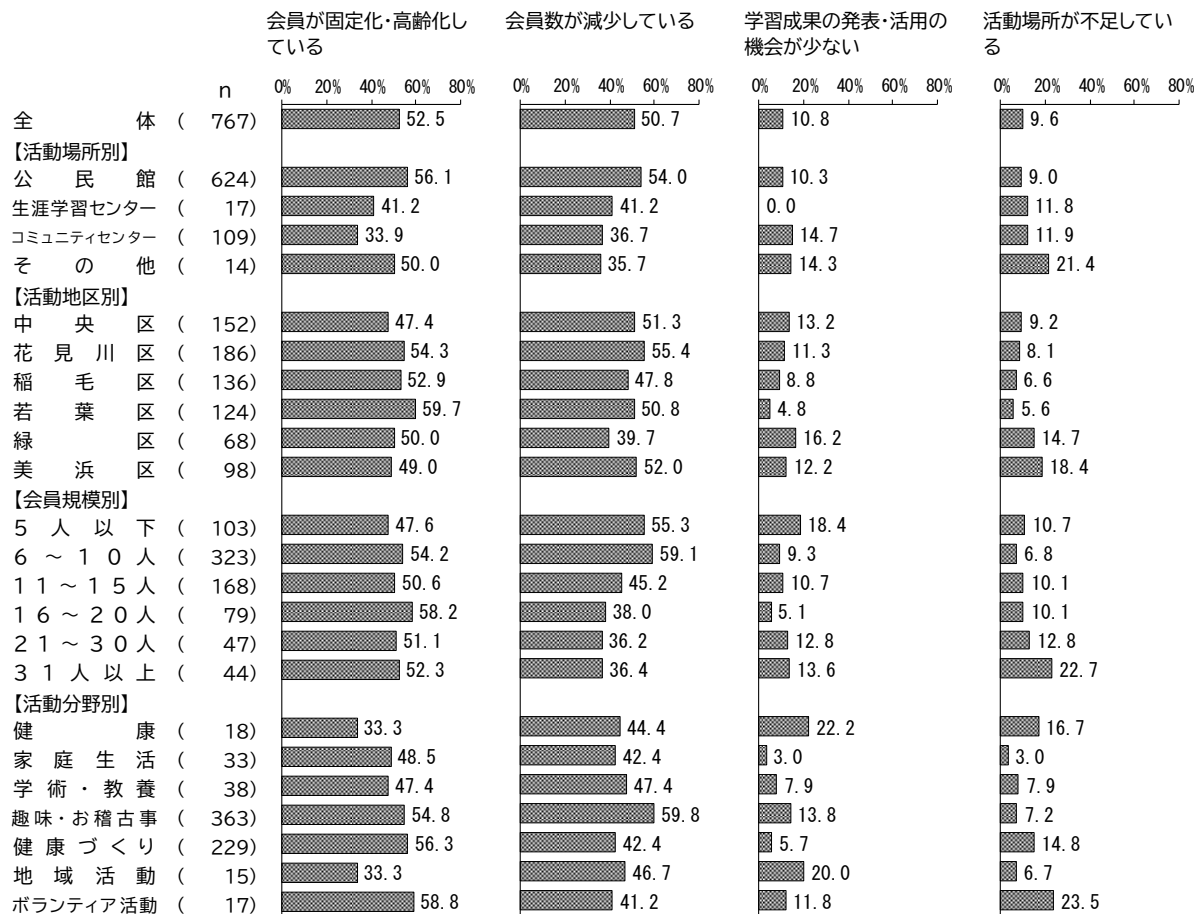
【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、公民館で「会員が固定化・高齢化している」が56.1%、「会員数が減少している」が54.0%と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、美浜区で「活動場所が不足している」が18.4%と他の活動地域に比べて高くなっている。

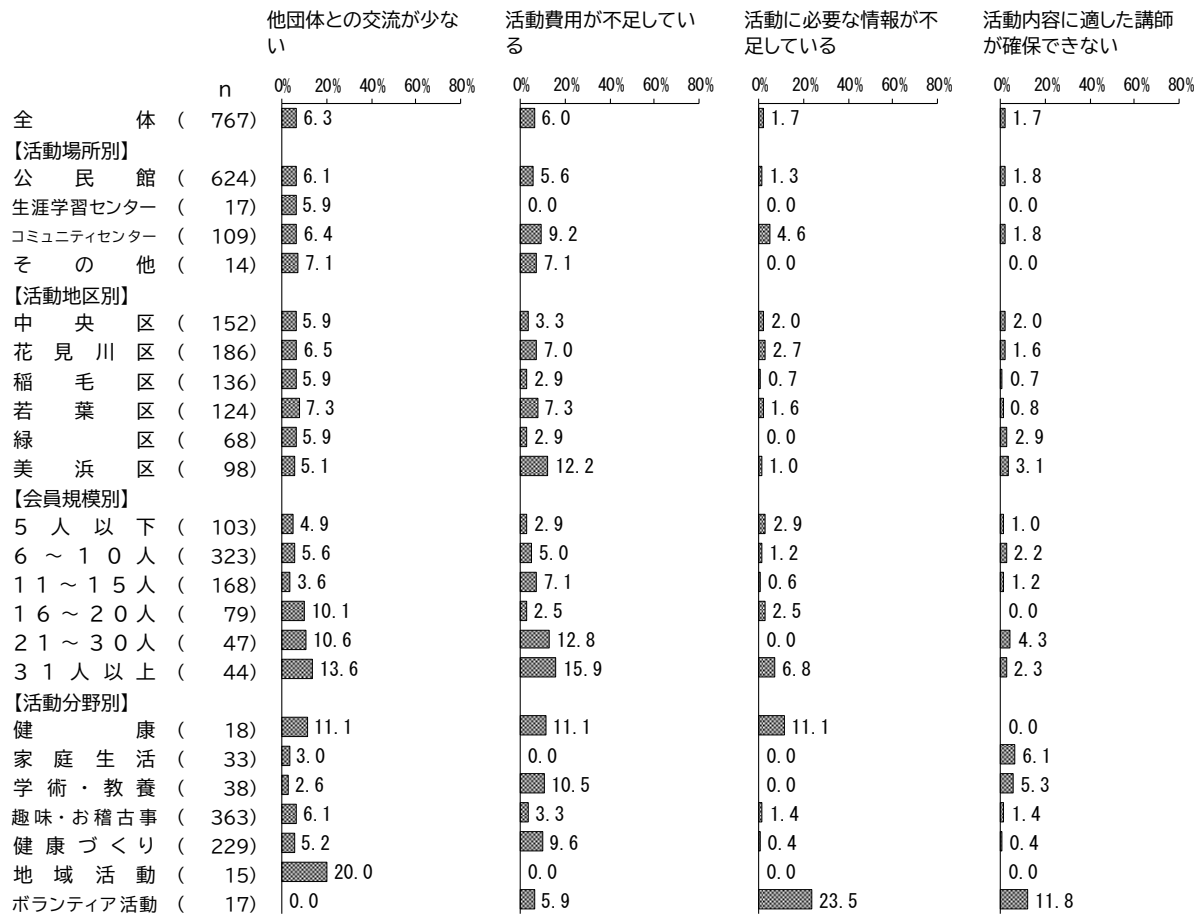
会員規模別にみると、会員規模が小さくなるほど「会員数が減少している」が高く傾向がある。一方、会員規模が大きくなるほど「活動場所が不足している」、「他団体との交流が少ない」、「活動費用が不足している」が高くなる傾向がある。

活動分野別にみると、ボランティア活動で「会員が固定化・高齢化している」が58.8%、「活動場所が不足している」と「活動に必要な情報が不足している」がともに23.5%と高くなっている。また、趣味・お稽古事では「会員数が減少している」が59.8%と他の活動分野に比べて高くなっている。



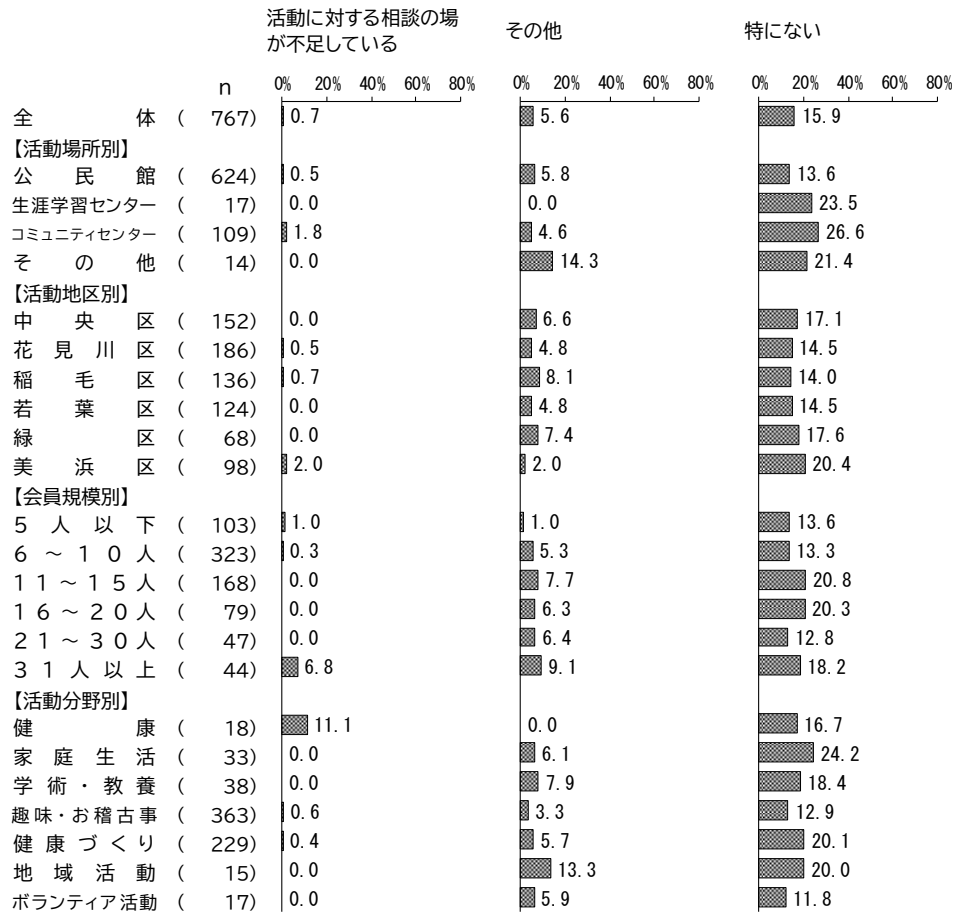
図Ⅲ－15－1 現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－15－2 現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－１５－３ 現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

■現在抱えている問題の有無

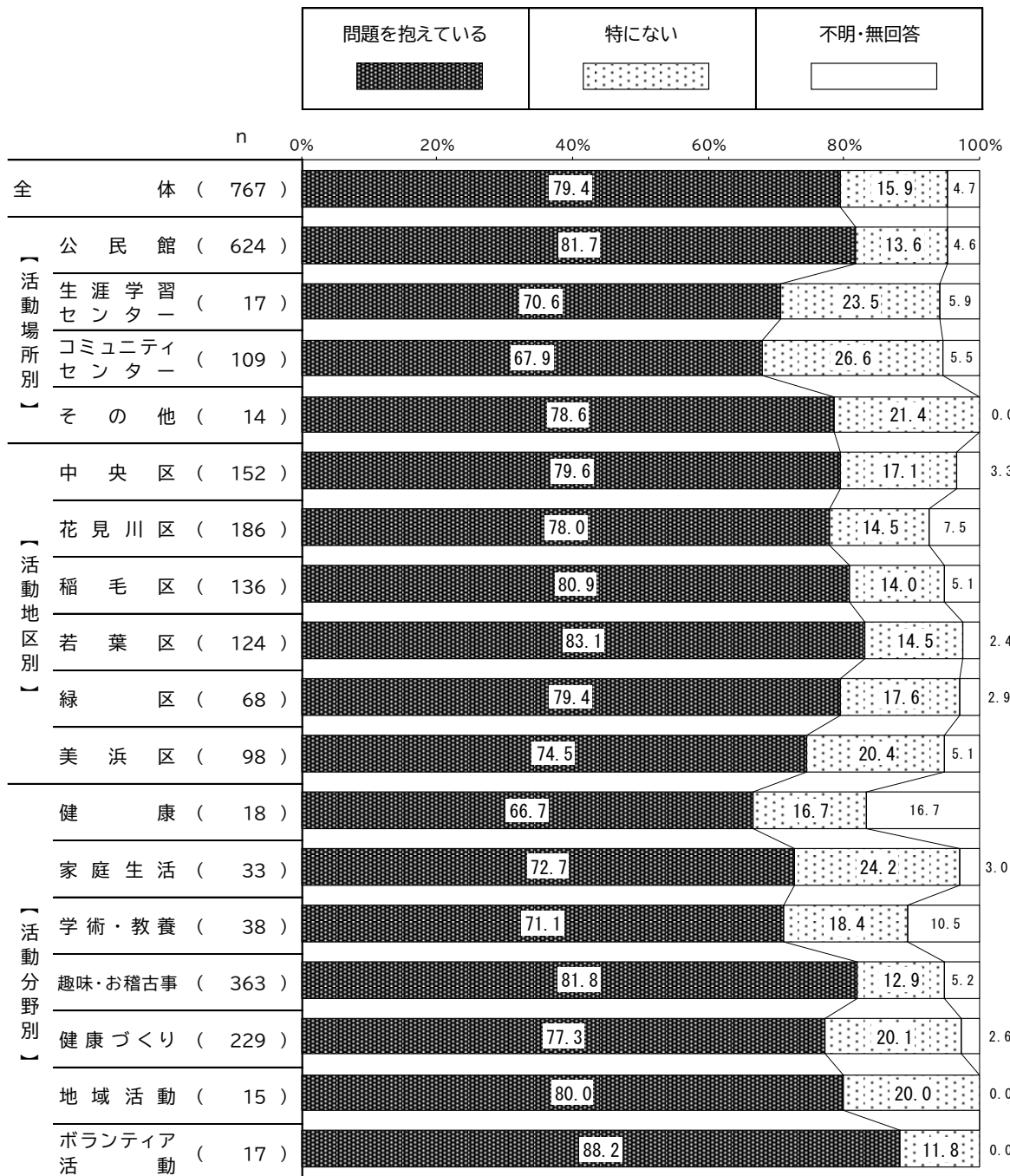
現在問題を抱えているか否かの割合をみるため、回答選択肢1～10（P152、調査票参照）の中から1つ以上選んだ場合を「問題を抱えている」として、集計を行った。

全体で、問題を抱えている割合をみると、「問題を抱えている」は79.4%だった。

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「特にない」が26.6%と高くなっている。

活動地区別にみると、若葉区で「問題を抱えている」が83.1%と他の活動地域に比べて高い傾向がある。

活動分野別にみると、ボランティア活動で「問題を抱えている」が88.2%と他の活動分野に比べて高い傾向がある。

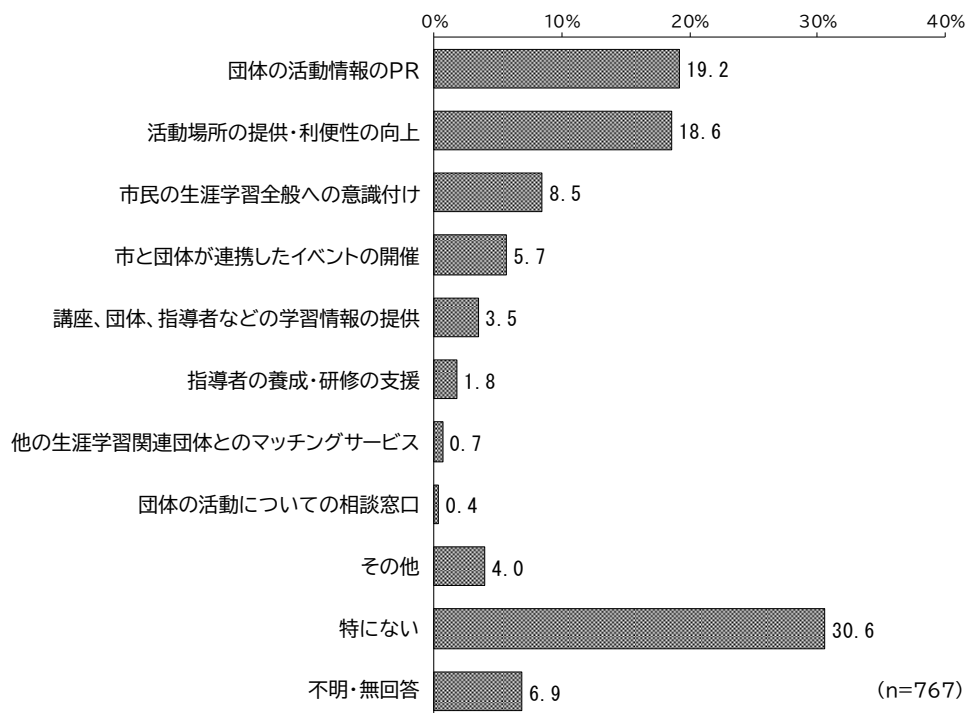


図Ⅲ－１６ 現在抱えている問題の有無（活動場所別／活動地区別／活動分野別）

8. 市の施策への要望

【問 1 1】貴団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望みますか。もっともあてはまる番号に 1 つ〇 印をつけてください。

団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望むかについてたずねたところ、「特にない」が 30.6% で最も高く、次いで「団体の活動情報の P R」（19.2%）、「活動場所の提供・利便性の向上」（18.6%）、「市民の生涯学習全般への意識付け」（8.5%）、「市と団体が連携したイベントの開催」（5.7%）などと続いている。



図Ⅲ－１７ 市の施策への要望

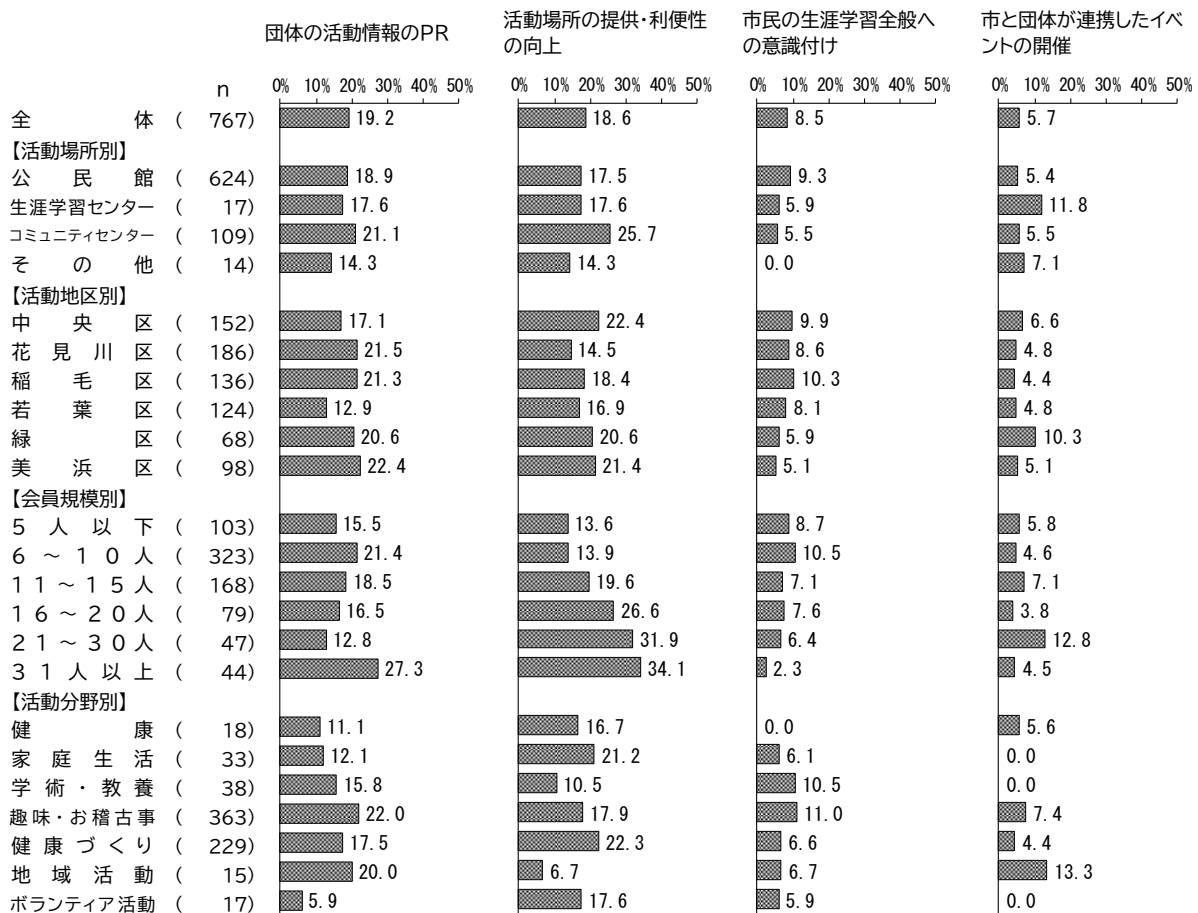
【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「活動場所の提供・利便性の向上」が25.7%と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、緑区で「講座、団体、指導者などの学習情報の提供」が10.3%と他の活動地域に比べて高くなっている。

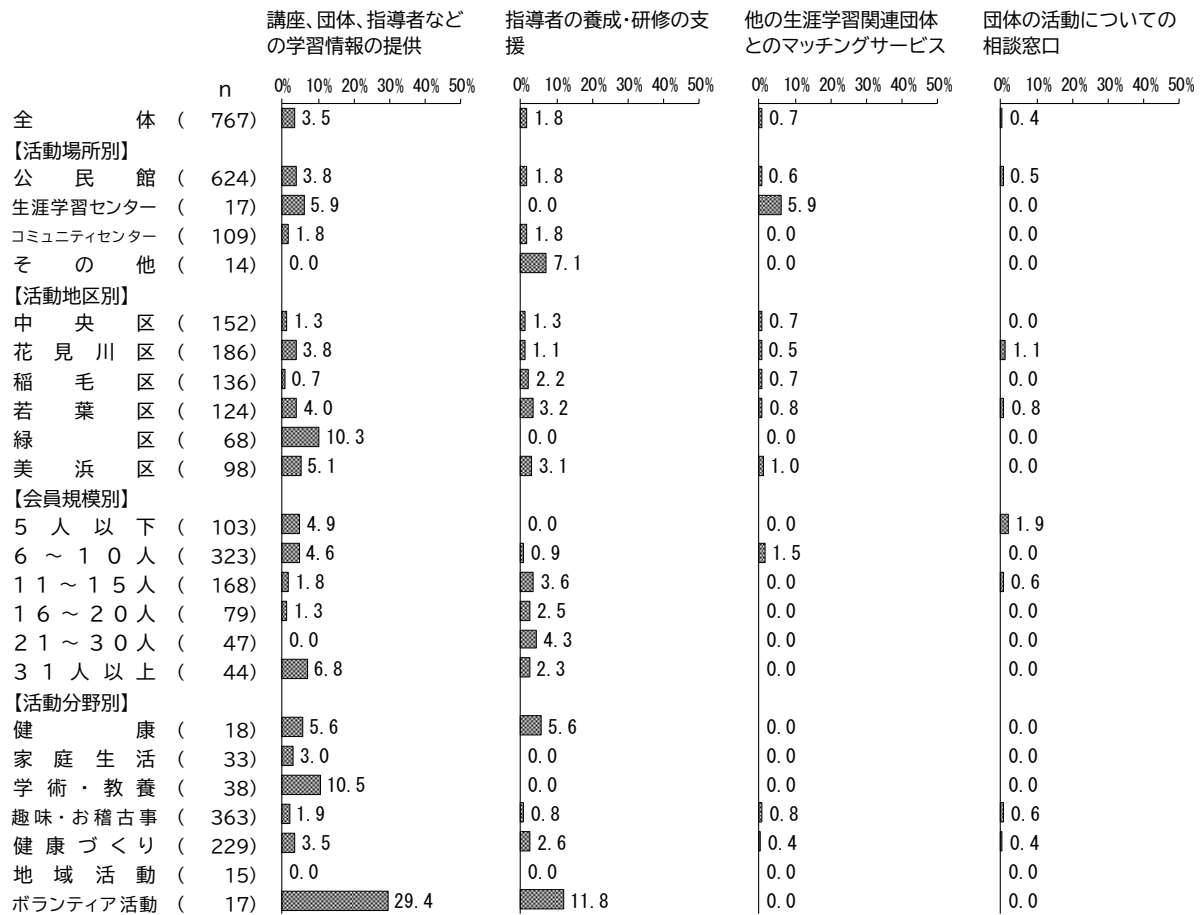
会員規模別にみると、会員規模が大きくなるほど「活動場所の提供・利便性の向上」が高くなる傾向があり、31人以上では34.1%と最も高くなっている。

活動分野別にみると、健康づくりで「活動場所の提供・利便性の向上」が22.3%と他の活動分野に比べて高くなっている。また、ボランティア活動では「講座、団体、指導者などの学習情報の提供」が29.4%と高くなっている。



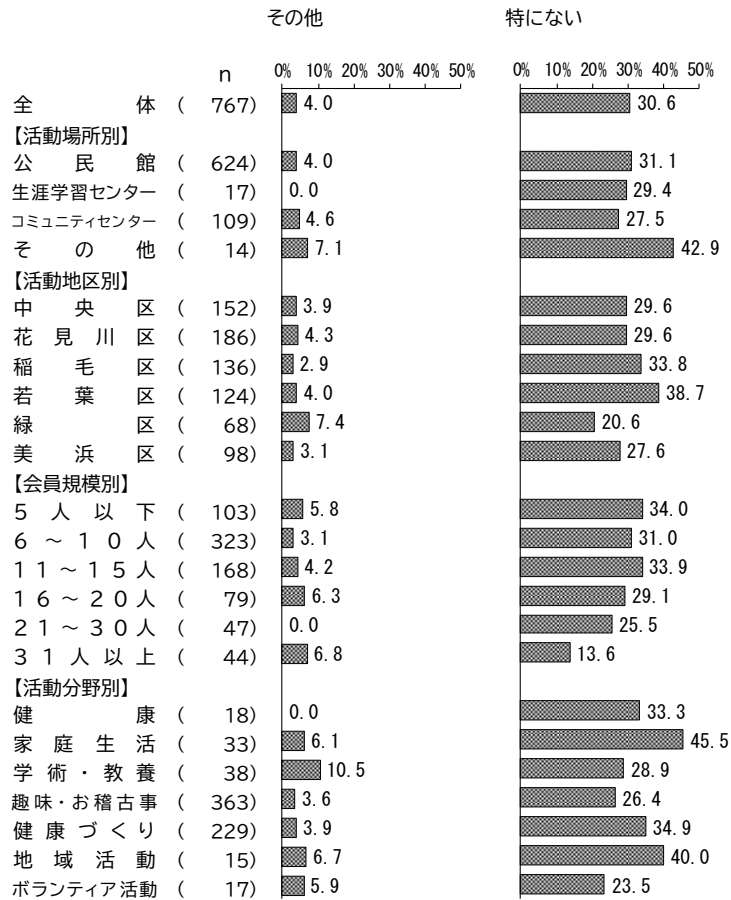
図Ⅲ－18－1 市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－18－2 市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－18－3 市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

IV. 調査票

IV. 調査票

千葉市生涯学習関係団体調査

-アンケート調査ご協力のお願い-

日ごろより、団体活動を通じ生涯学習に取り組まれるとともに、千葉市の教育行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この調査は、千葉市における生涯学習の推進に関して、その方向性を定める「第6次生涯学習推進計画」を策定するための基礎資料として実施するものです。

市内で活動している生涯学習団体の活動状況や要望を調査するため、生涯学習センター、公民館、コミュニティセンターに登録の団体から無作為に抽出した1,000団体の代表者様にお願いしております。

この調査は無記名であり、個人や団体名が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

令和3年10月

千葉市教育委員会

◆生涯学習活動とは◆

私たち一人ひとりが、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の充実を目指し、自らの生活を豊かにするために、生涯のいろいろな時期に自分から進んで行うものです。

学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行われる学習のことをいいます。

◆ご回答方法について◆

ご回答は、団体代表者様にお願いいたします。

また、郵送もしくはインターネットのどちらかでもお願いいたします。

それぞれの回答方法は、裏面をご覧ください。

この調査につきまして、ご質問などがございましたら、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

＜問い合わせ先＞千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 管理班

千葉市中央区問屋町1番35号 千葉ポートサイドタワー11階

電話：043（245）5953


E-mail：shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

◆郵送でのご回答の場合◆

1. ご回答は、調査票のあてはまる番号に○印をつけてください。各設問によって○印をつける数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご記入ください。
2. 設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
3. ご回答で「その他」を選ばれた方は、（具体的に……）に内容をご記入ください。
4. ご記入は、黒や青のペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
5. 調査票にご記入いただきましたら、恐れ入りますが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**11月24日（水）までに**、ご投函ください。切手は不要です。

◆インターネットでのご回答の場合◆

1. インターネットでのご回答は次の方法で回答サイトにアクセスしてください。（「ちば電子申請サービス」を使用してご回答となります。）

千葉市役所ホームページ サイト内検索	2次元バーコード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">生涯学習関係団体調査</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">検索</div>	

<参考：上記でアクセスするサイトのURL>

https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/r03_shogaigakushu_kankeidantai_chosa.html

2. ご回答は、あてはまる選択肢を選択してください。各設問によって選択する数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご選択ください。
3. 設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
4. ご回答で「その他」を選ばれた方は、文字入力欄に内容を具体的にご記入ください。
5. ご回答は、**11月24日（水）23時59分までに**、送信してください。

千葉市生涯学習関係団体調査

インターネットでのご回答の場合、
右記の回答IDを回答サイトに入力してください。
※回答IDは重複回答の確認のみに使用し、団体が特定されることはありません。

回答
ID

【問1】貴団体が千葉市内で主に活動している場所は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 公民館 | 3. コミュニティセンター |
| 2. 生涯学習センター | 4. その他（具体的に.....） |

【問2】上記活動場所のある区は次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1. 中央区 | 3. 稲毛区 | 5. 緑区 |
| 2. 花見川区 | 4. 若葉区 | 6. 美浜区 |

【問3】貴団体の会員数は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 5人以下 | 3. 11～15人 | 5. 21～30人 |
| 2. 6～10人 | 4. 16～20人 | 6. 31人以上 |

【問4】貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|---------------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | 9. 幅広い世代でほぼ均等 |

【問5】貴団体の主な活動分野は、次のうちどれにあたりますか。もっともあてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 健康（医学、栄養学、感染症など） | 8. 職業上必要な知識・技能・資格取得 |
| 2. 家庭生活（料理、手芸など） | 9. 趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など） |
| 3. 育児・教育（幼児教育、教育活動など） | 10. 健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど） |
| 4. 学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など） | 11. 地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど） |
| 5. 社会問題（時事、国際、環境など） | 12. ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など） |
| 6. 自然災害（防災、避難方法など） | 13. その他（具体的に.....） |
| 7. 情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など） | |

【問6】貴団体にとっての、5年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさは、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. かなり利用しやすくなった | 4. やや利用しにくくなった |
| 2. やや利用しやすくなった | 5. かなり利用しにくくなった |
| 3. 変わらない | 6. わからない |

【問7】貴団体では、会員の学習成果をどのように活用していますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加 |
| 2. 町内自治会・商店街など、地域の文化祭などへの参加 |
| 3. 団体独自の体験教室・発表会・展示会などの実施 |
| 4. 小・中学生の居場所づくりなどの放課後活動支援 |
| 5. 小・中学校におけるボランティア、ゲストティーチャー派遣など学校教育支援 |
| 6. 幼稚園・保育園などの活動支援ボランティア |
| 7. 地域でのボランティア活動 |
| 8. 社会福祉施設などでのボランティア活動 |
| 9. 生涯学習関連施設の施設ボランティア活動、講師派遣 |
| 10. 地域住民と生涯学習関連施設とが連携した地域課題解決に資する講座の開催 |
| 11. その他（具体的に.....） |
| 12. 特にない → 問9へ |

問7で1～11に〇印をつけた団体（会員の学習成果を活用した団体）におたずねします。

【問8】貴団体の学習成果の活用の頻度は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|-----------|
| 1. 月2回以上 | 3. 2か月に1回程度 | 5. 年に1回程度 |
| 2. 月1回程度 | 4. 年に数回程度 | |

→ 問10へ

問7で12に〇印をつけた団体（会員の学習成果を特に活用していない団体）におたずねします。

【問9】貴団体が学習成果の活用をしていない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 方法がわからない | 6. 現在、活用を検討中である |
| 2. 機会がない | 7. 活動内容が発表などの活用に適さない |
| 3. 費用がない | 8. その他（具体的に.....） |
| 4. 活用したいと考えていない | 9. 特にない |
| 5. 現時点では成果が未熟で活用できない | |

全団体の方におたずねします。

【問10】貴団体では、現在どのような問題がありますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 会員数が減少している | 7. 学習成果の発表・活用の機会が少ない |
| 2. 活動費用が不足している | 8. 活動内容に適した講師が確保できない |
| 3. 会員が固定化・高齢化している | 9. 活動に対する相談の場が不足している |
| 4. 活動場所が不足している | 10. その他（具体的に.....） |
| 5. 活動に必要な情報が不足している | 11. 特にない |
| 6. 他団体との交流が少ない | |

【問11】貴団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望みますか。もっともあてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 団体の活動情報のPR | 6. 市と団体が連携したイベントの開催 |
| 2. 市民の生涯学習全般への意識付け | 7. 指導者の養成・研修の支援 |
| 3. 活動場所の提供・利便性の向上 | 8. 団体の活動についての相談窓口 |
| 4. 講座、団体、指導者などの学習情報の提供 | 9. その他（具体的に.....） |
| 5. 他の生涯学習関連団体とのマッチングサービス | 10. 特にない |

質問は以上です。長時間にわたってアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

令和３年度 千葉市生涯学習基礎調査報告書

令和４年３月

- 【発 行】 〒260-8730 千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー11 階
千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課
☎ 043 (245) 5953 (直通)
ホームページ
<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/index.html>
メールアドレス shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp
- 【実 施】 〒261-8501 千葉市美浜区中瀬 1 丁目 3 番地
幕張テクノガーデン CB 棟 3 階 MBP
株式会社 総合企画 千葉事務所
☎ 043 (330) 3600 (代表)

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

